

## 第5章



# みやぎの住宅・社会資本再生・復興の歩み

<空白>

(1)宮城県土木部の歩み(震災から1年間の記録)

日 時	国・宮城県全体の歩み	宮城県土木部の歩み
3月11日 14時46分	東北地方太平洋沖地震発生(マグニチュード9.0, 震源地: 牡鹿半島の東南東 130km 付近, 深さ 24km, 最大震度 7)	
	地震発生と同時に県庁 5F に知事を本部長とする非常災害対策本部を設置(非常配備 3号)	左記の部局別構成機関として, 土木部長を本部長とする土木部災害対策本部を県庁 8F 土木部会議室に設置し, 情報収集を直ちに開始
	県内の全市町村に災害救助法を適用	
		建設会社との道路管理業務及び災害時応援協定に基づく道路パトロール等を自動的に開始
14時49分	大津波警報発令, 宮城県沿岸に津波最大 6m と予想(気象庁)	
14時50分	県危機対策専門監から陸上自衛隊第 22 普通科連隊(多賀城駐屯地)に対し, 電話で災害派遣準備を連絡	
	政府で官邸対策室を設置し, 緊急参集チームを参集	
14時52分	東北方面総監部防衛部防衛課から県庁に連絡員を派遣	
14時58分	県内全市町村に対し, 衛星無線 FAX にて手書きによる避難指示を一斉送信	
15時00分		仙台土木事務所, 気仙沼土木事務所において, 大津波警報による道路通行規制を開始, 東部土木は連絡不通
15時01分	知事が 5F 事務局にて, 自衛隊へ災害派遣要請を指示	
15時02分	東北方面総監部防衛部防衛課へ電話で災害派遣要請	
15時10分	危機管理センターで災害対策本部連絡員会議を開催し, 15時30分に災害対策本部会議を開催することを伝達	
15時14分	宮城県沿岸に津波最大 6m から 10m と修正(気象庁)	
	県内全市町村に対し, 衛星無線 FAX にて手書きによる避難指示を再度一斉送信	
15時15分	東北地方太平洋沖地震の最大余震発生(マグニチュード 7.6, 震源地: 茨城県沖, 深さ 43km, 最大震度 6 強)	
15時17分	東北方面総監部防衛部防衛課から県庁に連絡員到着	
15時30分	第 1 回災害対策本部会議 知事より, 津波で甚大な被害が出ているので, 人命救助, 情報収集に全力を挙げると指示	

	 <p>第1回災害対策本部会議の様子</p>	
<p>15時36分</p>	<p>国に対し、緊急消防援助隊の派遣を要請</p> <p>非常災害対策本部を危機管理センターから県庁で一番広い2F講堂へ移動</p>  <p>県庁講堂の非常災害対策本部の様子</p>	
<p>15時40分</p>		<p>東部土木事務所において、大津波警報による道路通行規制</p>
<p>16時00分</p>	<p>知事が臨時記者会見し、救助、避難活動への御協力や、落ち着いて行動するよう呼びかけを実施</p>  <p>知事臨時記者会見の様子</p>	
<p>16時20分</p>	<p>東北方面総監部防衛部防衛課から県庁に連絡員40人が追加で到着し、第2入札室に自衛隊県庁調整所を開設</p>	<p>第1回土木部災害対策本部会議</p> <p>仙台港国際ビジネスサポートセンター（通称：アクセル）に入居している仙台塩釜港湾事務所，仙台港背後地土地区画整理事務所が半壊状態</p> <p>県，市町を併せて陸こう水門 852 基の閉扉を確認中</p> <p>土木部職員の安否 976 人中 726 人確認したが，気仙沼土木事務所，中南部下水道事務所，仙台背後地土地区画整理事務所の 3 事務所と連絡不通</p>
<p>17時00分</p>	<p>第2回災害対策本部会議</p> <p>この時間を過ぎた頃から，一般，市町村，地方機関から被害報告や避難情報の電話が多数入る</p>	

18時30分	仙台空港ターミナルビルが津波で被災し、千人近く閉じ込められている模様	第2回土木部災害対策本部会議 国交省から R47,48,113,286 号を緊急輸送路とするため一般車通行止めとする旨の連絡あり
18時42分	国で政府調査団を宮城県に派遣	
19時30分	第3回災害対策本部会議	
20時50分	東京電力福島第一原子力発電所半径 2km 以内の避難指示 政府調査団に対し、被災状況や今後の対応を報告 緊急要望「平成 23 年東北地方太平洋沖地震対策に関する要望書」を政府調査団団長東内閣府副大臣（当時）あて提出	
21時23分	東京電力福島第一原子力発電所半径 3km 以内の避難指示	
21時30分		第3回土木部災害対策本部会議 県管理道路で全面通行止め 30 箇所、片側交互通行 12 箇所、国交省から山形道を緊急輸送路とするため一般車通行止めとする旨の連絡あり  土木部災害対策本部会議の様子
22時30分	第4回災害対策本部会議 政府調査団の東副大臣（当時）より、適切な情報を官邸に報告する、被災地以外の自衛隊、消防、警察をどう対応させるかを政府に伝達、毛布、水、食料の要請済、明朝にヘリで沿岸部の視察を行うとの発言あり 自衛隊、海保、長野県、札幌市等のヘリコプター 30 機で救助を明朝から実施 県内の各医療機関で A 重油不足が深刻化	
22時50分		宮城県建設業協会に各避難所へ発電機、燃料の搬送を要請
	国土交通省東北地方整備局で内陸部にある東北道・国道4号から東西方向の救命、救援ルートを確認する「くしの歯作戦」を被災直後から開始	
3月12日 0時30分		日本土木工業協会東北支部へ緊急物資受け入れのため、津波浮遊コンテナ、ガレキ撤去を要請 内陸部にある仙南、大崎、栗原、登米の宮城県建設業協会の各支部に対し、沿岸部への応援を要請
3時59分	東北地方太平洋沖地震の誘発地震と見られる長野県北部地震が発生（マグニチュード 6.7、長野県栄村で最大震度 6 強）	
4時30分		第4回土木部災害対策本部会議 県管理道路で全面通行止め 36 箇所、片側交互通行 21 箇所

5時00分	第5回災害対策本部会議 知事より、人命救助最優先、医師の派遣、遺体の安置対策の指示あり 政府調査団より、本日6時に緊急災害現地対策本部を設置、緊急消防援助隊として東京都等から911人、消防車219台が気仙沼市、石巻市、名取市等の沿岸部に入る、菅総理大臣（当時）が本日、宮城県及び福島県を視察する、A重油確保の体制を整えているとの発言あり	
5時44分	東京電力福島第一原子力発電所半径10km以内の避難指示	
6時00分	国で宮城県に緊急災害現地対策本部を設置 知事、緊急災害現地対策本部の東副大臣（当時）と市村国土交通大臣政務官（当時）、関係者がへりで現地調査を行うため霞目駐屯地に出発	
6時30分		東北地方整備局のへりに土木部職員2名が同乗し、沿岸部と最大震度7を記録した栗原市を調査
6時55分	知事、緊急災害現地対策本部の東副大臣（当時）と市村国土交通大臣政務官（当時）、関係者が現地調査を行うため、霞目駐屯地から自衛隊へりで沿岸部に出発	
7時25分		宮城県測量設計業協会に連絡体制の構築を依頼し、協会側の体制が整い次第に依頼する予定
7時25分		仙台塩釜港への緊急物資受け入れのため作業船を確保したが、警報解除待ちで待機
8時02分		宮城県宅地建物取引業協会に民間賃貸住宅の空室情報提供を依頼
8時55分	沿岸部の石巻市、気仙沼市、岩手県等を視察した知事、緊急災害現地対策本部、関係者が霞目駐屯地へ帰着	
10時00分		第5回土木部災害対策本部会議 県管理道路で全面通行止め39箇所、44路線62箇所交通規制 仙台空港ビル1,400人避難しているが、食料、水の支援要請 気仙沼合庁で職員70人、一般200人が避難しているが、津波が引かないので合庁内で待機
10時30分	第6回災害対策本部会議 知事より、沿岸市町は被害が甚大なので、県から職員を派遣することについて検討指示 塩竈市の被害が他の地域より幾分低いので、緊急消防援助隊の応援調整を指示 東松島市、気仙沼市の学校関係の情報が入っていないので、対応を考えることの指示あり 緊急災害現地対策本部より、緊急消防援助隊が富山県、長野県等から387隊1,341人が応援との発言あり 「平成23年東北地方太平洋沖地震対策に関する要望書」を菅内閣総理大臣（当時）あて提出	
11時20分		宮城県造園建設業協会へ公園等の被災状況を依頼

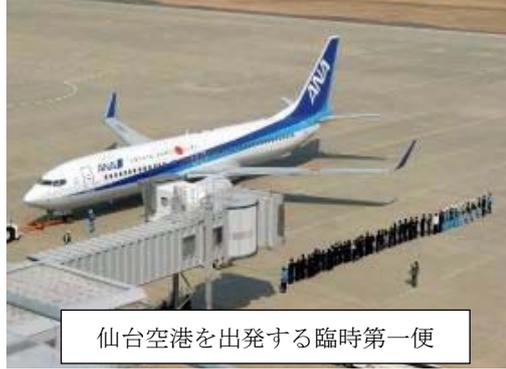
第5章 みやぎの住宅・社会資本再生・復興の歩み

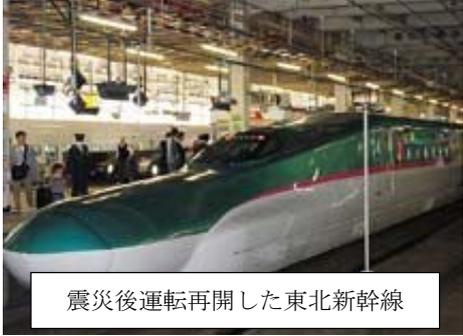
14時30分		第6回土木部災害対策本部会議 県管理道路で全面通行止め 35 箇所, 60 路線 86 箇所 交通規制 土砂災害警戒情報発表基準の暫定運用を開始 仙台塩釜港湾事務所, 仙台港背後地土地区画整理事務所は津波被害のため, 仙台土木事務所に異動し業務継続する準備中
15時00分	第7回災害対策本部会議(本会議は平成24年3月26日に開催した第95回まで継続するので記載を以下省略) 知事より, 大津波警報が解除されていないが, 二次災害に注意しながら人命救助優先, A重油の確保, 必要な予算は予備費, 補正予算で対応するので, 全機関に周知徹底について指示あり 緊急災害現地対策本部より, 菅総理(当時)が現地視察, 自衛隊派遣を2万人から5万人に増員するとの発言あり	
15時36分	東京電力福島第一原子力発電所1号機水素爆発	
17時34分	全国知事会へ支援を要請	
18時05分	県内の死者100人を超える	
18時25分	東京電力福島第一原子力発電所半径20km以内の避難指示	
18時30分		第7回土木部災害対策本部会議 建築物危険度判定調査を栗原市及び宮城野区の一部で実施
20時20分	宮城県沿岸の大津波警報から津波警報に切下げ(気象庁)	
	国土交通省の「くしの歯作戦」によって, 沿岸部へ通じる11ルートを確認(発災後1日) 東北自動車道の浦和IC～碓ヶ関ICで緊急通行車両の通行を開始(発災後1日)	
3月13日		被災宅地危険度判定を開始 建築基準法第85条第1項の規定に基づく区域指定(仙台市, 石巻市, 大崎市除く)
4時00分		第8回土木部災害対策本部会議(本会議は平成24年3月21日に開催した第98回まで継続するので記載を以下省略) 県管理道路で全面通行止め 45 箇所, 69 路線 90 箇所 交通規制
7時30分	宮城県沿岸の津波警報から津波注意報に切下げ(気象庁)	仙台空港ビルから1,400人が避難開始
11時00分	「平成23年東北地方太平洋沖地震対策に関する要望書」を片山総務大臣(当時)あて提出	女川原子力発電所へのアクセス道確保作業を開始
17時58分	宮城県沿岸の津波注意報解除(気象庁)	
	国土交通省東北地方整備局の「くしの歯作戦」によって, 沿岸部へ通じる14ルートを確認(発災後2日)	

	<p>国土交通省東北地方整備局で、TEC—FORCEとして約200名の東北地整以外の職員が被災状況の調査を開始</p>  <p>国土交通省東北地方整備局資料</p>	
<p>3月14日</p>	<p>東京電力福島第一原子力発電所3号機水素爆発(11時01分) 県内避難者数が最大で約32万人となる</p>	<p>(社)プレハブ建築協会へ仮設住宅10,000戸の建設を要請 災害時の応援協定を締結していた11団体に文書で応援要請 公営住宅の空室状況を把握し、賃貸住宅、旅館、ホテル等の確保を要請 女川原子力発電所へのアクセス道を確保</p>
<p>3月15日</p>	<p>東京電力福島第一原子力発電所2号機の圧力制御室付近で水素爆発(6時20分頃) 東北地方太平洋沖地震の誘発地震と見られる静岡県東部地震が発生(マグニチュード6.4、静岡県富士宮市で最大震度6強)(22時31分)</p>	<p>仙台空港に救援復旧対策に使用するヘリポート4機の駐機スペース確保</p>
	<p>国土交通省の「くしの歯作戦」によって、沿岸部へ通じる15ルートを確認(発生後4日)</p>  <p>国土交通省東北地方整備局資料</p>	

	国土交通省が津波で被害を受けた仙台空港にヘリポート4機の駐機スペース、滑走路1,500mを確保	
3月16日	<p>県内の死者1,000人を超える</p> <p>「東北地方太平洋沖地震における対応について」を阿久津内閣府大臣政務官（当時）、市村国土交通大臣政務官（当時）あて提出</p> <p>ガレキ撤去が一部終了した仙台空港に米軍機1号機が着陸</p>	被災地における災害応急対策を優先するため、工事の一時中止について周知
3月17日	<p>「東北地方太平洋沖地震災害廃棄物処理に関する要望書」を菅直人内閣総理大臣（当時）、松本環境大臣・内閣府特命大臣（当時）あて提出</p> <p>国土交通省が仙台空港北側で排水作業を開始</p>  <p>国土交通省による排水作業の様子</p>	
		下水道復旧に関する県民への協力呼びかけラジオ等の放送開始し、全戸にチラシ配布
		ガレキ撤去が応急完了した仙台港高松埠頭に緊急物資輸送船が震災後初入港
3月18日		<p>JX 日鉱日石エネルギー仙台精油所への燃料輸送ルート確保</p> <p>塩釜貞山油槽所への燃料輸送ルート確保</p>
3月19日	「トモダチ作戦」として、仙台空港において米軍、国土交通省、自衛隊、県、空港による共同運用調整所を管理事務室に発足し、日米合同救援活動を開始	県管理道路の通行規制がピーク全166箇所（全面通行止め92箇所、片側交互通行74箇所）
3月20日	<p>石巻市の倒壊家屋から80歳女性と16歳男性を救助</p> <p>国土交通省が仙台市若林区荒浜で排水作業を開始</p>	津波で甚大な被害を受けた県南浄化センターをマスクミ初公開
3月21日	<p>「平成23年東北地方太平洋沖地震対策に関する緊急要望書」を菅内閣総理大臣（当時）あて提出</p> <p>被災者向け公営住宅等情報センターを設置（国土交通省）</p>	塩釜港石油専用棧橋に2000kl積み石油輸送船が初入港
3月22日	東北自動車道の宇都宮IC～一関ICで大型車両の通行を開始（発災後11日）	<p>知事が仙台港中野2号ふ頭と仙塩浄化センターを現地視察</p> <p>被災者に対する住宅相談窓口を設置</p>
3月24日	<p>東北自動車道の交通規制を全面解除</p> <p>国土交通省及び関係者による仙台空港ターミナルビルの早期再開に向けたキックオフ・ミーティングを開始</p>	
3月25日		仙台港フェリー埠頭1号岸壁にフェリーが苫小牧港から震災後初入港（仙台～苫小牧間）

3月26日		津波で甚大な被害を受けた気仙沼港を一部供用開始
3月27日		塩釜港石油専用栈橋に5000kl積み石油輸送船が入港(この入港を契機にガソリンなど油燃料の需給環境が次第に改善)
3月28日	県内の死者が6,455人となり、阪神大震災の死者6434人を超える	応急仮設住宅の建設に着手(第1次着工分13市町1,110戸) 津波で甚大な被害を受けた女川港を一部供用開始
3月29日		建設業の関係各団体に復旧工事における被災者雇用の促進及び暴力団排除について依頼
3月30日	「仙台湾海岸仙台南部海岸の復旧について」を阿久津内閣府大臣政務官(当時)、市村国土交通大臣政務官(当時)あて提出	津波で甚大な被害を受けた石巻港を一部供用開始
4月1日	「平成23年東北地方太平洋沖地震対策に関する緊急要望書」を久保消防庁長官(当時)あて提出	仙台塩釜港及び石巻港における一般船舶の利用を再開 早期回復と各港湾背後企業の早期復興に向け第1回石巻港復興会議を開催 津波で甚大な被害を受けた仙塩浄化センターをマスコミ初公開
4月2日	「東北地方太平洋沖地震災害に関する要望書」を鹿野農林水産大臣(当時)あて提出	早期回復と各港湾背後企業の早期復興に向け第1回仙台塩釜港復興会議を開催
4月3日	「東日本大震災に対処するための特別立法等を求める要望書」を鈴木総務副大臣(当時)あて提出 「東日本大震災に対処するための特別立法等を求める要望書」を安住民主党国会対策委員長(当時)、山井衆議院議員あて提出	
4月4日	「東日本大震災対策に関する緊急要望書」を松本環境大臣・内閣府特命大臣(当時)あて提出 国土交通省東北地方整備局で国道45号の二十一浜橋(気仙沼市)を応急組立橋による応急復旧完了	
		
	国土交通省東北地方整備局資料	
4月7日	宮城県沖を震源とする余震が発生(マグニチュード7.1、県内では最大余震となる最大震度6強)	仙台港における自動車運搬船の定期航路を再開
4月8日	「東日本大震災に対処するための特別立法等を求める要望書」を菅内閣総理大臣(当時)あて提出	
4月11日	「宮城県震災復興基本方針(素案)」を公表	仙台港にフェリーが名古屋港から震災後初入港(仙台～名古屋間)

4月13日		仙台空港で国内臨時便が震災後初就航  <p>仙台空港を出発する臨時第一便</p>
4月14日	政府主催「第1回東日本大震災復興構想会議（全13回）」に村井知事が委員として提言 塩釜市魚市場で震災後初の水揚げ	
4月15日		輸入住宅資材を用いた応急仮設住宅供給事業者の提案に係る事前整理の受付を開始（～25日）
4月16日	「東日本大震災に対処するための特別立法等を求める要望書」を大畠国土交通大臣（当時）あて提出	仙台港から完成自動車の積み出しを震災後初出港  <p>震災後始めて完成車積み出しを行う様子</p>
	仙台市ガス局の都市ガス復旧工事終了（仙台市の津波被災地域除く）	
4月19日		応急仮設住宅の供給事業者の提案に係る事前整理の受付を開始（～28日）
4月20日		東北地方太平洋沖地震における県管理道路の通行規制箇所の解除見通しを公表
4月21日	東北本線の仙台～一関間で運転再開し、全線復旧	東日本大震災により被災した公共土木施設等の復旧・復興工程を公表 東北地方太平洋沖地震に伴う河川等の暫定的な水位基準の運用を公表
4月22日	宮城県震災復興本部を設置し、第1回宮城県震災復興本部会議を開催  <p>第1回宮城県震災復興本部会議の様子</p>	
4月23日	東北新幹線の盛岡～一関間で運転再開 マリンピア松島水族館が営業再開 サッカーJ1が再開し、ベガルタ仙台が川崎フロンターレに2対1で勝利	

4月25日	東北新幹線の仙台～福島間で運転再開し、仙台～東京間が直通運転となる	
4月27日	<p>天皇皇后両陛下が南三陸町・仙台市をご訪問</p>  <p>被災地に黙礼される両陛下</p> <p>「東日本大震災対策に関する緊急要望書」を松本内閣府特命担当大臣（当時）あて提出</p>	石巻港の中島2号岸壁に一般貨物船が震災後初入港
4月28日	「東日本大震災に対処する災害復旧及び復興に係る緊急要望」を大畠国土交通大臣（当時）あて提出	<p>塩竈市で県内初となる仮設住宅へ入居を開始</p>  <p>塩竈市伊保石地内に完成した仮設住宅</p>
4月29日	<p>東北新幹線が仙台～一関で運転再開し全線復旧</p>  <p>震災後運転再開した東北新幹線</p> <p>仙台市営地下鉄が台原～泉中央で運転再開し、全線復旧</p> <p>震災復興キックオフデー（関連イベントとしてプロ野球の楽天イーグルス、Jリーグのベガルタ仙台の試合などを開催</p> <p>第1回南三陸復興市を開催</p>	
5月2日	<p>第1回宮城県震災復興会議（県庁）</p>  <p>第1回震災復興会議の様子</p>	
5月4日	皇太子同妃が岩沼市、山元町をご訪問	

5月10日		公共土木施設第1次災害査定(～12日,6班体制,全110件) 被災建築物応急危険度判定を完了(12市18町,危険5,200件,要注意7,553件,調査済37,968件,合計50,721件)
5月13日		県発注工事における前金払の特例措置を実施(4割→5割) 第1回公共土木施設構造検討会を開催
5月16日		公共土木施設第2次災害査定(～20日,5班体制,全155件)
5月18日		仙台塩釜港における大気・海水の放射能等を測定し公表(～19日)
5月19日		被災宅地危険度判定を完了(～3/13,3市7町,危険886件,要注意1,470件,調査済1,640件,合計3,996件)
5月20日	「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」を菅内閣総理大臣(当時)あて提出	
5月21日	中国の温家宝首相,韓国の李明博大統領が来県	
5月23日		公共土木施設第3次災害査定(～27日,6班体制,全238件)
5月27日		仙台港向洋ふ頭に外航船が震災後初入港
5月30日		公共土木施設第4次災害査定(～3日,6班体制,全234件) 仙台塩釜港湾事務所が仙台港国際ビジネスサポートセンターで業務を再開
6月1日	地方自治法に係る派遣職員辞令交付  地方自治法派遣職員辞令交付式の様子	県発注工事等の特例措置を実施(特別簡易型の導入,入札保証金の緩和,現場代理人の常駐緩和,数値的判断基準の見直し)
6月3日	第2回宮城県震災復興会議(東京)	
6月4日	皇太子同妃両殿下が岩沼市・山元町をご訪問  避難している方々に言葉をかけられる皇太子同妃両殿下	
6月6日		公共土木施設第5次災害査定(～10日,6班体制,全210件)

6月8日		<p>仙台港における内航フィーダーコンテナ航路を再開</p> <p>東部土木事務所向陽町分庁舎を開設</p>
6月13日		公共土木施設第6次災害査定(～17日, 6班体制, 全194件)
6月15日		アメリカ土木学会が被災地を現地調査
6月20日	政府で「東日本大震災復興基本法」成立	公共土木施設第7次災害査定(～24日, 6班体制, 全212件)
6月21日		第1回被災3県土木部長会議を宮城県で開催
6月22日		第2回公共土木施設構造検討会を開催
6月24日	<p>政府が「東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部」を設置</p> <p>「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」を菅内閣総理大臣(当時)あて提出</p>	
6月25日	政府の東日本大震災復興構想会議が「復興への提言」を決定	<p>仙台港エリア復興記念イベント「マルシェ・ジャポン in 仙台港」を開催(～26日)</p> 
6月27日	<p>秋篠宮同妃両殿下が気仙沼市をご訪問</p> 	公共土木施設第8次災害査定(～30日, 6班体制, 全157件)
7月1日	「仙台・宮城伊達な旅復興キャンペーン」スタート	津波で被災した東部土木事務所の修理が完了し, 東部土木事務所で業務を再開
7月4日		公共土木施設第9次災害査定(～8日, 6班体制, 全228件)
7月6日		石巻港の岸壁, 荷さばき地の応急復旧が完了
7月8日		秋篠宮同妃両殿下 石巻市などをご訪問

7月11日		<p>公共土木施設第10次災害査定（～15日，6班体制，全198件）</p> <p>石巻港の日和7号岸壁に大型貨物船が震災後初入港</p>  <p>石巻港に震災後初入港した様子</p>
7月13日	<p>第3回宮城県震災復興会議（東京）</p> <p>「宮城県震災復興計画（案）」のパブリックコメントを開始（～2日）</p>	
7月16日	<p>「宮城県震災復興計画（案）」の県民説明会を開催（仙台・大河原地区）</p> <p>東北六魂祭が開催される（～17日）</p>  <p>六魂祭のイベントの様子</p>	
7月18日	「宮城県震災復興計画（案）」の県民説明会を開催（北部・東部地区）	
7月19日	トヨタ自動車が県内へのエンジン工場新設など「東北の復興支援策」を発表	
7月25日	<p>「宮城県内における，東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う被害への対応を求める要望書」を細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣（当時）あて提出</p>	<p>公共土木施設第11次災害査定（～29日，6班体制，全210件）</p> <p>仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運行再開</p>  <p>国内定期便再開の式典の様子</p>
7月29日	政府で「東日本大震災からの復興の基本方針」を決定	

8月1日	自衛隊の県内での支援活動が終了  自衛隊撤収式の様子	公共土木施設第12次災害査定(～5日, 5班体制, 全172件)
8月2日		第2回宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会を開催
8月4日	「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」を菅内閣総理大臣(当時)あて提出	
8月6日	仙台七夕まつりが開催される(～8日)	
8月8日		公共土木施設第13次災害査定(～12日, 5班体制, 全185件)
8月10日	県内初の事業用仮設施設(しおがま・みなと復興市場)が完成	
8月11日		仙台港エリア復興イベント「with LIGHT UP NIPPON」「マルシェ・ジャポン in 仙台港」を開催(～14日)
8月17日	「宮城県震災復興計画(最終案)」を公表	
8月22日	第4回宮城県震災復興会議(県庁)	公共土木施設第14次災害査定(～26日, 5班体制, 全174件)
8月23日	ジョセフ・バイデン米国副大統領が来県	
8月26日	宮城県震災復興計画(案)を公表	
8月29日		公共土木施設第15次災害査定(～2日, 5班体制, 全143件)
8月30日	復興道路となる三陸沿岸道路(県内では三陸縦貫自動車働道)の全ルートが決定	
9月1日		第2回被災3県土木部長会議を岩手県で開催
9月5日	「宮城県サポート支援センター支援事務所」開設	公共土木施設第16次災害査定(～9日, 5班体制, 全149件) ○仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン1/4基目の供用を再開
9月7日	「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」を野田内閣総理大臣あて提出	
9月9日		宮城県沿岸における海岸堤防高さの設定について公表
9月11日		「東日本大震災の記録(暫定版)」を発刊
9月12日	「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」設立	公共土木施設第17次災害査定(～16日, 5班体制, 全214件) 「宮城県社会資本再生・復興計画」のパブリックコメントを開始(～30日)

9月15日		<p>仙台港で日本初となる45フィートコンテナの第一船出航</p>  <p>ガントリークレーンで荷役される45フィートコンテナ</p>
9月15日		第3回公共土木施設構造検討会を開催
9月16日	日本製紙石巻工場が生産を再開	
9月17日	野田首相が気仙沼市を視察	
9月20日	<p>台風15号で記録的豪雨（総雨量：石巻市雄勝532.5mm・女川452.5mm・名取332.0mm）</p>  <p>品井沼遊水地越流状況 (大崎市鹿島台字下志田地内)</p>	「3.11 東日本大震災復興・復興パネル展」を開催（30日まで）
9月25日		<p>仙台空港ターミナルビルが完全復旧し、国際定期便（仙台～ソウル便）再開</p>  <p>仙台空港ビル完全復旧・国際定期便就航記念式典の様子</p>
9月26日	石巻合同庁舎，気仙沼合同庁舎が移転	公共土木施設第18次災害査定（～30日，5班体制，全283件）
		みやぎ45フィートコンテナ物流特区の総合特区を国に指定申請
9月29日	知事が宮城県産の新米の安全宣言を発表	
9月30日		仙台港における国際定期コンテナ航路（中国／韓国）を再開

10月1日		<p>仙台空港アクセス鉄道の全線運行再開</p>  <p>仙台空港アクセス鉄道再開の様子</p>
10月2日		仙台空港で国際定期便（仙台～グアム便）再開
10月3日		公共土木施設第19次災害査定（～7日，5班体制，全253件）
10月5日	「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」野田内閣総理大臣あて提出	
10月11日		公共土木施設第20次災害査定（～14日，5班体制，全178件）
10月15日	「復興へ頑張ろう！みやぎまるごとフェスティバル2011」開催（～16日）	
10月18日	県議会で「宮城県震災復興計画」を承認	公共土木施設第21次災害査定（～21日，5班体制，全196件）
		<p>津波で落橋した新北上大橋及び定川大橋の仮橋を供用開始</p>  <p>新北上大橋仮橋の様子</p>
10月24日		「宮城県社会資本再生・復興計画」を策定し公表
		<p>公共土木施設第22次災害査定（～28日，5班体制，全183件）</p> <p>応急仮設住宅の寒さ対策追加工事に着手</p>
10月28日	東日本大震災復興特別区域法を閣議決定	
11月2日	キリンビール仙台工場が震災後初出荷	
11月4日		応急仮設住宅が全戸分完成（15市町22,042戸）
		 <p>応急仮設住宅の全景</p>
11月7日	震災の影響で4月から延期されていた宮城県議会議員選挙を告示	公共土木施設第23次災害査定（～11日，8班体制，全275件）

11月11日		被災市街地復興特別措置法に基づく被災市街地復興推進地域を都市計画決定（気仙沼市，名取市，女川町，南三陸町）
11月12日	復興屋台村気仙沼横丁がオープン	
11月13日	宮城県議会議員選挙の投票日	
11月14日	「宮城県産業復興相談センター」開設	公共土木施設第24次災害査定（～18日，8班体制，全205件） 第3回被災3県土木部長会議を福島県で開催 地震で被災した志田橋の通行止め解除
		
11月19日	三陸道登米志津川道路の志津川トンネルで「復興道路着工式」を開催	
		
	震災後初の県産イチゴの出荷開始	
11月23日		気仙沼市の要請で応急仮設住宅の建設を追加着手（6団地53戸）
11月24日		「みやぎ県北高速幹線道路」第I期区間を全線供用開始
		
		第3回宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会を開催
11月28日		公共土木施設第25次災害査定（～2日，8班体制，全228件）
12月1日	「みやぎの心のケアセンター」開設	
12月2日	「2011 SENDAI 光のページェント」開催（～31日）	

12月5日		公共土木施設第26次災害査定(～9日, 8班体制, 全210件)
12月6日		仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン2/4基目の供用を再開
12月7日	東日本大震災復興特別区域法が成立	
12月12日	「東日本大震災により被災したJR各線の復旧に当たり財政支援を求める要望書【岩手県・福島県との共同要望】」を野田内閣総理大臣あて提出 「東日本大震災に対処するための継続的な予算措置等を求める要望書」を野田内閣総理大臣あて提出	公共土木施設第27次災害査定(～16日, 10班体制, 全295件)
12月19日		公共土木施設第28次災害査定(～23日, 12班体制, 全410件)
12月20日		知事が仮設住宅における寒さ対策を現地確認(石巻市万石浦仮設住宅)
12月21日		「宮城県復興住宅計画」を策定し公表
12月26日	東日本大震災復興特別区域法を施行	気仙沼市の要請で建設した応急仮設住宅が全戸完成(6団地53戸)
12月27日	宮城産業復興機構が発足	
12月30日	県内の全避難所が閉鎖	
1月4日	みやぎ被災者聴覚障害者情報支援センター開設	
1月10日	野田首相が来県し、石巻市の水産加工会社や仮設住宅を視察  水産加工会社視察の様子 「東日本大震災に対処するための要望書」を野田内閣総理大臣あて提出	
1月11日		国内初となる45フィートコンテナ輸入を仙台港において開始
1月13日		仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン3/4基目の供用を再開
1月15日		応急仮設住宅の寒さ対策追加工事が完成(401団地, 21,572戸)
1月20日	「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う被害への早期対応を求める要望書」を野田内閣総理大臣あて提出	

<p>1月22日</p>		<p>仙台港における北米西岸／東南アジアコンテナ航路を再開</p>  <p>コンテナ積み卸しの様子</p>
<p>1月23日</p>		<p>公共土木施設第29次災害査定（～27日，1班体制，全9件）</p> <p>公共土木施設災害査定完了（全29次，5,908件）</p>
<p>1月27日</p>	<p>宮城県民間投資促進特区を県内34市町村と共同申請</p>	<p>気仙沼地区の復興のシンボルとなる大島架橋事業に着手</p>  <p>大島架橋事業着手式の様子</p>
<p>1月29日</p>	<p>直轄代行となる仙台湾南部海岸堤防復旧に着手</p>  <p>仙台湾南部海岸堤防着工式の様子</p>	
<p>1月30日</p>		<p>第1回宮城県統合港湾長期構想委員会を開催を開催し，仙台塩釜港、石巻港、松島港が一体となった港湾としての長期構想及び港湾計画素案について検討</p>
<p>1月31日</p>	<p>東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策基本方針を策定</p> <p>国に復興交付金事業計画（第1回）を提出</p>	
<p>2月6日</p>		<p>第4回被災3県土木部長会議を宮城県で開催</p> <p>「3.11 東日本大震災復旧・復興パネル展」を開催（17日まで）</p>
<p>2月9日</p>		<p>「東日本大震災社会資本再生・復興シンポジウム」を開催し，土木部の取り組みを一般聴講者に報告</p>

2月10日	復興庁が発足（仙台市に宮城復興局、気仙沼市・石巻市に2支所を設置）	仙台国際貿易港首都圏セミナーを東京で開催
2月15日		「公共土木施設等復旧方針」を策定し公表
2月17日	石巻市、女川町、名取市、岩沼市、山元町で復興整備協議会を設置し開催	
2月21日		災害公営住宅の整備について被災市町と協定締結（東松島市、亶理町）
3月2日	国から復興交付金可能額通知（第1回）が発表	
3月3日		津波で甚大な被害を受けた大曲海岸の堤防復旧に着手  大曲海岸災害復旧着工式の様子
3月6日	「東日本大震災復興交付金に関する緊急要望書」を平野復興大臣あて提出	
3月9日		「3.11 伝承・減災プロジェクト」に着手し、津波浸水標示板を県内の公共施設に設置を開始  津波浸水標示板を設置している様子 
3月11日	東日本大震災で犠牲となられた方々への追悼式等が日本各地で開催され、県内で被害最も大きかった石巻市の追悼式に知事が出席 県では県内3か所（県庁・大河原合庁・大崎合庁）に献花台と記帳所を設置し、発生時刻の午後2時46分に黙とうを捧げました 	南三陸町の追悼式に知事代理として土木部長が出席 
3月12日		「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会パネル展」を開催（22日まで）

3月13日	「被災者に対する新たな法的支援を実施するための特別立法を求める要望書」を野田内閣総理大臣あて提出	
3月21日		「宮城県社会資本・再生復興計画緊急アクションプラン」を策定し公表
3月22日		「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会」を開催し、一般聴講者に県内の建築被害を報告
3月23日	集団移転促進事業が全国初で決定し、石巻市、岩沼市で復興整備協議会を開催	
3月24日	災害廃棄物処理（亘理処理区）の焼却炉で県内初の火入れ  亘理処理区の焼却炉全景	
3月25日		国際定期便（仙台－上海經由北京線）再開  運行再開の記念式典の様子
3月26日	津波避難のための施設整備指針を津波対策連絡協議会で承認	
3月27日		国際定期便（仙台－大連經由北京線）再開 第2回宮城県統合港湾長期構想委員会を開催し、仙台塩釜港、石巻港、松島港が一体となった港湾としての長期構想及び港湾計画素案について検討
3月28日	「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定し公表	
3月29日		宮城県地方港湾審議会を開催し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の港湾区域統合について審議
3月30日	災害廃棄物処理（名取処理区）の焼却炉で県内2番目の火入れ 復興整備計画の公表（石巻市、女川町、名取市、岩沼市、山元町）	「東日本大震災職員の証言（想い）」を発刊 「東日本大震災1年の記録（宮城県土木部版）」を発刊

(2)宮城県土木部地方公所の歩み(震災から1年間の記録)

1)大河原土木事務所の対応状況

年月日	項目	内容	年月日	項目	内容
平成23年	地震発生	三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約10km(速報値)	4月25日	交通規制	(一)瀧井蔵王線 村田町沼田 全面通行止め解除
3月11日		三陸沿岸に大津波警報発令	4月30日	職員派遣	被災市町人的支援(～5月3日)亶理町
14:46		非常配備体制、宮城県災害対策本部(大河原地方支部)設置		交通規制	(一)越河角田線 角田市角田 全面通行止め解除
	BOP	土木部BOPに基づく対応開始、庁舎確認を実施		支援	災害復旧事業技術指導(丸森町)
15:02	パトロール	委託契約に基づく道路管理者と災害時応援協定に基づく宮城県建設業協会が道路パトロール等の初動対応を開始	5月1日	職員派遣	兵庫県から5名、岐阜県2名、建設センター3名(～6月30日)
	パトロール	道路、河川管理者へパトロール指示	5月2日	交通規制	(主)丸森柴田線 丸森町山崎 片側交互通行解除
	随時	情報収集		交通規制	(一)蔵王大河原線 蔵王町矢附1 片側交互通行解除
	随時	直営パトロール	5月10日	災害査定	第1次災害査定(～5月12日)
	随時	通行規制	5月13日	支援	仙台土木事務所管内(亶理町、山元町)支援 災害調査
	随時	応急対応	5月16日	職員派遣	震災復興住宅計画(～8月31日)1名
16:20	安否確認	職員安否確認:地震発生直後に51名/72名の安否を確認(所内:48名、出張:3名)	5月16日	災害査定	第2次災害査定(～5月20日)
16:50	情報報告	道路、河川被害状況報告、道路規制情報報告(道路課、河川課)	5月23日	災害査定	第3次災害査定(～5月27日)
17:10	情報収集	県境路線については、隣接県と情報共有(山形県より国道113号通行可能)	5月30日	災害査定	第4次災害査定(～6月3日)
18:00	道路情報報告	道路規制情報報告(道路課)	5月31日	復旧	(国)457号 白石市福岡 応急工事完成
18:45	情報提供	NEXCO東日本へ国道286号の通行可能情報を提供		道路管理	東日本大震災後の道路管理に係る調整会議
23:15	情報収集	管理委託業者より国道113号トンネル群通行可能	6月1日	交通規制	(国)457号 白石市八宮 全面通行止め解除
3月12日			6月3日	復旧	(主)亶理大河原川崎線 亶理橋応急工事完成
0:50	道路情報報告	緊急物資輸送大型車両の走行ルート通行確認(道路課へ報告)		復旧	(主)白石丸森線 白石市尻 応急工事完成
2:50	支援要請	建設業協会仙南支部へ支援要請	6月6日	災害査定	第5次災害査定(～6月10日)
	随時	通行規制	6月6日	職員派遣	被災市町人的支援(～6月9日)山元町
	随時	応急対応	6月10日	職員派遣	被災市町人的支援(～6月13日)山元町
7:00	パトロール	管理委託業者によるパトロール実施	6月10日	復旧	仙台土木事務所管内(山元町)応急工事完成(道路3件)
7:40	直営パトロール	管内道路、河川パトロール開始(道路7班、河川3班、急傾斜地地すべり3班)	6月13日	復旧	(国)113号 角田市横倉 応急工事完成
8:30	道路情報報告	道路規制情報、橋梁調査結果報告(道路課)		復旧	(国)349号 角田市横倉 応急工事完成
8:30	情報提供	一般住民へ道路規制情報提示、配布開始(大河原倉1F)		復旧	(一)佐倉北郷線 角田市北郷 応急工事完成
11:45	直営パトロール	管内パトロール完了、全面通行止め区間の迂回ルート確保調整		復旧	(一)船岡停車場船岡線 柴田町船岡 応急工事完成
12:30	道路情報報告	道路規制情報報告(道路課)	6月16日	災害査定	都市災害(下水道)第2次査定(柴田町、蔵王町)
12:30	支援要請	災害時応援協定に基づき、宮城県測量設計業協会へ調査依頼要請(防災砂防課から)		支援	危険ブロック塀改善現地指導(川崎町)
17:15	安否確認	職員安否確認:69名/72名の安否を確認		復旧	(主)蔵王川崎線 蔵王町内田 応急工事完成
17:30	配備体制	職員夜間勤務体制表作成、実施		復旧	(主)丸森柴田線 丸森町小斎 応急工事完成
	交通規制	(主)蔵王川崎線 川崎町前川 全面通行止め解除		復旧	(一)角田柴田線 柴田町船岡 応急工事完成
	交通規制	(国)286号 川崎町内川 全面通行止め解除		復旧	(主)白石上山線 蔵王町倉石 応急工事完成
	交通規制	(主)白石柴田線 白石市中島 全面通行止め解除		支援	危険ブロック塀改善現地指導(角田市、蔵王町)
	交通規制	(主)蔵王川崎線 川崎町前川 片側交互通行解除	6月20日	災害査定	第7次災害査定(～6月24日)
3月13日				支援	危険ブロック塀改善現地指導(村田町)
	随時	パトロール	6月21日	復旧	(主)白石上山線 蔵王町遠刈田温泉1 応急工事完成
	随時	通行規制		支援	山元町住宅団地の災害復旧事業に関する打合せ
	随時	応急対応	6月22日	支援	危険ブロック塀改善現地指導(柴田町)
16:50	情報報告	道路、河川被災報告、道路規制情報報告(道路課、河川課)	6月23日	復旧	平家川 白石市福岡深谷 応急工事完成
16:50	パトロール	道路管理施設(橋梁、トンネル、スノーロックシールド等)点検調査開始		支援	危険ブロック塀改善現地指導(大河原町)
16:50	被災調査	宮城県測量設計業協会、管内被災調査開始	6月27日	災害査定	第8次災害査定(～6月30日)
13:40	建物調査	被災建築物応急危険度判定の依頼(村田町)		復旧	(主)丸森柴田線 角田市坂津田 応急工事完成
16:50	安否確認	職員安否確認:71名/72名の安否を確認		支援	仙台土木事務所管内(山元町)八手庭川の応急工事完成
	交通規制	(国)349号 角田市江尻1 全面通行止め解除	6月30日	復旧	(国)286号 川崎町内川 応急工事完成
	交通規制	(一)亶理大河原川崎線 大河原町大谷 片側交互通行解除		復旧	(国)457号 白石市福岡 応急工事完成
3月14日				復旧	(主)白石上山線 蔵王町遠刈田温泉2 応急工事完成
	随時	パトロール		復旧	(主)仙台村田線 村田町菅生字館 応急工事完成
	随時	通行規制		復旧	(一)角田柴田線 柴田町船岡 応急工事完成
	随時	応急対応		復旧	(主)南蔵王七ヶ宿線 七ヶ宿町横川 応急工事完成
16:50	情報報告	道路、河川被災報告、道路規制情報報告(道路課、河川課)	7月1日	復旧	(一)大河原高倉線 大河原町大谷 応急工事完成
16:50	パトロール	道路管理施設(橋梁、トンネル、スノーロックシールド等)点検調査開始		復旧	
16:50	被災調査	宮城県測量設計業協会、管内被災調査開始	7月4日	災害査定	第9次災害査定(～7月9日)
13:40	建物調査	被災建築物応急危険度判定の依頼(村田町)	7月4日	職員派遣	災害査定業務支援のため職員派遣(～7月8日)1名、防災砂防課
16:50	安否確認	職員安否確認:71名/72名の安否を確認	7月11日	災害査定	第10次災害査定(～7月15日)
	交通規制	(国)349号 角田市江尻1 全面通行止め解除	7月11日	職員派遣	災害査定業務支援のため職員派遣(～7月15日)1名、防災砂防課
	交通規制	(一)亶理大河原川崎線 大河原町大谷 片側交互通行解除	7月15日	交通規制	(主)白石柴田線 白石市内親 全面通行止め解除
3月15日			7月18日	職員派遣	被災市町人的支援(～7月23日)山元町
	随時	パトロール	7月20日	復旧	(主)丸森柴田線 丸森町長根地区 応急工事完成
	随時	通行規制	7月21日	職員派遣	被災市町人的支援(～7月25日)山元町
	随時	応急対応	7月25日	職員派遣	災害査定業務支援のため職員派遣(～7月29日)、1名防災砂防課
	随時	情報報告	7月26日	復旧	第11次災害査定(～7月29日)
	随時	支援	7月29日	災害査定	(主)仙台村田線 村田町菅生 応急工事完成
10:00	支援	建設業協会仙南支部から建設作業重機の稼働可能数量報告	8月1日	職員派遣	災害査定業務支援のため職員派遣(～5日)1名、防災砂防課
14:45	労働災害	労働基準監督署から災害対応による労災該当について確認(なし)	8月1日	災害査定	第12次災害査定(～8月5日)
15:40	支援	建設業協会仙南支部から仙台土木(亶理町)へ支援可能な打診有り(仙台土木へ連絡)	8月4日	復旧	(主)岩沼蔵王線 蔵王町平沢 応急工事完成
	配備体制	3月分職員勤務シフト表作成、実施	8月8日	災害査定	第13次災害査定
15:50	通行規制	仙台河川国道事務所より阿武隈川堤防亀裂の情報(職員立会)、検討後、国道349号通行止め	8月23日	災害査定	第14次災害査定(～8月26日)
16:00	安否確認	職員安否確認:72名全員の安否を確認	8月24日	復旧	白石川 柴田町下名生 応急本工事完成
3月15日			8月29日	災害査定	第15次災害査定(～9月2日)
	随時	パトロール		復旧	(主)丸森柴田線 丸森町金山 応急工事完成
	随時	通行規制	9月5日	災害査定	第16次災害査定(～9月7日)
	随時	応急対応	9月12日	災害査定	第17次災害査定(～9月16日)
	随時	情報報告	9月15日	支援	不忘園災害復旧調査設計業務発注(受託)
	随時	支援	9月21日	復旧	(主)丸森柴田線 角田市坂津田 応急工事完成
	随時	交通規制	9月26日	災害査定	第18次査定(～9月30日)
	随時	交通規制	9月30日	支援	旧白石高等技術専門校跡地緊急工事完成(受託)
	随時	交通規制	10月4日	交通規制	(国)113号 白石市郡山 片側交互通行解除
	随時	交通規制	10月5日	交通規制	(主)丸森柴田線 角田市株野 片側交互通行解除
	随時	訓練	10月18日	訓練	消防訓練(消火栓操作訓練)
	随時	職員派遣	11月1日	職員派遣	東部土木事務所業務支援のため職員派遣(1ヶ月間)1名
	随時	交通規制	11月20日	交通規制	(主)白石上山線 蔵王町遠刈田温泉 全面通行止め解除
	随時	交通規制		交通規制	(一)蔵王大河原線 蔵王町矢附2 片側交互通行解除
	随時	交通規制		交通規制	(一)大河原高倉線 角田市毛茸 片側交互通行解除
3月17日	交通規制	(主)白石上山線 蔵王町内田 片側交互通行解除	11月30日	復旧	(国)113号 白石市郡山1 応急本工事完成
3月21日	交通規制	(主)岩沼蔵王線 村田町姥ヶ橋 全面通行止め解除		復旧	(主)白石上山線 蔵王町遠刈田温泉 応急本工事完成
3月22日	交通規制	(主)亶理大河原川崎線 角田市岡 片側交互通行解除	12月1日	訓練	緊急地震速報訓練
3月23日	職員派遣	災害査定業務支援のため職員派遣(～3月31日)2名、防災砂防課	12月1日	職員派遣	気仙沼地方振興事務所業務支援のため職員派遣(1ヶ月間)1名
3月29日	支援	仙台土木事務所管内(山元町)の坂本川、戸花川の応急工事完成	12月8日	復旧	宮城県白石工業高校校舎災害復旧(受託)
3月31日	交通規制	(主)丸森柴田線 角田市坂津田 全面通行止め解除	12月13日	災害査定	都市災害(公園)第2次査定(～12月16日)仙台土木事務所支援
			12月20日	復旧	(国)113号 白石市郡山2 応急本工事完成
4月4日	支援	仙台土木事務所管内(亶理町、山元町)支援災害調査		復旧	(主)南蔵王七ヶ宿線 白石市福岡深谷1 応急本工事完成
4月9日	交通規制	(一)南蔵王白石線 白石市石淵橋 全面通行止め解除		交通規制	(国)113号 白石市鹿野 片側交互通行解除
4月11日	支援	仙台土木事務所管内(山元町)の(主)相馬亶理線高橋橋の応急工事完成		交通規制	(国)457号 川崎町前川11 片側交互通行解除
4月14日	交通規制	(一)大河原高倉線 大河原町見城前 全面通行止め解除		交通規制	(一)角田柴田線 角田市神次郎1 片側交互通行解除
4月16日	交通規制	(一)瀧井蔵王線 村田町荒川橋 片側交互通行解除	12月26日	復旧	(主)南蔵王七ヶ宿線 白石市福岡深谷2 応急仮工事完成
	交通規制	(国)349号 角田市尻2 全面通行止め解除	12月27日	職場研修	「3.11巨大津波を経験して」体験談を通して意見交換
	交通規制	(主)亶理川崎大河原線 角田市東根橋 片側交互通行解除		復旧	(主)南蔵王七ヶ宿線 白石市福岡深谷 応急本工事完成
	交通規制	(国)349号 角田市尻3 片側交互通行解除	12月28日	支援	宮城県クレーン射撃場災害調査業務完了(受託)
4月20日	職員派遣	被災住宅応急修理制度業務の相談:窓口業務支援(石巻市)	1月27日	支援	宮城県白石工業高校校舎災害復旧(受託)
4月21日	支援	災害復旧事業技術指導(蔵王町ほか3市町)	1月27日	復旧	(一)越河角田線 角田市小田 応急本工事完了
4月22日	交通規制	(一)青根蔵王線 川崎町巖々 全面通行止め解除	1月26日	職場研修	現場研修実施(東日本大震災沿岸被災地視察)石巻市、女川町方面
4月23日	交通規制	(主)岩沼蔵王線 村田町村田 片側交互通行解除	1月31日	職場研修	現場研修実施(東日本大震災沿岸被災地視察)気仙沼市、南三陸町方面

1) 大河原土木事務所の対応状況（写真）



写真-1 被災状況、交通規制状況のとりまとめ  
確認状況（夜間）3月11日



写真-2 被災状況、交通規制状況のとりまとめ  
確認状況（夜間）3月11日



写真-3 早朝全体会議状況 3月12日



写真-4 夕方全体会議状況 3月12日



写真-5 他県応援職員の執務状況（兵庫県4名  
岐阜県2名）



写真-6 他県応援職員の執務状況（兵庫県4名  
岐阜県2名）

2) 仙台土木事務所の対応状況 (1/3)

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	最大震度7(栗原市)、震度6強(仙台市、塩釜市、名取市等)、震源:三陸沖、深さ:約24km、マグニチュード:9.0
14:50	異常気象情報	大津波警報発令
15:00	BCP	土木部BCPに基づき安否確認、庁舎点検確認を実施
	庁舎被害等	管内建築物の被害について情報収集(～4月末)
	建築業務(支援)	被災住宅相談業務開始(TEL、応対)
	道路パトロール	委託業者による管内パトロール(8班)の指示
	河川パトロール	委託業者による管内パトロール(10班)の指示
15:34	道路パトロール	(主)岩沼蔵王線通行止め確認、エアブリッジ段差合材で応急対応(道路管理業者対応)
15:40	道路パトロール	(一)半田山下線通行止め確認、及びパトロール指示(道路管理業者対応)
15:46	道路パトロール	(一)名取村田線・村田町で土砂崩れを確認、全面通行止め(道路管理業者対応)
16:09	道路パトロール	(主)塩釜互理線・仙台空港トンネル 大津波警報後基礎等施設確認を指示(道路管理業者対応)
17:00	道路被災	(主)仙台塩釜線(多賀城市～塩釜市)・瓦礫堆積等で、全面通行止め
	道路被災	(主)塩釜谷線・冠水、瓦礫堆積等により、全面通行止め
	道路被災	(一)岩沼海岸線(二の倉)・瓦礫堆積等で、全面通行止め
	道路被災	(主)塩釜互理線(関上大橋～仙台空港トンネル)・瓦礫堆積等で、全面通行止め
	道路被災	(主)相馬互理線(亶理町～県境)・瓦礫堆積等で、全面通行止め
	道路被災	(一)吉田浜山元線・瓦礫堆積等により、全面通行止め
	道路被災	(一)坂元停車場線・瓦礫堆積等により、全面通行止め
	道路被災	(一)荒浜港今泉線・瓦礫堆積等により、全面通行止め
	道路被災	(一)山下停車場線(山下駅～駅前橋)・瓦礫堆積等により、全面通行止め
	道路被災	(一)山下停車場線(駅前橋～国道6号)・家屋倒壊等により、片側交互通行
	道路被災	(主)塩釜互理線・仙台空港トンネル 冠水により全面通行止め。避難者有り、自衛隊到着。全面通行止め。(道路管理業者対応)
17:45	道路被災	(国)346号・品井沼大橋、轄谷大橋の段差確認、片側交互通行。
17:35	道路パトロール	互理線R6号から側面異常なし。互理IC異常なし。津波警報解除後塩釜互理線、相馬互理線漂着物撤去指示。事務所待機(道路管理業者対応)
	道路被災	(一)大和幡谷線・関場橋に段差確認、片側交互通行
	道路被災	(一)大和幡谷線・不來内地区に路面亀裂を差確認、片側交互通行
18:20	安否確認(第1)	安否確認、登庁可能確認終了(登庁済み:101人、登庁不可能等:21人)
19:00	道路被災	(主)大和島線・山崎橋に段差確認、全面通行止め
19:10	道路被災	(主)仙台岩沼線・南長谷横断ボックス 5cm段差(規制解除)
	道路被災	(主)塩釜互理線・空港トンネル内排水のため、明日水中ポンプ手配予定
19:30	道路被災	(一)大衛駒橋線・水道管破裂による路面陥没を確認、片側交互通行。
	道路被災	(主)仙台空港線、(主)塩釜互理線、空港トンネル交差点から空港方向は瓦礫堆積で全面通行止め。
21:00	道路被災	(主)塩釜互理線、木引掘橋付近セサナ機2台漂着
	道路被災	(一)竹谷幡谷線・蝦穴橋橋台背面に陥没確認、片側交互通行。
	道路応急完了	(国)346号・品井沼大橋、轄谷大橋について碎石により応急復旧完了、規制解除。
	道路応急完了	(主)大和島線・西川橋段差擦りつけた完了、規制解除。
	道路応急完了	(国)346号・品井沼大橋、轄谷大橋の段差解消、規制解除
	道路応急完了	(主)利府松山線・新堀橋に段差解消、規制解除
	道路応急完了	(主)利府松山線・粕川大橋、橋梁段差解消、規制解除
	道路応急完了	(一)大和幡谷線・関場橋に段差解消、規制解除
	道路応急完了	(国)457号・大衛(歩道)路面陥没解消、規制解除
	道路応急完了	(主)鹿島台鳴瀬線・二子屋橋段差確認、碎石で復旧済み。
	道路応急完了	(主)鹿島台鳴瀬線・吉田川堤防上亀裂確認、クラック充填済み。
21:45	道路被災	(一)利府停車場運動公園線・八幡崎橋に段差確認、片側交互通行。
	道路被災	(一)利府停車場運動公園線・北部道路直下でマンホールの浮き上がりを確認、片側交互通行。
	道路被災	(主)泉塩釜線・南宮集会所前でマンホール浮き上がりを確認、片側交互通行。
23:50	道路被災	(一)大和幡谷線・身洗橋に段差確認、全面通行止め。
3月12日		
	配備体制	夜間及び休日:2班体制(技術各班1～2人含む)+責任者(技術の総括次長以上1人):(3月12日～3月18日)
	応援要請	宮城県測量設計業協会に調査・点検等の応援準備要請
	応援要請	宮城県建設業協会各支部へ応援準備要請
1:30	道路パトロール	(主)塩釜互理線・関上大橋ジョイント部横方向に10cmのずれ、取付部10cm傾いている状況(業者委託報告)
	道路パトロール	(一)名取村田線、市境より村田側土砂崩れにより通行止め(業者委託報告)
	道路パトロール	(一)仙台館線、歩道部マンホール突出あり(業者委託報告)
6:00	職員パト開始	津波警報継続中であるため、とりえず沿岸以外から被災状況調査開始。
	道路パトロール	管内7班体制で直営パトロール開始
	河川パトロール	管内4班体制で直営パトロール(高城川水系、砂押川水系、七北田川水系、鳴瀬川水系)で直営パトロール実施
	砂防パトロール	管内3班体制で直営パトロールを実施
	職員パトロール	管内急傾斜崩壊危険区域のパトロール実施
	河川被災	七北田川河口部堤防破壊を確認
6:45	交通規制	(主)仙台松島線・タンクローリーの脱輪を確認、片側交互通行。
7:20	道路被災	(主)仙台岩沼線・JA前で路面亀裂確認、全面通行止め
8:00	道路応急完了	(一)大和幡谷線・身洗橋に段差、碎石で復旧済み
8:00	道路被災	(一)大和幡谷線・段差、液状化状況を確認、全面通行止め。
8:40	道路応急完了	(主)岩沼蔵王線・事前規制、規制解除
9:00	安否確認(第2報)	安否確認、登庁可能確認終了(登庁済み:102人、登庁不可能等:20人)
9:45	道路被災	(主)角田山元線(坂元川～国道6号)・瓦礫堆積を確認、全面通行止め。
10:00	道路応急完了	(主)仙台松島線・タンクローリーの撤去完了。
11:00	道路被災	(主)石巻鹿島台大衛線・陥没を確認、片側交互通行。
	道路被災	(一)赤沼松島線(国道45号側)冠水により全面通行止め
	道路被災	(一)大和幡谷線・不來内に陥没を確認、全面通行止め。
11:30	道路被災	(一)関上港線・宮下橋橋樑を確認、全面通行止め(市道迂回路)
12:00	道路被災	(一)弁沢吉岡線・事前規制、全面通行止め。
12:00	道路応急完了	(一)弁沢吉岡線・志田野川橋の安全確認、規制解除
	道路応急完了	(一)大和幡谷線・段差、解消、規制解除

月日	項目	内容	
15:45	道路被災	(一)杉ヶ袋増田線(塩釜互理線～東部道路)・瓦礫堆積を確認、全面通行止め	
	道路被災	(一)関上港線(名取IC～関上)・瓦礫堆積を確認、全面通行止め	
16:00	道路応急完了	(一)大和幡谷線・不來内地区の路面亀裂補修、規制解除	
3月12日			
	庁舎被害等	仙台塩釜港事務所、中南部下水道事務所、仙台港背後地土地区画整理事務所が、事務所会議室へ移動	
16:20	道路被災	(主)奥松島島公園線・手樽地区亀裂多数を確認、全面通行止め	
16:30	道路被災	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線・念仏橋～笠神橋一車線流出確認、全面通行止め	
16:30	河川被災	砂押川(笠神新橋下流の左右岸)の堤防決壊、沈下等を確認	
17:30	要請	名取市新町の内水排除のためポンプ排水を貞山運河したいが、堤防に決壊箇所があるため、大型土のうの投入を要請	
20:20	異常気象情報	津波警報に切り換え	
3月13日			
	協力要請	(主)塩釜互理線・空港トンネル排水のため大型排水ポンプの貸与要請	
	市町村調整	沿岸市町に対する状況等の情報交換(被災状況、通行不能区間、連絡窓口等)	
	河川被災	北貞山運河の堤防破壊箇所を確認	
6:00	道路パトロール	管内7班体制で直営パトロールを実施	
	河川パトロール	管内4班体制で直営パトロール(高城川水系、砂押川水系、七北田川水系、鳴瀬川水系)を実施	
	砂防パトロール	管内3班体制で直営パトロールを実施	
7:30	異常気象情報	津波注意報に切り換え	
9:40	道路被災	(一)加瀬沼公園線(加瀬アンダーボックス)・冠水により、全面通行止め	
9:50	名取市から要請	内水排除ではなく、行方不明者捜索のための土のうを投入を要請	
16:00	道路応急完了	(主)利府松山線・粕川2号橋、路面陥没解消、規制解除	
	17:10	応急工事指示	川内沢川(岩沼市矢野目地区)で橋梁数カ所に流水等により河道閉塞しているため、撤去を要請
	17:40	応急工事指示	中貞山運河の破壊箇所の応急復旧を要請
	18:00	庁舎等被害報告	庁舎での業務可能、ライフラインの使用可否等を土木総務課にFAX報告
	22:45	応急工事指示	砂押川貞山運河被災(堤防欠壊)箇所の応急工事の要請
3月14日			
	庁舎被害等	庁舎電気復旧	
	支援体制(通知)	災害調査・復興体制及び市町村支援体制に関する通知	
	応援要請	宮城県測量設計業協会に調査・点検等の協力要請	
	応援要請	仙台建設業協会へ応援協定に基づき、メールにより応援要請依頼	
	応援要請	宮城県建設業協会塩釜支部へ応援協定に基づき、メールにより応援要請依頼	
	応援要請	宮城県建設業協会名亶支部へ応援協定に基づき、メールにより応援要請依頼	
	応援要請	宮城県測量設計業協会仙台支部へ応援協定に基づき、メールにより応援要請依頼	
	被災者支援	仮設住宅の要望について、管内市町村へヒアリング行う	
	応援職員	仙台地方法務局総合事務所から2名応援(～22日)	
	現地調査	職員及びコンサルによる地すべり変状確認(仙台市太白区緑ヶ丘地内)	
	現地調査	職員及びコンサルによる滑動崩落変状確認(仙台市青葉区折立地内)	
	河川応急	中貞山運河(破壊箇所)の応急工事の要請	
	河川応急	砂押川(笠神新橋下流の左右岸)の堤防決壊、沈下等の仮応急着手	
	河川応急	七北田川河口部堤防破壊部の大型土のうによる仮応急着手	
18:00	応急業者から報告	川内沢川閉塞箇所撤去、トレーラーがあるため、行政班でナンバー照会して持主に解体承諾を試みる。	
3月15日			
	現地調査	住民通知による職員による宅地崩壊箇所の現地調査(仙台市泉区南光台他3箇所)	
	住民通報	広瀬川の花壇地区左岸・追進地区の右岸石垣・天守台の下が崩れている	
	応援職員	宮城県建設センターから4名職員応援。	
8:00	道路被災	(主)塩釜互理線・関上小学校前歩道橋橋脚損傷を確認、歩道通行止め	
11:00	道路被災	(一)大和幡谷線・路肩崩壊を確認、片側交互通行。	
11:30	道路被災	(主)利府松山線・惣の関大付付近で路面崩壊を確認、片側交互通行。	
13:00	道路被災	(主)利府松山線・大郷町東成田で路面崩壊を確認、片側交互通行	
	道路被災	(主)利府松山線・粕川2号橋、路面陥没確認、片側交互通行	
	道路応急完了	(主)利府松山線・惣の関大付付近で路面崩壊補修完了、規制解除	
3月16日			
	庁舎被害等	水道給水開始	
	市町村支援	災害復旧事業に掛かる業務支援の事前協議覚書の締結(亶理町・山元)	
	砂防パトロール	砂防管理施設のパトロール実施	
13:45	応急業者から報告	川内沢川内に近接運送業者の大型トラック1台・4トラック1台があり、河槽閉塞を起している	
17:00	道路被災	(主)岩沼蔵王線・郡界で土砂崩れの恐れがあり、全面通行止め	
	道路被災	(一)加瀬沼公園線(加瀬アンダーボックス)・冠水解消、規制解除	
3月17日			
	応援職員	(社)宮城県建設センター職員の応援(2名～31日)	
	災害調査実施	災害調査(宮城県測量設計業協会への現地指示(7班))	
	砂防パトロール	砂防管理施設のパトロール実施	
	現地調査	職員及びコンサルによる滑動崩落変状確認(仙台市青葉区西花苑地内)	
	調査実施	仙台市青葉区緑ヶ丘地内の地すべり観測開始～現在継続中	
8:50	応急工事指示	堤防亀裂箇所石灰を入れて、亀裂深さを確認してシート養生の応急対応を依頼したい。石灰・シートの手配も併せて要請	
9:14	応急工事指示	南貞山運河で破壊箇所があるらしいので確認してほしい。北釜大橋の北側、満潮時に堤内に逆流する可能性があるかどうか確認の上、緊急工事の対応を要請	
10:30	職員パトから通報	小塚原水門を操作したが、空回りして開かない。寺野橋管内水排除のため名取市で昨日開けたようだが、整備中のポンプ排水が戻り、逆流しているのを開いた。	
13:55	住民通報	広瀬川(折立二丁目)沿いの宅内に亀裂が広がりに川側に沈下していることから確認の要請	
14:00	応急業者へ指示	五間堀川の藤倉根大師橋上流右岸300mが航空写真を見ると破壊してようであり、現地を確認の上、大型土のう設置の対応を要請	
3月18日			
	応援協力要請	災害調査(宮城県測量設計業協会への現地指示(8班))	
	河川応急	管内河川の災害廃棄物(瓦礫)撤去着手	
	河川応急	砂押川貞山運河被災(堤防欠壊)箇所の大型土のうによる仮応急工事着手	
	河川応急	北貞山運河の破壊箇所の大型土のうでの仮応急工事着手	
16:00	道路被災	(主)仙台岩沼線・JA前で路面亀裂確認、片側交互通行	
3月19日			
	配備体制	3月19日～5月6日 休日(昼間)2班+技術各班1名+責任者(技術の総括次長以上1人)	
	土砂災害調査	仙台市太白区緑ヶ丘地内の地すべりに関するボーリング調査に着手(～4月9日)	

2) 仙台土木事務所の対応状況 (2/3)

月日	項目	内容
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の職員による現地調査(仙台市青葉区片平町地内)
3月19日	9:30	住民通報
10:00	通報	広瀬川左岸米ヶ袋の住民より自宅川側の崖が崩れた旨、通報 五間堀二の倉橋北側堤防天端道路に亀裂が入っていると自衛隊から連絡
3月20日		建築業務(支援)
	道路被災	県庁内執務室にて仮設住宅建設業務を実施(～H24/3月末) (主)塩釜互理線・空港トンネル排水作業開始
	河川応急	中貞山運河・破堤箇所補修完了。瓦礫撤去継続中
9:30	住民通報	広瀬川(八幡7丁目)三井電気(株)対岸から巨石が落ちており、今後の余震で更に崩落して、川を堰き止めないか確認して欲しい旨通報 (主)塩釜七ヶ浜多賀城線(菖蒲田地区)葦森橋、橋本橋の流出、損傷に伴う通行止め
13:00	道路被害	
14:00	応急業者から報告	中貞山の応急復旧完了
3月21日		河川応急完了
	9:30	資材搬入
9:30	被災調査	明日、土のう(耐水性)2000袋を配達手配し、あさで仙台土木に到着予定の連絡
12:00	道路被災	測量業者による測量箇所として岩沼・名取の河川の現地案内(～17:00) (主)相馬互理線・高浦橋の落橋の恐れ、全面通行止め(町道を迂回)
16:00	道路応急完了	(一)利府停車場運動公園線・八幡崎橋に段差解消、規制解除 (二)利府停車場運動公園線・北部道路直下でマンホールすずり付け等完了、規制解除
	道路応急完了	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線(念仏橋～笠神橋)・砂利道で応急完了、一般車両規制解除
3月22日		災害調査実施
	道路応急完了	災害調査(宮城県測量設計業協会)への現地指示(4班) (主)塩釜互理線・仙台空港トンネル排水完了
	道路応急完了	(主)相馬互理線・瓦礫啓開作業完了
	河川施設点検	(主)塩釜互理線・仙台空港トンネル機械設備点検着手
	河川応急	北貞山運河工事用道路に着手
	緊急点検	業務委託による土砂流入危険箇所における緊急点検着手。(防災砂防課契約)
	緊急点検	業務委託による地すべり危険箇所における緊急点検着手。(防災砂防課)
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(大和町馬場地内他7箇所)
3月23日		土砂災害応急
	道路応急	仙台市太白区緑ヶ丘地すべり応急工事(雨水浸入防止工、表面水処理工)に着手 (主)塩釜七ヶ浜多賀城線(菖蒲田地区)葦森橋、橋本橋の流出、損傷の応急着手
	橋梁点検	被災橋梁を含め管内橋梁の点検開始(コンサル実施)
3月24日		緊急点検
	緊急点検	広瀬川自然河岸の緊急調査をコンサルに指示。 業務委託による急傾斜地崩壊危険箇所における緊急点検着手。(防災砂防課契約)
9:20	防災砂防課へ報告	浸水箇所は瓦礫の山となっており、被災箇所の調査が出来ない状況を報告
9:50	要請	農政局で五間堀への排水機(藤管根)のゴミ撤去のため、五間堀川の破堤した箇所に土のうを積み、作業したい
3月25日		現地調査
	道路応急	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(富谷町東向陽台地内他1箇所) (主)塩釜互理線・関大橋支承損傷のため通行止め(応急工事:3月29日～5月20日)
13:00	道路応急完了	(一)赤沼松島線(国道45号)冠水解消、規制解除
15:00	道路応急完了	(主)石巻鹿島台大橋線・陥没の解消、規制解除
3月26日		河川応急完了
	河川応急完了	北貞山運河・破堤箇所補修完了
	橋梁点検	七北田川河口部堤防破堤部大型土のうによる仮応急完了 被災橋梁を含め管内橋梁の点検完了(コンサル実施)
3月27日		現地調査
	要請	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区水の森地内他1箇所) 長谷釜橋の上流の瓦礫による閉塞箇所において、自衛隊で捜索活動を行い、瓦礫の早期撤去を要請
3月29日		現地調査
	現地調査	職員及びコンサルによる地すべり変状確認(仙台市青葉区新川字佐手山山内)
	現地調査	職員及びコンサルによる滑動崩落変状確認(仙台市青葉区高野原地内)
	災害査定説明会	市町村及び各班担当に対し、県庁防災砂防課から査定方針の説明
	道路応急	(主)塩釜互理線(関大橋)橋梁支承の仮応急着手
12:00	道路応急完了	(一)竹谷谷線・蝦穴橋橋台背面に陥没解消、規制解除
3月30日		現地調査
	道路応急	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市太白区門前町地内)
	河川応急	管内沿岸道路の災害廃棄物処理に着手
	河川応急	七北田川河口部破堤部大型土のう等で仮応急完了
	河川応急	砂押山運河・破堤部2箇所応急完了
	河川応急	五間堀川・左右岩応急完了、瓦礫処理中
	河川応急	川内沢川・瓦礫撤去完了
3月31日		16:00
	道路応急	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線・橋本橋仮橋設置完了
	道路応急	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線・葦森橋仮設盛土完了、緊急車両のみ通行可
4月1日		現地調査
	道路応急	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区八幡地内他1箇所)
4月2日		道路応急
	道路応急	(主)塩釜互理線・仙台空港トンネルがれきり撤去完了
	道路応急	(主)仙台空港線・トンネル内の汚泥撤去完了
4月4日		現地調査
	道路応急完了	職員及びコンサルによる地すべり変状確認(仙台市青葉区八幡地内他2箇所) (主)奥松島松島公園線・手樽地区亀裂補修、規制解除
14:00	道路応急完了	
4月5日		現地調査
	建築調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区国見地内他2箇所) 管内ブロック塀被災調査を実施(～8月末)
	道路応急	(主)利府松山線・粕川大橋盛土復旧着手
	道路応急	(主)仙台岩沼線(玉崎線橋)・損傷した橋脚等の応急工事着手

月日	項目	内容
	河川応急	砂押山運河被災(堤防欠壊)箇所的大型土のうによる仮応急工事完了
	海岸応急	菖蒲田海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事着手
4月6日		現地調査
	道路応急	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市太白区人來田西地内他2箇所)
4月7日		道路応急
	河川応急	塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町の県道がれきり撤去・被災車両移動、作業開始。
	河川応急	砂押山運河・破堤3箇所応急完了。
	河川応急	七北田川、砂押川・瓦礫撤去着手
13:00	道路応急完了	(主)仙台岩沼線・JA前で路面亀裂補修、規制解除
23:32	地震発生	最大震度6強(仙台市、栗原市等)、震源：三陸沖、深さ：約40km、マグニチュード 7.4
23:34	異常気象等	津波警報発令
4月8日		0:55
	異常気象等(解除)	津波警報・注意報解除
	道路/ハトロール	委託業者による管内/ハトロール(8班)の指示
	河川/ハトロール	委託業者による管内/ハトロール(10班)の指示
6:00	道路/ハトロール	管内4班体制で直営/ハトロールを開始
	河川/ハトロール	管内8班体制で直営/ハトロールを実施
	砂防/ハトロール	管内4班体制で直営/ハトロールを実施
	公園応急	管内都市公園(多賀城緑線、岩沼浜緑線)の災害廃棄物撤去に着手
14:00	道路被災	(主)大和松島線(落合松和田)・法面崩壊により、片側交互通行。
4月9日		土砂流調査
	土砂流調査	仙台市青葉区新川字佐手山山内土砂崩壊変状観測開始
4月11日		応援職員
	道路応急完了	災害復旧の短期派遣(山形県3名、～28日のべ9名) (主)岩沼蔵王線・郡界で土砂崩れ応急、調査完了、規制解除
4月12日		事務所施設確認
	河川応急	巨理水防倉庫の被災確認
	緊急点検	七北田川・河口左岸破堤箇所確認
	道路応急完了	業務委託による地すべり危険箇所における緊急点検完了 (主)仙台空港線・瓦礫撤去完了(4月13日仙台空港運行開始)
4月13日		現地調査
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市泉区南光台地内他2箇所)
4月14日		土砂災害調査
	現地調査	仙台市青葉区新川字佐手山山内土砂災害における地質調査着手(～5月13日)
	河川応急	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(大和町根柄地内他1箇所) 七北田川・河口左岸破堤箇所確認
4月15日		現地調査
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市太白区岩の川地内)
4月17日		災害支援
	災害支援	山元町の被災建築物応急危険度判定業務の支川要請を受け、3名の応急危険度判定士を派遣(～19日)
4月18日		現地調査
	建築業務(支援)	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(七ヶ浜町要害地内) 山元町役場庁舎の応急危険度判定業務を実施(～4/19)
12:00	道路応急完了	(主)東塩釜線・南宮集会所前でマンホール浮き上がり解消、規制解除
4月19日		現地調査
	道路応急完了	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(塩釜市藤倉地内他1箇所) (主)塩釜港線・冠水対策(土のう設置)完了
	道路応急完了	(主)大和松島線(落合松和田)・応急工事完了、規制解除
	道路応急完了	(一)升沢吉岡線・事前規制解除
	道路応急完了	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線(菖蒲田浜・吉田浜)・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(主)塩釜七ヶ浜多賀城線(菖蒲田地区)橋本橋応急工事完了、規制解除。 (主)塩釜七ヶ浜多賀城線(松ヶ浜地区)石蔵倒壊の危険性から、片側交互通行
4月20日		現地調査
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市太白区ニツ沢地内)
4月21日		現地調査
	災害調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市太白区松波町地内他1箇所) 離島海岸の現地調査実施
4月22日		緊急点検
	緊急点検	業務委託による急傾斜地崩壊危険箇所における緊急点検完了
4月23日		海岸応急
	海岸応急	松ヶ浜海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事着手
4月24日		道路被災
	道路被災	(主)奥松島松島公園線・段差確認、片側交互通行
4月25日		現地調査
	現地調査	国土交通省河川局の現地調査(緑ヶ丘地すべり及び佐手川砂防等)
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区八幡地内他3箇所)
	海岸応急(直轄)	直轄による海岸堤防の緊急復旧工事着手(山元町、岩沼市)
4月27日		16:00
	道路応急完了	(主)利府松山線・大郷町東成田の路肩崩壊補修完了、規制解除
4月28日		現地調査
	道路応急完了	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(大郷町字谷地原山地6箇所) (主)利府松山線・粕川大橋盛土応急工事完了、規制解除
	道路応急完了	山下停車場線、坂元停車場線の瓦礫撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(主)角田山元線(坂元川～国道6号)：瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(主)塩釜港線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(一)吉田浜山元線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(一)坂元停車場線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(一)荒浜港今泉線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
	道路応急完了	(一)山下停車場線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
18:00	道路応急完了	(一)杉ヶ袋増田線(塩釜互理線～東部道路)・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
4月30日		道路応急完了
	道路応急完了	(主)利府松山線・粕川2号橋、ベント設置
12:00	道路応急完了	(主)奥松島松島公園線・応急完了、規制解除
13:00	道路応急完了	(主)仙台塩釜線・瓦礫堆積撤去完了、規制解除
5月2日		

2) 仙台土木事務所の対応状況 (3/3)

月日	項目	内容
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市宮城野区台屋敷地内)
	海岸応急完了	松ヶ浜海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事完了
5月6日	現地調査	(独)土木研究所つば中央研究所土砂管理研究グループの現地調査(緑ヶ丘地すべり、佐手川砂防)
5月8日	配備体制	夜間配備解除。休日の昼間は1班(6名)体制。(5月8日～)
5月9日	応援職員	災害復旧の短期派遣(山形県3名、愛媛県3名、～31日)
5月9日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(塩竈市小松崎地内他2箇所)
5月10日	災害査定開始	東日本大震災に関する公共土木施設災害復旧事業査定開始(～12月22日)
5月13日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(山元町宇戸花山内)
	道路応急完了	(主)仙台岩沼線(玉崎踏線橋)・損傷した橋脚等の応急工事完了
5月16日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(塩竈市向ヶ丘地内)
5月18日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区北根地内他1箇所)
5月20日	道路応急復旧	(主)塩釜港線の地盤沈下による冠水対策。大型土のうによる応急工事完了
	道路応急復旧	(主)塩釜互理線・仙台空港トンネル設備等復旧。規制解除
15:00	道路応急完了	(主)塩釜互理線(関上大橋～仙台空港トンネル)・瓦礫堆積等撤去完了。規制解除
	道路応急完了	(主)塩釜互理線(関上大橋)橋梁支承の仮応急完了。規制解除
5月22日	住民説明会	佐手川災害関連緊急砂防事業に関する住民説明会の開催
5月26日	緊急点検	業務委託による土石流危険箇所における緊急点検完了
	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(仙台市青葉区馬乙地内)
5月30日	5:20 異常気象等	大雨洪水警報発令(停滞前線と台風から変わった低気圧による大雨)
	23:40 異常気象等(解除)	大雨洪水警報解除(停滞前線と台風から変わった低気圧による大雨)
5月31日	海岸応急完了	葛田海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事完了
6月1日	応援職員	自治法派遣:9名(山形県4名、～3月31日、愛知県2名、～9月30日、愛媛県3名、～10月31日)
6月3日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(富谷町成田地内他1箇所)
6月8日	事業採択	土砂流出のあった佐手川(仙台市青葉区新川字佐手山内)において、災害関連緊急砂防事業の事業採択決定
	海岸応急	管内海岸(塩釜海岸等)の災害廃棄物(瓦礫)撤去に着手
6月9日	住民説明会	仙台市青葉区緑ヶ丘地内で発生した地すべり対策工事に関する住民説明会の開催
6月10日	現地調査	住民連絡による宅地崩壊箇所等の現地調査(多賀城市台山地内他2箇所)
5:00	道路応急完了	(主)仙台空港線の瓦礫撤去完了。道路応急完了
6月13日	道路応急完了	管内沿岸道路の災害廃棄物処理完了
6月20日	海岸応急復旧(直轄)	直轄による仙台湾南部海岸(仙台、名取、岩沼)における仮堤防等の緊急復旧工事に着手
6月27日	海岸応急	花瀨浜海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事着手
6月29日	道路応急	(主)大和松島線・西川橋基礎杭座屈に伴う応急工事着手
6月30日	災害業務支援	宮城県教育庁からの業務委託要請(仙台三枝高校災害復旧調査設計委託業務の受託)
	海岸応急完了	花瀨浜海岸(七ヶ浜町)の破堤箇所について応急工事完了
7月1日	応援職員	自治法派遣:15名(岐阜県2名、～9月30日、兵庫県4名、～10月31日)
	応援職員	(社)宮城県建設センター職員の応援(5名、～9月1日)
	配備体制	休日配備解除(7月1日～)
7月4日	道路応急	(主)大和松島線・西川橋基礎杭座屈に伴う応急工事(ベント設置完了)
7月11日	災害査定	東日本大震災に関する都市公園施設災害復旧事業査定開始(～12月16日)
	道路応急完了	(主)大和松島線・西川橋基礎杭座屈に伴う応急工事完了
7月13日	公園応急完了	管内都市公園(多賀城緩衝緑地、岩沼浜緑地)の災害廃棄物撤去完了
7月19日	建築業務(支援)	災害復興住宅現場申請物件受付(現在も継続中)
8月10日	10:00 通常事業	(一)小牛田松島線・初原トンネル・貫通式開催
	10:00 調整会議	第8回広瀬川自然河岸に関する連絡調整会議開催
8月12日	河川応急	砂押川(笠神新橋下流の右岸)の堤防決壊箇所ですべり打ち込みによる仮応急着手
9月5日	応援職員	(社)宮城県建設センター職員の応援(3名、～3月31日)
9月20日	17:46 異常気象等	大雨警報発令(台風15号による大雨、～22日)
9月21日	6:40 道路被災	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)、(一)升沢吉岡線の雨量規制基準による全面通行止め

月日	項目	内容
午前	河川被災	七北田川右岸・仮応急堤防の欠壊
9月22日	道路被災	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)・規制基準による全面通行止め
	河川応急復旧	七北田川右岸・堤防欠壊箇所の応急工事着手
22:56	異常気象等(解除)	大雨・洪水警報解除(台風15号による大雨、～22日)
9月27日	災害業務支援	仙台三枝高校災害復旧調査設計委託業務の現地調査着手(～平成24年2月24日)
	河川応急完了	七北田川右岸・堤防欠壊箇所の応急工事完了
9月29日	8:00 道路応急復旧	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)・法面崩壊箇所の応急工事着手
9月30日	河川応急完了	管内河川の災害廃棄物(瓦礫)撤去完了
10:48	異常気象	高潮警報発令
13:00	道路応急完了	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)・応急工事完了を確認。全面通行止め解除(普通車のみ可)及び一部片側交互通行に変更
15:30	交通規制	(主)仙台塩釜線(塩釜市舟入)・冠水のため。片側交互通行
17:30	交通規制	(主)塩釜港線・冠水のため。片側交互通行
17:50	交通規制解除	(主)仙台塩釜線(塩釜市舟入)・現地確認。規制解除
17:56	異常気象(解除)	高潮警報解除
18:45	交通規制解除	(主)塩釜港線・現地確認。規制解除
10月1日	応援職員	自治法派遣:15名(岐阜県2名、～3月31日、愛知県2名、～3月31日)
	応援職員	災害査定応援:仙台地方ダム総合事務(1名、のべ4名、～12月28日)
10月3日	業務支援	宮城県教育庁からの業務委託要請(多賀城高校災害復旧調査設計業務)
10月4日	業務支援	多賀城高校災害復旧調査設計委託業務の現地調査着手(～平成24年2月29日)
10月7日	道路応急復旧	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)・法面崩壊箇所の災害本復旧工事着手
10月12日	道路応急完了	(主)仙台塩釜線、塩釜市芦畔地区の地盤沈下による冠水対策。舗装嵩上げ工事完了
10月17日	河川応急完了	砂押川(笠神新橋下流の右岸)の堤防決壊箇所ですべり打ち込みによる応急工事完了
10月18日	海岸応急完了	管内海岸(塩釜海岸等)の災害廃棄物(瓦礫)撤去完了
11月1日	応援職員	自治法派遣:15名(兵庫県4名、～3月31日、愛媛県3名、3月31日)
11月10日	住民説明	広瀬川自然河岸の震災に伴う崖崩れの住民説明実施(～16日)
11月22日	道路応急完了	(主)岩沼蔵王線(岩沼市)・災害本復旧工事による時間帯通行止め(～2月29日まで予定)
12月7日	職場訪問対応	「東日本大震災からの復興を考える」をテーマとした中学生の職場訪問への対応
12月13日	文教施設災害査定	文教施設災害査定の実施(多賀城高校災害復旧)
12月16日	災害査定	東日本大震災に関する都市公園施設災害復旧事業査定完了
12月22日	災害査定	東日本大震災に関する公共土木施設災害復旧事業査定完了
12月26日	災害復旧	緑ヶ丘地すべり(仙台市青葉区緑ヶ丘地内)の災害復旧工事着手
平成24年	1月6日	査定
	1月23日	査定
	1月29日	建築業務(支援)
	2月2日	海岸応急復旧(直轄)
	2月6日	査定
	2月13日	河川応急
	2月13日	砂防復旧

2) 仙台土木事務所の対応状況 (写真)



写真-1 他県応援職員の執務状況



写真-2 他県応援職員 (平成 23 年 7 月)



写真-3 道路部・他県応援職員 (平成 24 年 2 月)



写真-4 河川部・他県応援職員 (平成 24 年 2 月)



写真-5 災害査定 (実地査定) 状況



写真-6 災害査定 (実地査定) 状況



写真-7 災害査定 (実地査定) 状況



写真-8 中学生の職場訪問 (12 月)  
(他県応援職員との交流状況)

3) 北部土木事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年	地震発生	三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約10km(速報値)
3月11日		三陸沿岸に大津波警報発令
14:46	配備体制	非常配備(所員全員)
	ライフライン	管内全域で大規模な停電。大崎合同庁舎内は自家発電に移行、非常電源によりパソコン数台と事務所共有HDDの使用が可能となる。
		電話回線についても非常につながり難い状態となる。防災無線で県庁及び他の合同庁舎との通話可能。
15:00	BCP	土木部BCPに基づき安否確認、庁舎確認を実施
	安否確認	安否の確認ができない職員数:6人(職員2人、非常勤3人、臨時職員1人) ※確認方法:安否確認システム・防災携帯等
	庁舎被害等	事務所内の状況。鬼首・鳴子・小野田の除雪基地の状況確認→倒壊など深刻な損傷はなし。
15:10	事務所片付	作業スペースの確保。ガラス等の危険物の処理。
17:00	交通規制	古川松山線【志田橋】前後道路陥没により全面通行止。 鳴子池月線【岩出山沢目木付近】土砂崩壊により片側交互通行。
	北部地方支部連絡員会議	当所→地方支部(管内の被害状況の報告)
		地方支部→当所(危機対策課等本庁各課からの情報・沿岸部への人的支援の要請)
3月12日		
6:00	道路パトロール	夜明けとともに土木事務所直営のパトロールを実施。 (鳴子・岩出山・加美・旧古川・三本木鹿島台・涌谷美里田尻方面)
	河川パトロール	(江合川・鳴瀬川・出来川・旧追川方面)
	崖地滑り調査	
10:05	安否確認	職員全員分の安否を確認。
12:00	交通規制	栗駒岩出山線【堂の沢橋】路面陥没により全面通行止。
3月13日		
17:00	交通規制	涌谷三本木線【化粧坂(跨線橋)】橋梁段差により片側交互通行及び大型規制。
3月14日		
13:00	北部地方支部連絡員会議	庁舎非常電源の状況説明・公用車燃料の確保状況説明。
3月14日	災害調査要請	建設コンサルタント協会が災害調査依頼に応じて管内重要構造物の調査を開始。
3月15日	災害調査要請	測量設計協会が災害調査依頼に応じて管内道路及び河川の調査を開始。
3月15日	気仙沼土木管内に係る災害支援	旧本吉町方面の被害状況概略把握を実施。(応援職員2名) 県管理国県道及び気仙沼市道に係る現地調査を実施。(応援職員3名)
3月23日		県管理河川、砂防施設及び普通河川に係る河川現況調査を実施。(応援職員3名)
3月23日	配備体制	夜間の配備を2班(10人)へ縮小。
4月1日	配備体制	夜間の配備を3人へ縮小。
4月7日		
23:32	大規模余震	宮城県沖、深さ約65km、マグニチュード7.1、最大震度6強
	配備体制	非常配備(所員全員)
23:40	安否確認	安否の確認ができない職員数:5人
4月8日	安否確認	職員全員分の安否を確認。
	交通規制	岩出山上郷沢線【古川清水沢付近】家屋倒壊の恐れにより片側交互通行。
	配備体制	夜間の配備を3人へ縮小。
4月22日	気仙沼土木管内に係る災害支援	がれき処理、浸水区域内被災状況調査を実施(応援職員6名)
5月1日	配備体制	夜間の配備なしへ。
6月9日	道路応急復旧	(主)古川松山線&(主)利府松山線志田橋付近の復旧完了、三本木と松山間の通行が可能となる。
6月17日	道路応急復旧	余震で全面通行止めとなっていた(主)栗駒岩出山線葛岡工区の復旧完了、交通開放となった。
8月19日	河川応急復旧	堤防中央部に巨大な亀裂が入っていた鳴瀬川四蔵地区の築堤が復旧した。 堤防法面部が崩壊していた多田川下狼塚地区の築堤が復旧し、堤頂部の道路も交通開放した。
9月1日	東松島市に係る災害支援	災害査定業務の支援開始(224件)
9月30日	道路応急復旧	法面崩壊により全面通行止めとなっていた(一)鳴子池月線沢目木工区が昼間片側交互通行まで回復
11月14日	道路本復旧	(主)古川松山線志田橋が全面交通開放

対応状況(写真)



写真-1 (一) 涌谷三本木線化粧坂橋 応急対応の状況



写真-2 (主) 鹿島台高清水線 応急対応の状況



写真-4 黒崎沢の2斜面崩壊箇所の本復旧工事完了状況



写真-5 9/30 (一) 鳴子池月線沢目木地区 応急工事により片側交互通行まで回復

4) 北部土木事務所栗原地域事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	東北地方太平洋沖地震発生 栗原市 震度7(最大震度) 【震度7】築館 【震度6強】若柳、高清水、一泊 【震度6弱】栗駒、瀬峰、金成 【震度5強】鷲沢、花山
14:50	BCP	土木部BCPに基づき安否確認、庁舎確認を実施
	安否確認(第1報)	53人中、安否の確認ができない職員数:9人(出張:5人、休暇:4人)
	庁舎被害等	庁舎内外壁面剥離や設備関係に亀裂等が発生したが、庁舎内での業務継続は可能
		【電気】震災後約5日間停電のため、非常用発電機で対応(使用機器を限定)
		【水道】断水に対し、飲み水は給水車で、下水は地下湧水をポンプで汲み上げバケツで1~2階のトイレに補給
		【電話】震災から3月15日までNTT回線が不通(防災無線、災害時優先電話のみ使用可)
15:00	道路パトロール	緊急輸送道路を直営(4班編成)でパトロール実施(～18:30)
		管理委託業者(2業者)によるパトロール実施(～22:00)
15:00	河川パトロール	直営(2班編成)でパトロールを実施
	河川被災	迫川(若柳字大林地内左岸外)の堤防6箇所で陥没・沈下を確認
15:30	応援要請	宮城県建設業協会栗原支部へ緊急パトロール(通行規制措置及び段差解消等の作業を含む)の応援要請
		一即刻、応援可能との報告を受け、管内17業者による緊急パトロールの実施(3/11・12・14日)
	応援要請	宮城県測量設計業協会栗原支部へ被害状況調査の応援要請一同日、支部より被害の概況報告あり
18:00	安否確認(第2報)	安否の確認ができない職員数:2人(出張:2人)
19:30	通行規制	全面通行止:3件(3路線)、片側交互通行:4件(4路線) 写真-1
22:30	安否確認(最終)	全職員53名の安否を確認
3月12日		
	道路パトロール	直営(4班編成)でパトロールを実施(7:00～14:00)
		管理委託業者(2業者)によるパトロール実施(7:00～16:00)
	通行規制	全面通行止:2件(2路線)、片側交互通行:9件(9路線)
	河川パトロール	直営(3班編成)で直営パトロールを実施(7:00～17:00) 写真-2
	河川被災	二迫川(島巡橋下流左岸)で堤防沈下、亀裂(L=74m)を確認 小山田川外4河川の堤防沈下、亀裂(L=309m)を確認
	災害調査概算契約	宮城県栗原支部の応援を受け、道路・河川の災害調査業務を概算契約
	通行規制(19:30現在)	全面通行止:2件(2路線)、片側交互通行:8件(8路線)
3月13日		
	道路パトロール	管理委託業者(2業者)によるパトロール実施
	河川パトロール	直営(2班編成)で狭窄部の直営パトロールを実施
	通行規制(13:30現在)	全面通行止:2件(2路線)、片側交互通行:9件(9路線)
3月14日		
	応援要請	宮建協栗原支部へ応急対策業務(県道の段差解消)の応援要請一同日、応急対策を実施(全止め一泊)
	応援要請	宮建協栗原支部へ応急工事(迫川堤防5箇所)の応急対策の応援要請
	河川応急復旧	二迫川(島巡橋下流左岸)堤防のシート被覆による応急工事を実施
3月15日		
	応援要請(回答)	宮建協栗原支部より応援要請の回答あり
	通行規制	全面通行止:1件(1路線)、片側交互通行:10件(9路線)
3月16日		
	砂防パトロール	直営(1班)で砂防・急傾斜地保全施設等の直営パトロールを実施
	応急工事概算契約	迫川応急本工事(5箇所)を概算契約
3月17日		
	東北高速供用延期	震災により、みやぎ東北高速幹線道路の若柳南ICからR398号間(L=1.9km)の供用開始を延期
	融雪剤の搬送	東部土木事務所へ融雪剤を搬送(支援) ※被災状況調査用
3月20日	職員派遣	日本吉町南へ職員2名(技術)を派遣(道路災害調査)(～3月21日)
3月21日	職員派遣	南三陸町へ職員延べ9名(事務)を派遣(救護物資の仕分け)(～3月29日)
3月22日	職員派遣	日本吉町南へ職員3名(技術)を派遣(河川砂防災害調査)(～3月24日)
	通行規制	全面通行止:1件(1路線)、片側交互通行:12件(9路線)、大型通行止:1件(1路線)
3月24日	河川応急本工事	迫川の若柳上流部で被害の大きい箇所(5箇所)の応急本工事に着手(洪水期前までに本堤復旧を目標)
	河川応急復旧	小山田川外4河川の堤防亀裂への土砂充填及びシート被覆による応急工事に着手(～4月1日) 写真-3
3月31日	通行規制	片側交互通行:11件(9路線)、大型通行止:1件(1路線)
4月1日	職員派遣	防災砂防課へ職員2名(技術)を派遣(～5月31日/～7月1日)
4月2日	職員派遣	南三陸町へ職員延べ8名(事務)を派遣(救護物資の仕分け)(～4月9日)
4月5日	通行規制	片側交互通行:11件(8路線)、大型通行止:1件(1路線)
4月7日		
	建築パトロール	直営(1班)によりスクールゾーン内のコンクリートブロック塀等のパトロールを実施(～4月13日)
23:32	地震(余震)発生	震源地 宮城県沖 マグニチュード7.2 【震度6強】築館、若柳 【震度6弱】栗駒 ※この他の地区は観測不能か?
4月8日		
	登庁人数等(累計)	0号配備中:4人 発災後0.5h:9人 1.0h:15人 1.5h:22人 2.0h:25人 2.5h:29人 3.0h:30人
0:50	道路パトロール	緊急輸送道路を直営(4班編成)でパトロール実施(～7:30)

月日	項目	内容
		3-11被災箇所(増城、落石、路面クラック、歩道陥没、電線垂れ下がり、若柳大橋(橋脚破損) 写真-4
	道路・河川パトロール	早朝より、道路(2業者)河川(1業者)管理委託業者によるパトロール実施
5:00	安否確認(第1報)	51人中、登庁可能:41人、安否の確認ができない職員数:10人
6:00	道路応急復旧	(主)古川佐沼線(高清水下町)で新たに全面通行止め:1件(1路線)→応急対策により、17:00に片側交互通行
8:00	道路・河川パトロール	道路(4班編成)、河川(2班編成)で直営パトロールを実施(8:00～17:00)
13:00	安否確認(最終)	全職員51名の安否を確認
4月9日	通行規制状況	片側交互通行:12件(9路線)、大型通行止:1件(1路線)
4月15日	通行規制状況	片側交互通行:14件(9路線)、大型通行止:1件(1路線)
4月19日	建築物被災調査	直営(北部土木合同)により、県教育庁から依頼のあった管内県教育施設の応急危険度判定を実施。(～4月20日)
4月21日	職員派遣	亶理町へ職員1名(事務)を派遣(避難所の運営)(～4月24日)
	職員派遣	登米地域事務所へ職員4名(技術)を派遣(日本吉町の被災箇所調査等)(～6月30日)
4月24日	職員派遣	亶理町へ職員1名(事務)を派遣(避難所の運営)(～4月27日)
5月11日	災害査定	公共土木施設第1次査定開始(以後、第2～7次、12次、27次)
5月20日	通行規制状況	片側交互通行:8件(6路線)、大型通行止:1件(1路線)
5月24日	職員派遣	亶理町へ職員1名(事務)を派遣(避難所の運営)(～5月27日)
6月1日	道路応急復旧	若柳大橋の応急復旧工完了により、大型車両通行止を解除
	通行規制状況	片側交互通行:7件(6路線)
6月13日	職員派遣	山元町へ職員1名(事務)を派遣(各種申請受付・案内等)(～6月20日)
6月21日	河川本復旧(完了)	迫川(志波姫城域内北地内)の応急本工事了
6月24日	河川本復旧(完了)	迫川(志波姫城域敷地内)の応急本工事了
	河川本復旧(完了)	迫川(志波姫城域敷地3丁目地内)の応急本工事了
6月28日	東北高速一部供用開始	みやぎ東北高速幹線道路の若柳南ICからR398号間(L=1.9km)の供用を開始
7月11日	職員派遣	山元町へ職員1名(事務)を派遣(各種申請受付・案内等)(～7月18日)
7月20日	道路本復旧(着手)	災害査定後、(主)築館栗駒公園線(築館字下宮野八幡下)外2工区の本復旧着手(以後、他工区も順次着手)
7月21日	河川本復旧(着手)	災害査定後、二迫川(鷲沢袋島巡川原地内)の本復旧着手(以後、他工区も順次着手)
8月12日	河川本復旧(完了)	迫川(金成姉崎栄田地内)の応急本工事了
8月15日	職員派遣	山元町へ職員1名(事務)を派遣(各種申請受付・案内等)(～8月19日)
8月23日	河川本復旧(完了)	迫川(若柳大林地前地内)の応急本工事了(兼用する栗原市道は8月12日に交通解放)
9月30日	道路本復旧(完了)	(主)栗駒岩出山線(一迫持ちくれ沢)の本復旧完了により片側交互通行規制を解除
	通行規制状況	片側交互通行:6件(5路線)
10月18日	災害査定(支援)	石巻市(楢生・河南・北上)支援 公共土木施設第21次査定(以後、第23次、26～29次) 写真-5
10月29日	災害復旧状況PR	「栗原市産業まつり」で、岩手・宮城内陸地震と東日本大震災で被災した施設の復旧状況をパネル展示(～30日) 写真-6
10月31日	河川本復旧(完了)	二迫川(鷲沢袋島巡川原地内)の本復旧完了
11月4日	道路本復旧(完了)	(主)457号(栗駒沼倉上永洞)、(主)古川一迫線(高清水小山田)の本復旧完了により片側交互通行規制を解除
	通行規制状況	片側交互通行:4件(3路線)
11月10日	道路本復旧(完了)	(主)古川佐沼線(高清水下町)の本復旧完了により片側交互通行規制を解除
	通行規制状況	片側交互通行:3件(2路線)
11月24日	東北高速1期供用開始	みやぎ東北高速幹線道路の築館加倉～若柳南ICまでの7.0kmを供用開始(第1期区間(8.9km)全線供用)
11月28日	道路本復旧(完了)	(国)457号(栗駒沼倉上永洞地内)の本復旧完了
	道路本復旧(完了)	(国)457号(一迫字西沢地内)の本復旧完了
12月1日	道路本復旧(完了)	(主)河南築館線(築館字太田熊野)外1工区の本復旧完了
12月9日	災害査定(支援)完了	石巻市(楢生地区)支援 災害査定完了(道路災38件、橋梁災1件)
12月16日	道路本復旧(完了)	(主)栗駒岩出山線(一迫柳目字持ちくれ沢)外4工区の本復旧完了
12月17日	道路本復旧(完了)	(一)大鳥沢辺線(栗駒栗原)、(主)古川一迫線(一迫持ちくれ沢)の本復旧完了により片側交互通行規制を解除
	通行規制状況	片側交互通行:1件(1路線)
12月21日	岩手宮城内陸地震災害復旧完了	裏沢砂防えん堤本復旧工事が完了し、平成20年岩手・宮城内陸地震の災害復旧事業が全て完了(砂防激特事業は継続)
12月22日	河川本復旧(完了)	迫川(志波姫城域内北地内)外3箇所の本復旧完了
12月23日	災害査定(支援)完了	石巻市(河南地区)支援 災害査定完了(道路災20件、橋梁災2件)
平成24年		
1月13日	災害査定(支援)完了	(主)弥栄金成線(金成大平)外2工区の本復旧完了
1月26日	河川本復旧(完了)	夏川(金成大林寺沢地内)、三迫川(金成沢町地内)の本復旧完了
	道路本復旧(完了)	(主)築館栗駒公園線(築館字下宮野八幡下)外2工区の本復旧完了
1月27日	災害査定(支援)完了	石巻市(北上地区)支援 災害査定完了(道路災31件(1)、橋梁災11(9)件、河川災4件)カック書き:協議設計
1月30日	職員派遣	東部土木事務所へ職員1名(事務)を派遣(経理業務)(～2月3日)
1月31日	災害復旧進捗状況	栗原地域事務所所管の被災箇所79箇所のうち、未着手11箇所、工事中25箇所、復旧完了43箇所

4) 北部土木事務所栗原地域事務所の対応状況 (写真)



写真-1 (一) 若柳築館線の落石による通行規制



写真-2 迫川(若柳字大林)の被害状況調査



写真-3 小山田川の応急復旧状況



写真-4 川南高架橋の応急復旧状況



写真-5 災害査定状況



写真-6 復旧状況パネル

5) 東部土木事務所の対応状況

月日	項目	内容	月日	項目	内容
平成23年			5月9日	他県支援	被災地派遣職員赴任(秋田県5名、5/9~31)
3月11日			5月10日		10:00 定川流域水防管理者・農業用排水施設等管理者協議会設置
14:46	地震発生		5月13日		13:30 市町村支援 第1回石巻市及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議
14:49	大津波警報発令		5月16日	現地調査	真野川水系被災調査
	安否確認・庁舎点検	土木部BCP計画に基づき安否確認、庁舎点検等を実施	5月21日		18:00 応急復旧 南北上運河排水ポンプ設置・排水開始
		道路管理者7社中5社と連絡が取れ、パトロール開始。河川管理者は連絡不能	5月23日	災害査定	第3次災害査定(以後12/23の第28次査定まで継続)
16:00頃	津波襲来	事務所が津波により浸水し、以後孤立状態(写真一1、2、3)	6月1日	他県支援	被災地派遣職員赴任(秋田県5名、北海道3名、三重県3名、佐賀県4名、熊本県5名、合計20名)
18:00頃		大型土嚢の確保を事業管理課に依頼		業務体制	向陽町庁舎設置(主に県及び2市1町の道路災害業務支援を担当)(写真一7、8、9)
20:00頃	電源喪失	携帯電話が通信不能。その後管理者と不通	6月8日	他県復旧	南北上運河排水ポンプ撤去
		浸水により自家発電機が停止	6月9日		南北上運河捜索完了
		ラジオで新北上大橋落橋等の情報有り	6月15日	他県復旧	長浜海岸(石巻)破壊部の仮締め切り完了
3月12日	避難住民の受け入れ	近隣住民5名が事務所に避難	6月23日	業務体制	仙台土木からエリア支援(東松島市鳴瀬川右岸地区)の引き継ぎ
	応援要請	浸水により自家発電機が使用不能のため、電源及び食糧の確保を県庁に依頼	6月24日	業務体制	登米地域事務所からエリア支援(石巻市北上川左岸地区)の引き継ぎ
		県庁より女川町壊滅状態、定川橋落橋、日和大橋及び開北橋残存、内海橋は船舶・漂流物等堆積、東松島市大曲浜地区の大部分の家屋流出、国道45号北上大堰上流の法面崩壊の情報確認	6月28日	現場見学	土木学会取材
18:00頃	通信手段喪失	衛星携帯の電池切れにより外部との通信手段を失う	6月30日	業務体制	仙台土木事務所及び登米地域事務所のエリア支援終了
20:20	津波警報発令		7月1日	業務体制	東部土木事務所(中里)での業務再開
3月13日			7月2日	設備体制の変更	休日は3名に縮小
7:30	津波注意報発令		7月17日	復興計画	宮城県震災復興計画(案)県民説明会(石巻専修大学)
8:00	脱出	ボートで事務所から数名ずつ脱出し、東部下水道事務所に移動	7月21日	他県支援	徳島県土木整備部次長管内視察
	仮事務所設置・活動開始	県庁から調達した公用車5台・衛星携帯電話5台及び事務所から持ち出した管内図等の備品のみで復旧活動を開始	7月22日	他県支援	災害派遣職員懇談会(5道県職員及び事務所幹部)
11:00	直営パトロール開始		7月25日		13:30 市町村支援 第2回石巻市及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議
		国道398号追波前~浜月間の仮設道路完成。新北上大橋及び定川橋の落橋確認。松ヶ島大橋の橋台背後流出を確認	7月28日	他県支援	佐賀県井本部長訪問
17:58	津波注意報解除		8月1日	他県支援	秋田県堀井副知事訪問
		県庁への第1報を直接赴き報告(写真一4)	8月8日	他県支援	北海道武田建設部長訪問
3月14日	設備体制	朝晩の全体ミーティングの開催(写真一5)	8月10日	他県復旧	大谷地海岸破壊部の仮締め切り完了
	現地調査	車両通行不能箇所を徒歩により現地踏査開始(写真一6)	8月29日	他県支援	秋田県訪問
	応急復旧	真野川及び皿貝川の応急工事を完了	10:00	市町村支援	第1回東松島市及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議
3月15日	応援要請	仙台地方ダムより2名、建設センターより3名の応援到着 宮城県建設業協会石巻支部、宮城県測量設計業協会石巻支部、建設コンサルタント協会及び特定法面保護協会に応援要請	9月26日	他県支援	秋田県訪問
	交通規制	牡鹿半島公園線(女川~小積)応急処理完了。石巻港インター線瓦礫撤去完了	10月13日	市町村支援	第1回女川町及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議
	応急復旧	北上川下流河川事務所で皿貝川内水排除開始	10月14日	復興計画	(仮称)石巻北インター線事業説明会(JA石巻:東部土木、石巻市)
3月16日	交通規制	石巻鮎川線瓦礫撤去開始。石巻鹿島台大堰線赤井地区及び国道398号釜谷地区通行止め解除	10月17日		11:00 交通規制 国道398号 新北上大橋仮橋開通(写真一10)
	応急復旧	南北上運河堤防決壊箇所の作業開始	10月20日	他県支援	15:00 交通規制 石巻工業港欠本線 定川橋仮橋開通(写真一11)
3月17日	設備体制の構築	3日勤務1日休み、夜間3名体制の開始(4月15日まで継続)	10月20日	他県支援	10月25日 他県支援 熊本県土木部長訪問
	応急復旧	定川破壊部への進入路工事開始	10月26日	復興計画	10月26日 復興計画 国道398号石巻バイパス(大工区)用地説明会(10/26稲井地区、10/27亀山八津地区、10/28棚橋地区)
3月20日	現地調査	砂防・急傾斜施設点検開始(維持管理者)	11月1日	現場見学	11月1日 現場見学 古川工業高等高校現場視察(新北上大橋外)
3月24日				他県支援	被災地派遣体制の変更(秋田県5名、北海道3名、佐賀県4名、熊本県5名、合計17名)
12:00	交通規制	国道398号(折立、相川、崎山)及び石巻女川線(日和大橋)通行止め解除		業務体制の強化	発注者支援業務開始(民間コンサルタントから10名派遣)、土木部内職員派遣(7名)
3月25日	交通規制	奥松島公園線(松ヶ島橋)日中のみ緊急車両通行可能。国道398号(内海橋)通行止め解除。石巻鮎川線(待浜)地溝りのため通行止め	11月8日	他県支援	北海道名取技監訪問
3月26日	応急復旧	定川破壊部の仮締め切り工事開始		復興計画	第1回石巻・東松島地区復興防災基盤連絡調整会議(国交省、県、石巻市、東松島市)
3月27日	応急復旧	富士川仮締め切り堤設置	12月1日		11:00 交通規制 石巻雄勝線通行止め解除
3月28日	交通規制	女川社鹿線(野々浜橋)迂回路片側開放	12月2日	復興計画	12月2日 復興計画 第2回石巻・東松島地区復興防災基盤連絡調整会議(国交省、県、石巻市、東松島市)
	応急復旧	長浜海岸(石巻)捨て石投入天端高まで完了	12月8日	復興計画	12月8日 復興計画 国道398号石巻バイパス(大工区)用地説明会(12/8亀山八津地区、12/9稲井地区)
3月29日	応急復旧	定川(赤井地区)排水開始。富士川左岸針岡地区を北上川に排水開始。富士川(右岸)排水開始	12月15日	復興計画	12月15日 復興計画 (仮称)石巻北インター線設計説明会(石巻市蛇田公民館:国土交通省、東部土木、石巻市)
	現地調査	防災協定に基づき全国特定法面協会による土砂災害危険箇所点検開始	12月20日	交通規制	12月20日 交通規制 釜谷大須雄勝線(名振~船越)通行止め解除
3月30日	市町村支援	女川町より災害復旧事業に係る支援のための事前協議を受理	12月23日	災害査定	12月23日 災害査定 第28次災害査定完了(県地震完了)
3月31日	市町村支援	石巻市より災害復旧事業に係る支援のための事前協議を受理		業務体制	発注者支援業務終了
	応急復旧	国道398号(石巻駅~内海橋)の二次瓦礫処理着手	平成24年		
4月1日	交通規制	牡鹿半島公園線(女川~小積)緊急車両のみ通行可能	1月6日	復興計画	1月6日 復興計画 第3回石巻・東松島地区復興防災基盤連絡調整会議(国交省、県、石巻市、東松島市)
4月2日	交通規制	石巻鮎川線(待浜)通行止め解除、片側開放	1月10日	復興計画	1月10日 復興計画 東松島市集団移転復興まちづくり計画説明会(東松島市主催 東部土木参加、1/10~20)
4月4日	市町村支援	東松島市より災害復旧に係る支援のための事前協議を受理	1月17日	復興計画	1月17日 復興計画 国道398号大街道新橋工事着工
4月5日			1月24日	復興計画	1月24日 復興計画 秋田県雄勝地域振興局長訪問
15:00	交通規制	女川社鹿線(塚浜~奇磯)全面通行止めから片側交互通行	1月26日	現場見学	1月26日 現場見学 建設企業委員会管内調査(東松島市~石巻市北上)
	応急復旧	定川大規模破壊部の仮締め切り(盛土)完了	1月29日	災害査定	1月29日 災害査定 第29次災害査定完了(台風災害も含めて完了)
4月6日	応急復旧	定川破壊部(大曲地区)排水開始	1月31日	市町村支援	1月31日 市町村支援 第2回東松島市及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議(災害査定完了報告及び引き渡し)
4月7日			2月1日	市町村支援	2月1日 市町村支援 第3回石巻市及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議(災害査定完了報告及び引き渡し)(写真一12)
23:32	地震発生	最大余震、最大震度6強(仙台市宮城野区、栗原市)、震度6弱(石巻市、東松島市、女川町)	2月2日	市町村支援	2月2日 市町村支援 第2回女川町及び宮城県東部土木事務所災害復旧・復興連絡調整会議(災害査定完了報告)
4月8日	交通規制	国道398号(内海橋)、北上河北線(中野牧野山)、釜谷大須雄勝線(荒峠)通行止め	2月3日	他県支援	2月3日 他県支援 北海道まちづくり局長訪問
		皿貝川及び真野川堤防クラック発生。定川仮締め切り堤3箇所決壊(4/7の余震被害)	2月8日	復興計画	2月8日 復興計画 東部土木事務所管内事業連絡調整会議(東部地振、石巻港湾、東部下水道、廃棄物対策課)
	市町村支援	石巻市より災害復旧事業に係る測量設計委託の発注業務を要望	3月3日	復旧	3月3日 復旧 大曲海岸着工式
午後	交通規制	国道398号(内海橋)通行止め解除			
4月10日	交通規制	国道398号(石巻駅~内海橋)の二次瓦礫処理完了			
	他県支援	被災地派遣職員赴任(秋田県各クール6名延べ18名、第1班4/10~16、第2班4/16~22、第3班4/22~28)			
4月11日	応急復旧	石巻鮎川線(待浜)応急復旧工事着手。			
	交通規制	女川社鹿線(小乗浜)の法面崩壊により片側交互通行			
4月15日	応急復旧	仮締め切り大型土嚢の制作開始			
	応急復旧	白浜海岸、長塩谷海岸破壊部の仮締め切り完了			
4月16日	設備体制の変更	平日通常勤務に体制を変更(休日は5名、夜間は2名体制、6月26日まで継続)			

5) 東部土木事務所の対応状況 (写真)



写真-1 地震後の事務所内の状況



写真-2 事務所前の津波到達状況



写真-3 事務所浸水状況



写真-4 県庁会議室で被災状況報告



写真-6 車両通行不能区間の現地確認状況



写真-5 朝晩の全体ミーティング



写真-7 向陽町分庁舎

5) 東部土木事務所の対応状況 (写真)



写真-8 向陽町分庁舎執務状況



写真-9 他県応援職員



写真-9 他県応援職員



写真-10 新北上大橋仮橋開通



写真-11 定川大橋仮橋開通



写真-12 市町との連絡調整会議

6) 東部土木事務所登米地域事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年	地震発生	
3月11日		
14:46		平日の勤務時間帯であり、職員57名中46名は勤務中
15:00	道路ハトロール	道路ハトロール中の班から米谷大橋 左岸20段差あり通行不可との連絡がある。
15:10	安否確認	庁舎内は、書類等の散乱で危険であるため、いったん合同庁舎の駐車場に集まり安否確認を行った。
	庁舎被害等	停電：自家発電始動 電話：OK
15:30	緊急ハトロール	大規模災害マニュアルに従い、道路及び河川管理委託業者に連絡すると共に職員による緊急ハトロールを実施した。
15:56		緊急ハトロール班から、国道398号錦橋の1径間ずれがあり、通行止めしていると連絡がある。
16:03		国道346号山吉田橋 右岸30cmの段差と左岸100m陥没し、通行できないとの連絡がある。
16:13		登米大橋 車道は通行可、歩道に段差10cmあり通行不可との連絡がある。
16:17	支援要請	山吉田橋付近の通行止め措置を建設業協会登米支部に要請する。
17:03	緊急ハトロール	国道346号錦橋が路面段差により通行できないとの連絡がある。
17:56		登米市東和町錦橋のセブンイレブンから100m地点に路面陥没があり、片側通行とする。
18:46	米谷大橋応急工事	米谷大橋の段差のすりつけ作業に着手する。
3月12日		
6:00	道路ハトロール	道路ハトロール 3班体制で出発する。
6:30	河川ハトロール	河川ハトロール 2班体制で出発する。
8:10	山吉田橋応急工事	応急班 山吉田橋付近の応急工事の監督に出席する。
9:15	錦橋応急工事	国道346号 錦橋地内の路面補修工事を管理業者に指示する。
10:30	支援要請	国道346号 山吉田橋の路面陥没と亀裂復旧の応急工事を宮城県建設業協会登米支部へ依頼する。
		古川登米線 旧善能寺小学校付近で水道管漏水により、通行止めの措置を行う。
12:50	砂防ハトロール	管理業による急傾斜地のハトロール完了
13:15	米谷大橋応急工事	段差すりつけ工事完了
21:45	山吉田橋応急工事	山吉田橋付近の応急工事作業終了
	調査要請	国道398号錦橋の被害調査を(株)長大に要請する。
3月13日		
13:30	国道398号緊急工事	国道398号及び志津川登米線 南三陸町への緊急輸送路の調査に出席する。
15:00	山吉田橋応急工事	山吉田橋付近の通行止めを解除する。
	調査要請	登米地域事務所管内の被災調査を(社)宮城県測量設計業協会登米支部に要請する。
	支援要請	志津川登米線南三陸町志津川地内の緊急輸送路の確保を建設業協会登米支部に要請する。
3月14日		
8:30		気仙沼土木に衛星電話を届ける。11:55から通信可能となる。
	支援要請	国道398号南三陸町志津川地内の緊急輸送路の確保を建設業協会登米支部に要請する。
11:00	国道398号緊急工事	国道398号 桜沢～45号までの調査に出席する。
11:55	国道398号緊急工事	国道398号 緊急輸送路を確保する作業に着手する。
13:30	志津川登米緊急工事	志津川登米線 緊急輸送路を確保する作業に着手する。
16:30	支援要請	保健福祉部から国道398号(国道45号から志津川中学校)の2車線確保の要請があった。
	道路ハトロール	道路管理委託業者による夜間ハトロールを実施する。
3月15日		
8:00	緊急工事	国道398号、志津川登米線の緊急工事の監督に出席する。
	支援要請	迫川堤防応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
3月16日	道路被災	国道346号道路災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	迫川河川災害応急復旧工事に着手する。
17:30	国道398号緊急工事	国道398号(国道45号から志津川中学校)の2車線確保する工事が完了
3月17日		
10:00	古川佐沼応急工事	登米市北方地内の組み立て歩道の撤去を指示する。
3月18日		
9:00	緊急工事	気仙沼土木及び東部土木の被災状況調査に出席する。
	支援要請	東部土木事務所管内のがれき及び土砂撤去を建設業協会登米支部に要請する。
	調査要請	長沼ガムの被害調査を(株)パシコン、迫川災害調査設計を(株)復建技術に要請する。
	河川被災	迫川(山吉田可動堰)河川災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	小山田川(蕪栗沼遊水地第一排水機場)河川災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	迫川外河川災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	荒川外河川災害応急復旧工事に着手する。
3月21日		
8:30		南三陸町の孤立集落調査に出席する。
9:15	泊崎半島緊急工事	泊崎半島の被害調査に出席する。
	支援要請	泊崎半島線の応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
3月22日		
9:00	緊急工事	国道398号石巻市北上町及び南三陸町の被害調査に出席する。
	支援要請	国道398号石巻市北上町の応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
	支援要請	国道398号南三陸町波谷谷地区の応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
3月23日		
	支援要請	北上河北線石巻市北上町飯ノ川の応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
9:00	緊急工事	南三陸町・石巻市北上町の緊急工事監督に出席する。
13:10		泊崎半島の緊急工事監督に出席する。
19:00		河南米山線 豊里大橋の橋脚が破損し、通行止めとする。

月日	項目	内容
	調査要請	登米大橋・錦桜橋・豊里大橋の災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
3月24日	支援要請	豊里大橋の応急工事を建設業協会登米支部に要請する。
	橋梁被災	(主)河南米山線(豊里大橋)橋梁災害応急復旧工事に着手する。
3月25日	支援要請	石巻港線外のがれき除去を建設業協会登米支部に要請する。
3月27日		国道346号山吉田橋の応急対策を管理業者に指示する。
	調査要請	山吉田橋の災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
3月28日	支援要請	荒川・萱刈川の河川災害復旧工事を建設業協会登米支部に要請する。
	調査要請	国道398号相川橋・横津橋・折立橋の災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
	調査要請	伊里前川・水尻川・港川・折立川の災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
3月29日	河川被災	荒川河川災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	萱刈川河川災害応急復旧工事に着手する。
	河川被災	長沼ダム災害応急復旧工事に着手する。
3月30日	支援要請	迫川右岸河川災害復旧工事を建設業協会登米支部に要請する。
	河川被災	迫川河川災害応急復旧工事(その2)に着手する。
3月31日	調査要請	皿貝川・白浜海岸外の災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
4月7日	支援要請	南三陸町八幡川のがれき除去を建設業協会登米支部に要請する。
	23:32	余震発生 登米市震度6弱
4月8日	支援要請	国道398号南三陸町戸倉海岸の路面補修を建設業協会登米支部に要請する。
0:10	道路ハトロール	大規模災害マニュアルに従い、緊急ハトロールを実施した。
0:12	河川ハトロール	大規模災害マニュアルに従い、緊急ハトロールを実施した。
0:50	応急工事	山吉田橋・米谷大橋の段差すりつけを管理業者に指示する。
1:00		東和薄衣線 落石あり、管理業者に撤去を指示する。
1:05		河南登米線 落石あり、管理業者に撤去を指示する。
1:20		河南登米線 落石撤去が完了した。
2:15	応急工事	米谷大橋の応急工事が完了した。
2:45		東和薄衣線 落石撤去が完了した。
2:50		山吉田橋の応急工事が完了した。
5:05		国道398号 石巻市北上町吉浜 落石あり、管理業者に撤去を指示する。
7:20		東和登米線 国土交通省管理鬼橋橋脚被災のため、全面通行止めとする。
16:00		志津川登米線 気仙沼土木で路肩欠損のため、通行止めとする。
4月10日		
9:00		豊里大橋を大型車を除き通行止めを解除する。
4月13日	調査要請	登米地域事務所管内の橋梁(要請済の橋梁を除く)災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
4月18日	橋梁応急復旧	国道398号錦橋橋梁災害応急復旧工事に着手する。
4月22日	調査要請	国道398号石巻市北上町・清水浜志津川線道路災害調査設計を建設コンサルタント協会に要請する。
4月25日	河川被災	小山田川(蕪栗沼遊水地第一排水機場)河川災害応急復旧工事が完成する。
	河川被災	迫川外河川災害応急復旧工事が完成する。
5月10日	災害査定	公共土木施設第1次査定開始
5月30日	橋梁応急復旧	国道346号錦橋橋梁災害応急復旧工事に着手する。
5月31日	道路被災	国道346号道路災害応急復旧工事が完成する。
	河川被災	迫川(山吉田可動堰)河川災害応急復旧工事が完成する。
5月31日	河川被災	荒川外河川災害応急復旧工事が完成する。
6月10日	河川被災	迫川外河川災害応急復旧工事(その2)が完成する。
6月23日	河川被災	萱刈川河川災害応急復旧工事が完成する。
6月30日	河川被災	長沼ダム災害応急復旧工事が完成する。
7月4日	道路被災	国道398号外道路災害応急復旧工事(登米市一円地内)に着手する。
8月1日	道路復旧	後高石道路災害復旧工事に着手する。
9月5日	河川復旧	長沼川・旧迫川河川災害復旧工事(迫川北方・米山町中津山内)に着手する。
9月12日	河川復旧	荒川・迫川・旧迫川・古川河川災害復旧工事(栗原市薬師宮横須賀・米山町西野・米山町中津山内)に着手する。
9月15日	河川復旧	小山田外河川災害復旧工事(栗原市瀬峰地内)に着手する。
9月20日	河川被災	荒川河川災害応急復旧工事が完成する。
	河川復旧	旧迫川河川災害復旧工事(米山町中津山内)に着手する。
	道路復旧	国道346号橋場外道路災害復旧工事(米山町橋場地内)に着手する。
10月3日	道路復旧	下古屋外・境沢外・上羽沢道路復旧工事(登米町下古屋・登米町日根牛地内)に着手する。
	道路復旧	新田外・南深沢外・狼掛外道路復旧工事(迫町新田・迫町南方狼掛地内)に着手する。
10月17日	河川復旧	羽河・天形河川災害復旧工事(迫町北方地内)に着手する。
	道路復旧	茨沢外道路災害復旧工事(南方茨沢地内)に着手する。
10月24日	河川復旧	北深沢河川災害復旧工事(迫町新田北深沢地内)に着手する。
	道路復旧	錦桜外道路災害復旧工事(東和町錦橋地内)に着手する。
10月31日	河川復旧	大形河川災害復旧工事(迫町新田大形地内)に着手する。
	道路復旧	西佐沼外・畑岡下外道路災害復旧工事(迫町佐沼・南方町畑岡下地内)に着手する。
12月5日	道路復旧	石森外道路災害復旧工事(中田町石森地内)に着手する。
12月13日	河川復旧	古川河川災害復旧工事(南方町新一曲地内)に着手する。
12月21日	道路復旧	上沼外道路災害復旧工事(中田町上沼地内)に着手する。
12月26日	河川復旧	鱒淵川河川災害復旧工事(東和町米川地内)に着手する。
平成24年		
1月10日	道路復旧	浅水外・狼ノ谷外道路災害復旧工事(中田町浅水・迫町新田地内)に着手する。
1月11日	道路復旧	青山外道路災害復旧工事(迫町北方青山地内)に着手する。
1月16日	道路復旧	長谷山外道路災害復旧工事(中田町長谷山内)に着手する。
1月18日	河川復旧	旧迫川河川災害復旧工事(米山町中津山内)が完成する。
1月27日	河川復旧	小山田外河川災害復旧工事(栗原市瀬峰地内)が完成する。
1月30日	道路復旧	長沼下外道路災害復旧工事(迫町北方長沼下地内)に着手する。

6) 東部土木事務所登米地域事務所の対応状況 (写真)



写真-1 迫川堤防応急対応の状況



写真-2 豊里大橋応急対応の状況



写真-3 迫川堤防本復旧工事の完了状況



写真-4 豊里大橋本復旧工事の状況



写真-6 錦桜橋の災害査定状況

7) 気仙沼土木事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	
地震発生直後	防潮水門閉扉確認	管内防潮水門(全14水門)の閉扉状況をライブカメラで確認。
		気仙沼合同庁舎が緊急避難ビルとなっていることから、住民約200名が庁舎に避難。
	大津波発生・襲来	気仙沼土木事務所がある気仙沼合同庁舎、津波により建物二階と三階のほぼ中間まで浸水。
		気仙沼合同庁舎の非常用発電機が一階にNTT電話等の通信設備交換機が二階にあり、津波浸水によりすべてがダウン。
		繰り返す津波襲来により合同庁舎が完全孤立状態。
		気仙沼土木事務所職員の本来業務一切できず。
		気仙沼地方振興事務所と共に避難者約200名へのケアへ対応。
19:00頃	気仙沼保健福祉事務所	出張等により合同庁舎を留守にしていた職員5名(所長、次長等)が会議室の一室で設備を開始。
	事務所(代替事務所)	気仙沼保健福祉事務所には、非常発電機、防災電話、防災FAX等の設備一切なし。
		このためNTT等の通信不通と合わせ、情報収集・提供等の業務一切できず。
3月12日		
8:00頃		土木事務所職員が寝泊まり用ふとん・毛布等を付近の水産加工会社から合同庁舎に搬入。
		(水産加工会社から提供の申し出あり)
		津波警報が解除され一段落すると、避難住民がいつまで、このように避難していなければならないのか等、ザワメキし、一部には独自に脱出・避難すると申し出する者が出た。
10:00頃	脱出ルートの確認	合同庁舎から市内避難所等、高台への脱出・避難ルートを探るため、水の引いた現地を土木事務所職員(5名)が徒歩により確認。
15:00頃	一部避難者の脱出	確認した脱出・避難ルートにより、一般避難者約100名(健康者等)が土木事務所職員10名の先導・案内で合同庁舎から脱出・避難。
3月13日		
8:00頃	避難者の脱出・避難	前日に続き、残る一般避難者の徒歩による脱出・避難を土木事務所職員の先導・案内で開始。
		(足の不自由な方は、救出ヘリでの避難を予定)
		脱出・避難を開始後、自衛隊ヘリの指示により、徒歩による脱出・避難者全員が途中から自衛隊・東京消防庁ヘリにより救出された。
10:30頃	県職員の脱出・避難	一般避難者の脱出・避難を確認した後、残る県職員全員が、東京消防庁ヘリで救出される。
10:40頃		ヘリの救出により、土木事務所職員全員が市営球場に脱出・避難。
		市営球場から、徒歩により気仙沼保健福祉事務所(代替事務所)を目指す。
12:00頃	気仙沼保健福祉事務所(代替事務所)到着	全員が気仙沼保健福祉事務所に着。 (写真-1)
		事務所職員がほぼそろう保健福祉事務所二階の会議室の一室を執務室として業務を開始。(写真-2)
		会議室は、職員全員入りきれず、またパソコン、電話一切なし。
午後	安否確認(当初)	安否確認できなかった職員のうち2名(当日公用車で出張)が発行・安否確認。
		残る1名確認できず。
16:00頃	衛星携帯配備	防災砂防課から衛星携帯2台が配備される。
夕方	建設業協会気仙沼支部	連絡手段が一切不通のため、保健福祉事務所近隣の所在する協会業者1社と保健福祉事務所において連絡、
		対応指示し、他の協会業者への周知連絡(情報の共有化)
3月14日	管内パトロール本格化	
	道路パトロール	直営パト:土木事務所の公用車のほとんどが流出(2台生き残り)したため、徒歩によるパトロールを中心に開始。
		委託パト:連絡手段がないため、気仙沼市内の管理業者数社が直接保健福祉事務所に来所、連絡指示によるパト開始。
		(委託管理業者の3社が津波により社屋流出被害、また人員が確保できず思うようなパトできず。)
3月17日頃		
	応援要請・依頼	建設業協会気仙沼支部に対し、協定に基づく応急工事施工業者の推薦を本格的に要請開始。
3月18日		
	仮橋設置工事契約	国道398号の落橋した、折立橋、横津橋の仮橋設置工事の契約。
	道路応急工事契約	国道398号、泊崎半島線、大島浪板線の道路流出管の道路築造工事の契約。
	河川応急工事の契約	大川、鹿折川の堤防決壊箇所の応急工事の契約。
3月20日		
	仮橋設置工事の着手	国道398号、折立橋、横津橋の仮橋設置工事の着手
	道路応急工事の着手	国道398号仮設道路工事の着手。
3月20日		
夕方	安否確認(最終)	確認できなかった1名が発行し、職員全員の安否を確認する。
3月23日頃		
	応援要請・依頼	宮城県建設コンサルタント協会に対し緊急の災害調査業務実施業者の推薦を要請開始。
3月23日		
	道路応急工事の完成	国道398号仮設道路工事の完成、供用開始。
3月28日		
	緊急災害調査業務の契約	道路・河川・海岸における災害緊急調査業務を契約。
4月1日	引越	一時土木事務所仮庁舎(マルタクビル)に場所を移しての業務。(写真-3,4,5)

月日	項目	内容
4月20日頃		マルタクビル、パソコンインターネット接続使用開始。
4月6日		
	瓦礫撤去業務	道路瓦礫撤去(啓開)業務の契約。
	河川・海岸応急工事	河川・海岸の応急工事の契約。
5月		
	道路測量設計	道路の測量設計業務の契約・実施。
5月16日		
	応援職員	三重県より3名の応援職員(5月31日まで)
6月1日		
	仮橋設置工事の完成	国道398号、折立橋、横津橋の仮橋完成。供用開始。(写真-6,7)
	応援職員	気仙沼土木に東京都から5名の応援職員(8月31日まで)
	応援職員	登米地域事務所会議室に気仙沼土木の応援職員として徳島県から4名。
7月1日		
	業務体制構築	気仙沼土木登米チームを登米地域事務所組織・配置。(写真-8)
	応援職員	気仙沼土木登米チームに北海道から5名応援職員。
8月		
	河川海岸測量設計	河川、海岸の測量設計業務の契約・実施。
9月1日		
	応援職員	気仙沼土木に東京都から10名の応援職員
9月12日		
	野田首相視察	野田首相、気仙沼に被災地を視察。(写真-9,10)
9月15日		
	災害調査設計に 関する打合せ	津波浸水区域内で測量・設計を実施している建設コンサルタントと土木技術職員が一同に会した打合せ・説明会の開催。
		年内の災害査定申請の実施、宮城県沿岸における海岸堤防高の設定、地盤沈下に伴う災害復旧事業の取り扱い、
		災害復旧方針(案)等について。
9月26日	引越	気仙沼合同庁舎に場所を移しての業務開始。(写真-11,12)
10月20日		
	連絡会議	気仙沼地域震災復興整備連絡会議(第一回)開催
10月26日		
	冠水監視体制強化	気仙沼市内の地盤沈下箇所浸水計を設置し、冠水被害の監視を開始。
11月15日		
	復興道路着工式	三陸登米志津川道路「志津川トンネル」の着工式が開催。
12月8日		
	連絡会議	気仙沼地域震災復興整備連絡会議(第二回)開催
12月20日		
	業務施行に関する 協定締結	東北地方太平洋沖地震による災害復旧事業に係る業務施行に関する協定締結(気仙沼市)
	協定締結	東北地方太平洋沖地震による災害復旧事業に係る業務施行に関する協定締結(南三陸町)
12月23日		
	災害査定完了	第28次災害査定で全災害査定が完了。
平成24年		
1月27日	大島架橋事業着手式	震災復興のシンボル事業である大島架橋事業の着手式を開催・実施。(写真-13)
1月19日		
	災害査定	南三陸町・災害等廃棄物処理(瓦礫撤去)について災害査定(環境省)
	災害査定	気仙沼市・災害等廃棄物処理(瓦礫撤去)について災害査定(環境省)
2月10日		
	連絡会議	気仙沼地域震災復興整備連絡会議(第三回)開催

7) 気仙沼土木事務所の対応状況 (写真 1 / 3)



写真-1 気仙沼保健福祉事務所会議室



写真-2 気仙沼保健福祉事務所会議室



写真-3 仮庁舎 (マルタクビル) 外観



写真-4 仮庁舎 (マルタクビル) での執務状況



写真-5 仮庁舎 (マルタクビル) での執務状況



写真-6 折立橋仮橋完成

7) 気仙沼土木事務所の対応状況 (写真 2 / 3)

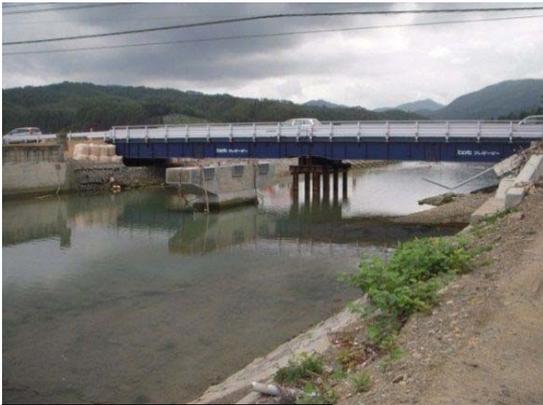


写真-7 横津橋仮橋完成



写真-8 気仙沼土木事務所登米チーム  
(登米地域事務所会議室)



写真-9 野田首相 気仙沼の被災地視察



写真-10 野田首相 気仙沼の被災地視



写真-11 気仙沼仮合同庁舎外観



写真-12 気仙沼仮合同庁舎での執務状況

7) 気仙沼土木事務所の対応状況 (写真 3 / 3)



写真-13 大島架橋事業着手式



写真-14 二級河川大川 応急工事



写真-15 二級河川 鹿折川 応急工事



写真-16 中島地区海岸 応急工事



写真-17 長須賀地区海岸 応急工事

8) 仙台塩釜港湾事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年	地震発生	
3月11日		三陸沿岸に大津波警報発令
14:50	BCP	土木部BCPに基づき安否確認、庁舎確認を実施
14:50	安否確認	安否確認ができない職員数：9人(全職員26人の内)
	庁舎被害等	仙台塩釜港湾事務所：天井崩落、室内破壊状態、防災無線、NTT、ネットワークシステム、電気、水道使用不可 塩釜支所：建物被害少、停電
15:00	避難	屋外駐車場へ避難
15:15	避難	夢メッセ来客者約700名と共にアクセルホール側屋上へ避難(ラジオ情報：津波高6m)
15:30	避難	アクセル業務棟4、5階へ避難(ラジオ情報：津波高10m)、5階港湾事務所も一般県民に開放
16:00	津波来襲	津波により公用車、通勤自動車全て流出(アクセル建物近辺で津波高約2m) アクセル1階に車両、がれきが大量に流入、西側緩衝緑地で被災車両から数箇所火災発生 港湾事務所で一般県民に雨具・防寒具等を提供したが数量が不足、事務所内や廊下は足の踏み場もないほど混乱 センターと夢メッセのイベント主催者でイベント用の食料や飲料水等を避難者へ配給 アクセルは津波発生時の指定避難所ではないため災害対応物資の準備なし
3月12日		
午前	バトロール	職員3名でアクセル周辺のみ港内バトロール実施 * 貨物船1隻が企業岸壁に乗り上げているのを確認、その他港内には貨物船の停泊なし * 道路上は電柱や照明灯の倒壊、被災車両、荷役機械、倉庫からの流出物資等の散乱により車両通行不可 夢メッセのイベント主催者が避難していた一般県民をマイクロバスで高砂駅までピストン輸送 塩釜支所は水産漁港部職員とともに3班程度のシフトを組み、一部職員帰宅
13:00	待避	一般県民が待避した後、職員も高砂駅まで徒歩でマイクロバスで退避 塩釜支所：随時事務所周辺を巡回、監督船「はじま」の無事を確認したがマリンゲート前まではがれきで通行不可
15:00	移動	高砂駅から港湾課の公用車で業務代替え機関である仙台北土木事務所へ移動 * 5月29日まで仙台北土木事務所内で港湾業務継続
15:30	帰宅	仙台北土木事務所3名、塩釜支所2名を配置しその他の職員帰宅
3月13日		
	仙台北港バトロール	使用可能岸壁：雷神1号、中野5・6号(高松は岸壁の状態は良いもののアクセス道路なし) 高砂コンテナターミナル：1号バース被災なし(被災コンテナのため利用不可)、2号バース護岸はらみだし ガントリークレーン使用不可
3月14日		
	松島港バトロール	浪打浜：国道45号まで津波痕跡あり 松島公園管理事務所前：浮き桟橋(-2.0m)がチェーン切断、転覆 松島水族館前：浮き桟橋(-1.5m)4基が津波により流出 松島中央桟橋付近：浮き桟橋の移動により渡橋が破損
15:00	調整会議	直轄事務所と調整会議開催、緊急物資の輸送方針
16:30	輸送路確保	三陸運輸へ緊急輸送路及び被災状況マップ(直轄作成)説明
17:50	輸送路確保調整	五洋建設に輸送ルート説明、輸送路の確保を依頼
18:00	依頼分交付要請	五洋建設の燃料確保のため、災害復旧作業の依頼文発行を港湾課に要請 港湾課から五洋建設へ海上航路確保及び陸域の輸送路確保を依頼
3月15日		
	塩釜港区バトロール	貞山橋～笠神PBS、要害、東宮、代ヶ崎、吉田・花沢地区のバトロール実施
	道路啓開	臨港道路の支障物撤去開始
10:10	緊急物資輸送	三陸運輸へ3月16日に輸送船着岸予定を説明(雷神ふ頭着岸予定) 五洋建設と航路・泊地の音探結果確認 塩釜港船舶給水(株)に細取り業務依頼 塩釜港運送に輸送船着岸予定を説明
23:20	緊急物資輸送	海上保安部が測量不十分との見解のため明朝再測量を決定
3月16日		
2:00	緊急物資輸送	着岸場所を雷神ふ頭から高松ふ頭へ変更、入港は15:00予定(雷神は浅い場所があるため)

月日	項目	内容
13:00	緊急物資輸送	入港は17日に変更
3月17日		
	航路啓開	塩釜港区の海上漂流物調査開始
	がれき撤去	夢メッセ、アクセルのがれき撤去着手(3月24日終了)
16:05	緊急物資輸送	緊急救援物資を積んだ「海翔丸」が着岸
3月18日	航路啓開	塩釜港区の航路啓開作業開始
3月21日	緊急物資輸送	塩釜港区に燃油を積んだタンカー入港
3月25日	緊急物資輸送	太平洋フェリー入港
3月27日	緊急物資輸送	塩釜港区に5,000k級大型タンカー入港
4月1日	岸壁利用再開	一般船舶の利用再開
4月6日	航路啓開	松島港航路啓開作業開始
4月7日	定期航路再開	自動車運搬船の定期航路再開
4月11日	定期航路再開	太平洋フェリーの定期航路再開
4月16日	自動車積出し再開	完成自動車の積出し再開(関東自動車の海上物流再開)
4月21日	自動車積出し再開	県内生産の完成自動車の積出し再開(4/18に生産が開始されたセントラル自動車の海上物流再開)
4月29日	観光船運航再開	松島観光船が運航再開
5月18日	放射線等測定	大気・海中の放射線量等の測定開始
5月27日	外国船入港	震災後初の外国船入港(石炭)
6月8日	コンテナ船出港	震災後初のコンテナ船の出港(内航フィーダ：代替クレーンにより高砂1号バースの運営再開)
7月26日	荷役機械の提供	港運協会から港運企業ヘストラドルキャリア2機無償提供
7月27日	災害査定	公共土木施設災害査定開始
8月17日	荷役機械の提供	博多港から宮城県ヘストラドルキャリア1機無償提供
8月18日	復旧工事	高砂2号バース本格復旧工事着手
8月23日	漂着コンテナ撤去	仙台北港区から流出した海岸漂着コンテナの撤去開始(市町村からの受託)
9月5日	復旧工事	ガントリークレーン2号機稼働(ガントリークレーン使用開始)
9月15日	45コンテナ	みやぎ45フィートコンテナ物流特区による日本初の45コンテナによる輸出開始
9月30日	コンテナ定期航路	震災後初の外航コンテナ船の出港(中国/韓国コンテナ定期航路が週1便再開)
12月9日	災害査定	公共土木施設災害査定終了(第12次)
12月15日	復旧工事	塩釜港区臨港道路嵩上げ説明会開催(災害査定後、復旧内容について地元説明開始)
12月22日	復旧工事	高砂2号バースコンテナヤード一部舗装復旧(L=270m×W=60m)
1月11日	45コンテナ	国内初の45コンテナによる輸入開始
1月13日	復旧工事	高砂2号バース供用再開(270m)、ガントリークレーン4号機稼働(1号機は12月6日に稼働済み)
1月17日	復旧工事	七ヶ浜町の災害復旧工事調整会議(以後、各市町と災害復旧工事に関する調整会議を随時開催)
1月22日	コンテナ定期航路	北米西岸/東南アジア航路再開
2月6日	復興計画	仙台北港区防潮堤計画説明会開催

8) 仙台塩釜港湾事務所の対応状況(写真)



写真-1 H23.6.8 コンテナターミナル再開



写真-2 H23.7.28 災害査定(2次)



写真-3 H23.9.30 外航再開



写真-4 H23.10.27 災害査定(8次)



写真-5 H23.12.15  
塩釜工区臨港道路嵩上説明会



写真-6 H24.1.22 国際定期航路再開

9) 石巻港湾事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	マグニチュード9.0 震度6強(東松島市)6弱(石巻市) 大津波警報発令 停電・断水・電話不通
		事務所に居た職員10名は日和山への避難を開始したが、交通事情により7名が日和山へ、3名は内陸方面へ避難
		津波により、事務所1階は梁を残し全て流出。2階は30cm程度浸水。別棟、車庫、倉庫等は全て流失 【写-1】
3月12日		
	仮事務所設置	東部土木事務所も被災したため、次の代替機関としていた東部下水道事務所に仮事務所を設置 県庁より公用車と衛星携帯が届く
3月13日		
12:00	被害状況調査	港湾課職員と合流し石巻港へ出発。事務所へ車で行けるルートはなく、45号からインター線を徒歩で
3月14日		
8:00	職員合流	日和山へ避難していた職員が東部下水に徒歩で到着
13:10	被害状況調査	石巻港へ、インター線から事務所へ向かう。明神橋以降はヘドロ・がれきの中徒歩で
	仮事務所の状況	水・電気・ガス・電話・トイレなし。食糧も不足
3月15日		
10:30	被害状況調査	石巻港内の臨港道路・岸壁の状況調査。中島埠頭は使えそう。臨港道路は啓開すればOK。西海岸線は決壊。
12:00	陸上啓開開始	釜北線から啓開作業開始(焼フジタが被災した港湾事務所を基地として、食料・軽油を持ち込み作業開始)
3月16日		
	海上啓開開始	釜地区の啓開のための調査開始(東洋建設(株))
3月17日		
13:50	応急復旧	西海岸線の決壊箇所の復旧に着手
	応急復旧	幹線臨港道路の1次啓開完了(暫定2車線確保)
16:30	油ない	市内大手E興業来所。(重機用軽油が明日までしかない。調達出来ないか?)
3月23日		
11:00	災害調査	災害1次調査(コンサル委託)始まる
11:20	救援物資	救援物資を積んだ第112福一丸が中島埠頭に接岸
3月24日	応急復旧	臨港道路(枝線含む)の1次啓開完了
3月25日	がれき	雲雀野G区(石巻市へ貸地)へのがれき搬入開始
	応急復旧	西海岸線の応急復旧完了(迂回路2箇所)
3月27日	被災報告	災害報告(第1報)を県庁に
3月28日	がれき	南浜埠頭に被災自動車の搬入開始(石巻市へ貸地) 【写-2】
	がれき	西浜果有地(東松島市へ貸地)へのがれき搬入開始
3月29日		
	応急復旧	防潮堤決壊箇所(東浜・西浜)の応急工事着手
3月30日	応急復旧	雲雀野中央埠頭への仮設道路完成
	応急復旧	臨港道路2次啓開開始(4車線化。被災車両を搬出しながら)
4月1日	復興会議	石巻港の早期復興に向け結団式を行う(県、石巻市、企業等)
	応急復旧	石巻港の啓開作業が完了し、主要13バースで一般船舶の利用が可能となる(喫水制限付き)
4月4日	事務所移動	下水道事務所の大会議室(土木事務所と相部屋)から小会議室(個室)へ移動
4月21日	がれき	石巻市から受託した港内企業の被災飼料の運搬処理始まる
	がれき	雲雀野C区D区(石巻市へ貸地)へのがれき搬入開始
	臨時出張所設置	被災した庁舎西側の大手野積場にプレハブの臨時出張所開設。港湾利用者の利便性を確保
4月27日	震災後初入港	石巻港に震災後初の貨物船(パナマ船籍、3661t)が入港。合板1800tを積んで中島埠頭に接岸した【写-3】
5月9日	貨物船救助	津波で中島埠頭に打ち上げられた貨物船(950t)が国内最大級のサルページ(4000t吊り)船で救出される【写-4】
	応急復旧	主要荷捌き地(日和・大手・雲雀野中央)の仮舗装工事着手
5月16日	被災者支援	超高速大型貨客船「テクノスーパーライナー」が日和埠頭に接岸し、1泊2日の宿泊、入浴、食事支援を行う(～31日)
5月20日	応急復旧	東浜・西浜防潮堤応急復旧完了 【写-5】
5月24日	港の安全	石巻港の放射線量測定開始
6月1日	応援職員着任	秋田県5名、富山県2名の計7名の応援技術職員着任(登米市登米町に仮宿舎)
6月2日	応急復旧	女川港石浜地区の啓開作業が完了し一部供用開始

月日	項目	内容
6月7日	航行禁止解除	石巻港長公示により航行の禁止は解除となった
6月13日	応急復旧	主要荷捌き地(日和・大手・雲雀野中央)の仮舗装工事了
6月21日	応急復旧	表浜港の海上啓開作業終了
6月23日	復興会議	第2回復興会議(国、県、市、商工会議所、企業等)
6月28日	港の安全	石巻港の海水中の放射性物質(ヨウ素、セシウム)は不検出
7月1日	事務所移動	東部土木が元の事務所に戻り、東部下水道事務所小会議室から大会議室へ移動
7月4日	応急復旧	表浜港の海上啓開作業終了
7月7日	1次査定	～8日(県内浸水区域初、石巻港幹線臨港道路)
7月11日	震災後初飼料船	震災後初の飼料船(パナマ船籍、3万トン級)が日和埠頭に入港
7月25日	2次査定	～29日(石巻港主要岸壁、離岸堤)
8月1日	3次査定	～3日(石巻港+女川港石浜(-7.5m)) 【写-6】
8月4日	応急復旧	雄勝港(水浜地区)の物揚場嵩上げ完了(満潮時でも使用可となる)
8月5日	復興会議	第3回復興会議を開催(国、県、石巻市、東松島市、企業等)
8月19日	応急復旧	雄勝港(大浜地区)の物揚場嵩上げ完了(満潮時でも使用可となる)
8月29日	4次査定	～2日(石巻港)
9月1日	応援職員交代	富山県1名交代
9月5日	5次査定	～7日(石巻港)
9月8日	被災減免	被災した港湾施設の使用料を50%減免
9月12日	6次査定	～14日(石巻港、表浜港、海上啓開)
9月19日	通行止め	～21日台風15号・16号による波浪により東海岸線が通行止めとなる(地震で防潮堤、離岸堤とも沈下した影響を受ける)
9月27日	本格復旧	災害本復旧工事の第1弾として、緊急輸送道路(釜中線、東1号線等)をがれき洪滞を避け夜間工事で発注
9月28日	事務所移転	被災した事務所の復旧が完了し、元の場所で業務を開始
	応急復旧	雄勝港の海上啓開作業完了
10月1日	応急復旧	南浜大型棧橋の防舷材交換と仮橋設置が完了し利用が可能となる
10月3日	応援職員交代	富山県1名交代
10月7日	がれき	がれきの2次処理(鹿島JV)始まる
10月17日	7次査定	～21日(地方港物揚場等)
10月24日	応急復旧	金華山港の仮橋設置完了(満潮時でも乗降可能に)
10月24日	8次査定	～28日(地方港物揚場等)
11月1日	応援職員交代	秋田県5名交代
	本格復旧	中島上屋の復旧工事了。供用開始
11月7日	9次査定	～11日(地方港物揚場等)
11月14日	10次査定	～18日(防潮堤等)
11月21日	米軍艦船	女川港に米軍艦船が来航。親善友好をはかる
11月27日	震災後初の石炭船	航路の水深が完了し、震災後初の石炭船(パナマ船籍、5万トン級)が雲雀野中央埠頭に入港
11月28日	11次査定	～1日(防潮堤等) 査定終了(全97件、397億円)
11月30日	震災後初のチップ船	震災後初のチップ船(パナマ船籍、5万トン級)が南浜大型棧橋に入港
12月1日	応援職員交代	富山県1名交代
1月4日	応援職員交代	富山県1名交代
1月16日	本格復旧	岸壁等(中島、大手、南浜、大曲、表浜、表浜、金華山、石浜、立浜)の災害本復旧工事を発注
1月17日	発注者支援	災害復旧等補助業務員としてSCOPE((財)港湾空港建設技術サービスセンター)5名の業務開始

9) 石巻港湾事務所の対応状況 (写真)



写真-1 事務所の被災状況



写真-2 南浜埠頭被災自動車置場



写真-3 震災後初入港した貨物船



写真-4 サルベージ作業の状況



写真-5 東浜防潮堤応急対応の状況



写真-6 災害査定の状況  
(がれき付近につき全員マスク、ゴーグル着用)

10) 中南部下水道事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年		
	<初動体制>	
3月11日		三陸沿岸に大津波警報発令
14:46		地震発生
14:49		大津波警報発令
15:00	BCP	土木部BCPに基づき安否確認(事務所職員総数24名、内訳:事務所内に在籍職員16名事務所外の職員8名) 管理事務所の状況:机等の事務機器の一部が倒壊、書類落下 事務所公用車4台移動、下水道公社車両1台移動 事務所職員16名の無事を確認
15:10		出張で県庁に向かっていた職員1名が、地震発生時最寄りの公所であった仙台土木事務所において、事務所と防災無線等で連絡をとるなどの情報収集を行った。
15:55		津波襲来(3Fへ避難)
17:30	安否確認(第1報)	以下の内容を、仙台土木事務所に配備した事務所職員がFAXで下水道課に報告した。
	庁舎被害等	・事務所1階が浸水(約1.5m)、机等が水没 ・事務所内の職員16名は無事、事務所外職員4名無事、所在確認できな職員4名 ・管理設備状況:異常なし 停電:発動発電機始動 電話、FAX受信:OK
20:25	安否確認(第2報)	以下の内容を、仙台土木事務所に配備した事務所職員がFAXで下水道課に報告した。 事務所内に避難している人数総数73名 上記内訳:事務所職員16名、公社職員12名、公社委託業者28名、一般業者6名、周辺住民11名
21:50	事務所状況	事務所職員から仙台土木の事務所職員へ電話連絡 ・事務所隣接の製油タンク方向で火災、爆発音
22:30	事務所状況	事務所における避難職員他(62名)が七ヶ浜町向洋中学校へ避難
3月12日		
8:00	被害調査	避難所から仙塩浄化センター向かい被害調査を実施
10:00	避難指示	隣接の製油所爆発による避難指示により避難所に避難
13:00	避難所	避難指示を受けて、七ヶ浜中央公民館に避難移動。
	避難(県南浄化センター)	県南浄化センターの指定管理者、燃料化施設委託業者の49名の安全を
3月13日	事務所	仙塩浄化センター管理棟が甚大な被害を受けたため、仙台土木事務所を仮事務所を設置した。(4月24日まで)
3月14日	安否確認(第最終報)	事務所職員全員の安否が確認され、下水道課に報告した。
3月14日	管路パトロール	職員と指定管理者協力して管内管路パトロールを実施(3月18日まで)
3月15日	事務所	仙塩浄化センターの避難指示解除
4月25日	事務所	仙台土木事務所から仙塩浄化センターへ事務所移転
	<全流域>	
3月22日	全流域	各流域ごとに災害復旧調査業務委託をコンサルタントに発注
3月31日	全流域	他県からの応援による管路の1次調査を実施した。(4月10日まで)
4月16日	全流域	委託業者(日本下水道管路管理業協会)によるテレビカメラを利用した管路の2次調査を実施(12月まで)
9月20日	仙塩、県南浄化センター	台風15号による仙塩浄化センター、阿武隈川浄化センターが浸水し機器の一部が再度被災した。



写真-1 監廊堆積土砂撤去



写真-2 水処理施設堆積汚泥撤去

月日	項目	内容
	<災害査定>	
6月13日	吉田川流域	第2次災害査定
7月4日	鳴瀬川流域	第3次査定
8月1日	仙塩流域	第5次査定
8月22日	仙塩、阿武隈下流流域	第6次査定
9月5日	仙塩、阿武隈下流流域	第7次査定
9月26日	仙塩、阿武隈下流流域	第8次査定
10月11日	仙塩、阿武隈下流流域	第9次査定
10月24日	仙塩、阿武隈下流流域	第10次査定
11月9日	仙塩、阿武隈下流流域	第11次査定
12月5日	阿武隈下流流域	第12次査定
	<鳴瀬、吉田>	
3月11日	大和、鹿島台浄化センター	大和浄化センター、鹿島台浄化センターは自家発電で運転
3月14日	大和浄化センター	商用電力が復電し、通常運転開始
4月9日	鹿島台浄化センター	商用電力が復電し、通常運転開始
	<仙塩流域>	
3月17日	仙塩浄化センター	塩釜ポンプ場受電開始
3月18日	仙塩浄化センター	多賀城緩衝緑地内に下水緊急排水用の仮設沈殿地設置工事開始
3月19日	仙塩浄化センター	多賀城市内の公共マンホールからの溢水情報
3月19日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センター場内浸入道路を確保
3月20日	仙塩浄化センター	七北田N02マンホールから仮設水中ポンプによる貞山運河へ消毒し緊急
3月21日	仙塩浄化センター	多賀城緩衝緑地内の仮設沈殿池からの緊急排水
3月22日	仙塩浄化センター	七北田N01マンホールから緊急排水
3月23日	仙塩浄化センター	塩釜ポンプ場1号ポンプ稼働
3月23日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターで特別高圧受電開始
3月25日	仙塩浄化センター	七北田N03マンホールから緊急排水
3月26日	仙塩浄化センター	七北田N05、6マンホールから緊急排水
3月28日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターの流入ゲート前に設置した仮設ポンプを稼働開始し、順次増設
3月28日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターの反応タンクの2系列を活用して沈殿後、消毒放流を開始
3月30日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターの流入ゲート前に国交省排水ポンプ車配置稼働
4月1日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターをマスコミに公開
4月14日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センター内のベドロ、汚泥等を汚泥仮置場に移動開始
4月19日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センター内の5号汚水ポンプを復旧
4月19日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターの管理棟上水道復旧
4月26日	仙塩浄化センター	国交省排水ポンプ車撤退
4月28日	仙塩浄化センター	七ヶ浜町住民より臭気の苦情あり
5月11日	仙塩浄化センター	仙塩浄化センターの4系列初沈に仮設脱水車を配置し汚泥脱水を開始
5月12日	仙塩浄化センター	多賀城市大代地区住民に仙塩浄化センター被災の説明資料を全戸配付
5月16日	仙塩浄化センター	1、2号汚水ポンプを復旧
5月30日	仙塩浄化センター	6号汚水ポンプを復旧
6月10日	仙塩浄化センター	汚泥脱水機(ベルトプレス)1台を運転、汚泥処理開始
6月20日	仙塩浄化センター	汚泥脱水機(遠心脱水機)1台を運転開始
6月28日	仙塩浄化センター	第2、第3系列において仮設送風機による簡易曝気を開始
7月5日	仙塩浄化センター	多賀城緩衝緑地内の仮設沈殿地撤去
7月31日	仙塩浄化センター	多賀城市大代地区町内会住民説明会を開催
8月18日	仙塩浄化センター	臭気対策で、中之島汚泥仮置池を覆土完了
8月27日	仙塩浄化センター	水処理施設1、4系の被災汚泥を仮設脱水機により脱水開始
11月7日	仙塩浄化センター	中の島汚泥仮置池の被災汚泥を固化処理開始
12月30日	仙塩浄化センター	水処理施設1、4系の被災汚泥を場外搬出完了
12月30日	仙塩浄化センター	中の島汚泥仮置池の被災汚泥を場外搬出完了
	<阿武隈川下流>	
3月16日	県南浄化センター	県南浄化センター内流入ゲート仮設ポンプによる赤井江への緊急放流開始
3月20日	阿武隈川下流流域	増田川仮設沈殿地から緊急放流
3月21日	阿武隈川下流流域	丸森、亘理、角田、大河原各ポンプ場運転開始
3月23日	県南浄化センター	返流管マンホールから赤井江へ緊急放流開始
3月24日	阿武隈川下流流域	名取ポンプ場調圧水槽から仮設排水開始
3月26日	県南浄化センター	県南浄化センターの仮設沈殿池で沈殿後、消毒放流を開始
4月1日	県南浄化センター	県南浄化センターで高圧受電開始
6月7日	県南浄化センター	主ポンプ復帰、第5系列2/2で沈殿後、消毒放流開始
6月10日	阿武隈川下流流域	増田川仮設沈殿地を撤去
7月15日	県南浄化センター	第5系列1/2において仮設送風機による生物処理を開始
8月3日	阿武隈川下流流域	仙台ポンプ場運転開始
11月7日	県南浄化センター	第1系列1/2において仮設送風機による生物処理を開始
11月28日	県南浄化センター	汚泥脱水機(ベルトプレス)運転開始

10) 中南部下水道事務所の対応状況 (写真)



写真-3 簡易曝気設備設置状況



写真-4 仮設汚泥処理施設設置



写真-5 被災施設撤去状況 (ガスホルダー)



写真-6 仮設汚泥処理テント設置 (堆積汚泥処理)



災害査定状況



都道府県職員の応援状況

1 1) 東部下水道事務所の対応状況 (1 / 3)

月日	項目	内容
平成23年	地震発生	石巻市・東松島市 震度6強(石巻下流域、下流、石巻下流東部流域下水道・東部)
3月11日	大津波警報	栗原市 震度7、登米市 震度6強(迫川下流域下水道・迫)
14:46		
14:50	BCP	土木部のBCPに基づき、安否確認、庁舎確認を実施
安否確認(第1報)		安否の確認が出来ない職員数12名(全職員20名) 事務所待機8名
庁舎確認		事務所建物の壁・床に一部クラック、屋根瓦の落下を確認
		庁舎への進入路:異常なし 停電の為、電話・FAX使用不可、防災無線使用可
14:58	発電(下流)	石巻浄化センター(事務所) 停電のため自家発電稼働 処理場の処理機能停止
15:00	支援要請(下水道課へ)	自家発電用の燃料の在庫が石巻浄化センターで32時間、石巻浄化センターで30時間しか無いことから、 下水道課を通じて災害対策本部に燃料の手配を依頼
15:20	被害確認(下流)	石巻浄化センター 最初沈澱池・最終沈澱池・放流ポンプ 異常なし
15:59	発電(迫)	石巻浄化センター 停電の為、自家発電稼働
16:04	報告(東部)	石巻東部浄化センターにいる石巻環境サービス(指定管理者)職員が管理棟3階に避難
16:30	避難(下流)	石巻浄化センター放流口の河川(旧北上川)水位が急上昇し、測定範囲(+2.9m)を超えた為、事務所への津波到来の危険が有ると判断し、 石巻浄化センターにいる職員、石巻環境サービス(指定管理者)職員が沈砂池ポンプ棟2階に一時避難
16:50	報告(下水道課へ)	下水道課へ事務所等の状況を報告(避難中)
17:30	避難解除(下流)	石巻浄化センター 自主避難解除(事務所に戻る)
17:37	機器故障(下流)	石巻浄化センター 運転前機器確認 最終沈澱池(機械設備)故障確認
17:40	津波状況報告(東部)	石巻東部浄化センター 2階フロアまで水没、テレメーターによる各ポンプ場の監視不可
	報告(迫)	石巻浄化センター 自家発電で揚水再開
18:30	一次放流(下流)	石巻浄化センター 一次処理放流開始
18:56	報告(下流)	下流域の3ポンプ場、1ポンプ棟 無停電設備ダウンにより水位等の監視不能
19:00	報告(迫)	自家発電運転可能時間 残り22時間
20:00	報告(下流)	石巻浄化センター放流口の河川(旧北上川)水位監視不可
	報告(迫)	迫川流域 6ポンプ場で水位等の監視不可
	報告(東部)	石巻東部浄化センター 1階フロア 腰の高さ程度まで水位低下(津波高さは約6m)(携帯電話で連絡)
22:00	報告(下流)	石巻浄化センター流入渠水位 15m以上の為、計測不可 自家発電運転可能時間 残り25時間
	報告(迫)	自家発電運転可能時間 残り24時間(修正)
	報告(東部)	石巻東部浄化センターと連絡とれず
23:46	報告(迫)	迫川流域の若柳第1ポンプ場でテレメータ故障発生、現地に自家発電・ポンプ運転確認
		迫川流域 7ポンプ場で水位等の監視不可
3月12日		停電(自家発電可)、電話・FAX使用 不可 食料:なし、水:タンクにある分、ペットボトル60L程度
0:00	安否確認(第2報)	安否の確認が出来ない職員数4名(全職員20名)、事務所待機:14名
	報告(下流)	自家発電運転可能時間 残り25時間
	報告(迫)	自家発電運転可能時間 残り22時間
	連絡(登米)	通行止め等の道路状況聞き取り
	連絡(栗原)	通行止め等の道路状況聞き取り
4:07	連絡(東部土木)	東部土木事務所と連絡が取れ、津波で被災している事を知る。
5:50	パトロール(下流・出)	下流域幹線 パトロール開始 事務所職員(3名)、石巻環境サービス(3名)
	パトロール(迫・出)	迫川流域幹線 パトロール開始 事務所職員(3名)、石巻環境サービス(2名)
	パトロール(東部・出)	東部流域 パトロール開始(行ける範囲で) 石巻環境サービス(2名)
6:00	報告(迫)	迫川流域 12ポンプ場で水位等の監視不可(前回報告では6ポンプ場)
6:30	物資依頼(下水道課へ)	下水道課に重油・ポンプ・発電機等物資調達依頼
7:30	物資依頼(回答)	下水道課 災害対策本部より「必ず届けられるものではない」と回答
8:30	パトロール(下流・帰)	途中冠水のため、管路パトロール終了・報告
8:40	物資調達(下流)	重油300Lをタンクへ補充 (下水道課に補充の連絡)
9:40	物資依頼(回答)	下水道課 災害対策本部より「ポンプと自家発電機の調達出来るかはわからない」と回答
9:54	物資調達(下流)	重油4,500Lをタンクへ補充 (下水道課に補充の連絡)
10:00		東部地方振興事務所より避難者到着(地震時は事務所の外にいた職員)
14:10	物資依頼(下水道課へ)	下水道課から危機対策課に重油手配の連絡
14:20	救出依頼(石巻市へ)	石巻市危機対策課に石巻東部浄化センターに避難している人員救出又は物資供給依頼
17:05	パトロール(迫・帰)	下水道の流下機能に支障のある破損等はなし
18:00	物資到着	衛星携帯到着(防災砂防課より)
20:30	パトロール(東部・帰)	東部浄化センターより石巻環境サービス職員戻る 被災状況(津波及びがれき)・避難者(石巻環境サービス14名、避難者6名)等説明
3月13日		停電(自家発電可)、電話・FAX使用 不可 食料:米など少々、水:タンク少ない、ペットボトル40L程度
0:00	安否確認(第3報)	安否の確認が出来ない職員数1名(育休中で気仙沼在住)(全職員20名)、夜間事務所待機:7名
9:00	職員打合せ	昨日の状況確認・報告、出勤職員8名(夜間待機者の8名は帰宅)
9:40	食料調達	食料調達、水調達
9:50	確認(下水道から)	公用車の台数確認(5台中 3台使用可、2台貸出)
12:00	報告(下流)	自家発電運転可能時間 残り6.5時間
	報告(迫)	自家発電運転可能時間 残り3時間
		東部浄化センターより石巻浄化センターに避難(石巻環境サービス職員5名)

月日	項目	内容
12:18	連絡(下水道課へ)	下水道課に自家発電燃料セーブ運転を連絡(東部土木の対策本部となるので電力確保に努める)
14:15	報告(下流)	石巻環境サービスより 石巻浄化センター流入ゲートを全閉したが、隙間から汚水の流入
15:15	物資調達(下流)	重油2,000Lをタンクへ補充(石巻環境サービス調達) 残3,450L
15:30	連絡(下水道課へ)	下水道課に石巻浄化センター・石巻浄化センターの状況を報告
	連絡(迫)	石巻環境サービスより 石巻浄化センター 自家発電燃料 残200L
	指示(迫)	中央システム 立ち下げ・自家発電停止指示
16:00	連絡(下流)	自家発電燃料 残3,450L
20:30	報告(東部)	石巻東部浄化センターの石巻環境サービス職員2名、避難市民6名、処理場に残る その他職員18人は帰宅
22:00		石巻浄化センターの自家発電停止(燃料残1,000L)
0:00		夜間事務所待機7名
3月14日		
8:20		津波の影響で東部地方振興事務所に閉じ込められた職員(200~300人程)、石巻浄化センターに避難予定
10:30	職員会議	昨日の事の情報の共有など
12:35	連絡(下水道課へ)	下水道課に栗原市から申し入れ(復旧等)を伝える
13:35	連絡(栗原市へ)	栗原市上下水道部に迫川流域の処理場・ポンプ場の発電機・自家発電燃料の補給可一部長に確認し、返事をもらうこととする。
14:32	打合せ(栗原市と)	栗原市上下水道部へ打合せに向かう
14:50		登米市に自家発電燃料の確認に行く
15:00		石巻浄化センターに避難している各公所に対策会議を開催する事を伝える
16:48	連絡(下水道課から)	石巻東部浄化センターの被災状況写真が届いたと連絡がある
16:50		東部土木事務所手配の業者が自家発電の燃料投入口を確認する
17:15	物資到着(土曜から)	土木総務課から食料物資が到着(土木・港湾、下水道事務所分)(ご飯30食、レトルトカレー130食)
17:45	連絡(迫)	栗原市に打合せに向かった職員より打合せ内容の連絡 ・自家発電と燃料が必要な2ポンプ場に栗原市が配置する ・1号ポンプ場付近の公共マンホールより汚水が溢れているので、花山浄化センター等に運搬する(栗原市で手配)
18:40		石巻浄化センター自家発電運転(~20:00まで)
19:00		登米市に自家発電燃料の確認から戻り、6,300Lの重油を確認(自家発電に使える種類)
20:15	連絡	16:50に東部土木手配の重油の件で、12,000L確保出来ないとの連絡→再度、手配をお願いした
20:40		栗原市上下水道部との打合せより事務所に戻る
3月15日		
7:35	連絡	・燃料補給について、事務所までの運ぶ車の燃料が無いので運べない(軽産省の紹介で業者が来所) ・東部土木事務所手配の燃料も手配できない(3月14日16:50、20:15)
7:50	連絡(栗原市から)	栗原市より栗駒第3ポンプ場で溢れているので対応をせよと欲しい。対応不可と断る。
8:00	連絡(大崎広水へ)	自家発電の燃料について、3日分の重油(35,000L程度)がある
8:10		・大崎広水へ入れる予定の燃料を8,000Lを石巻浄化センターに補給する事にした。大崎広水へ重油を補給する事を軽産省へ依頼。
8:35	報告(下水道課へ)	下水道課に自家発電燃料8,000L補充と連絡。大崎広水へ補給を災害対策本部へ依頼。企業局にも連絡。
8:45	全体会議(公所)	自家発電は18:30~19:30に運転予定(携帯電話等の充電のため)。全体会議は朝と夕方、1日2回行う。
9:25	連絡(栗原市から)	栗原市より栗駒のポンプ場の燃料を確保した。
9:40	報告(下水道課へ)	栗駒第1ポンプ場運転予定(11:30~)と伝える。自家発電・燃料は栗原市で用意する旨も伝える。
12:50	報告(迫)	志波姫ポンプ場の圧送管より漏水している模様。ラインの切替確認を指定管理者に指示。
14:15		緊急指定業者に連絡するが、燃料が無いため対応出来ない
16:00	全体会議(公所)	石巻浄化センターの商用電力が復電する。下水道課へ連絡。 事務所使用のルールについて。大会議室は土木部、小会議室・フロアは地方振興事務所。
16:30	要望(石巻市より)	石巻市生活環境部長来所。要望:34,000人分の尿尿を受け入れて欲しい。
		回答:当所では受け入れ出来ないとの回答。県下水道課長にも報告。
18:10	報告(下水道課へ)	3流域の現在の状況を説明。
18:25	連絡(下水道課から)	所長より依頼のあった汚泥処分先の状況について 三菱マテリアル(停電の為、操業不可)、ジャパンサイクル(連絡とれず)
18:50	報告(迫)	志波姫ポンプ場バルブを1箇所見つけ、全閉としたが、漏水量変化無し(2ライン切替手前で漏水の模様)
19:30		志波姫ポンプ場の復旧工事を上田建設に依頼(明日の朝に回答をもらう)
20:00	報告(下水道課へ)	下水道課に明日、志波姫ポンプ場復旧工事予定であると伝える
3月16日		
7:40	工事(迫)	志波姫ポンプ場に工事の立会いに出発(~9:30着)
8:40	職員会議	
9:40	報告(下水道課から)	燃料は手配したが、入荷は未定
10:12		石巻浄化センターの自家発電燃料を入荷し、自家発電用として1,900L追加
11:12		パキュム手配の連絡(4t×2台)
12:00		パキュム手配の連絡つかず、下水道課へ手配を依頼 志波姫ポンプ場の復旧等を含めた対応は栗原市で対応してもらえとのこと。
14:00	報告(迫)	栗原市危機管理監督原氏より県下水道課に工事の手配について連絡があった。 志波姫ポンプ場の対応について報告
10:10		志波姫ポンプ場を稼働し、地上部での漏水箇所を確認
10:50		栗原市の手配した業者到着
11:20		漏水位置付近を掘削
13:05		栗原市と確認し、志波姫ポンプ場上流のマンホールを破壊し、マンホールわきの排水路に汚水の放流を開始

11) 東部下水道事務所の対応状況(2/3)

月日	項目	内容
	13:40	放流路へ流した汚水の流下状況を追川に流れることを確認し、支障なし。
		漏水箇所確認の為、掘削範囲を拡大する。原因が判明でき次第、必要な作業・資材を栗原市に伝える事を本日の目標。
	16:00	志波姫ポンプ場の漏水箇所の特定出来る。明日も9時から作業を行う。
19:55	報告(下水道課へ)	下水道から石越浄化センター・志波姫ポンプ場の状況確認の問い合わせがあり、状況を報告。
20:00	報告(追)	指定管理者より石越浄化センター電源復帰し、水処理(生物処理)立ち上げ(19:40)、連絡下水道課に復電を連絡
21:30	報告(下水道課へ)	被害状況の問い合わせがあり報告。石巻東部浄化センターは津波の恐れがあるので未確認。
23:40	報告(追)	指定管理者より石越浄化センターの中央監視システムが立ち上がらない旨の報告。メーカーより復旧依頼済み。
3月17日		
6:45	打合せ(下水道課と)	下水道課にて打合せ(加藤幹樹)。被害額と自家発電等の必要な物の要望伝えるように
7:00	工事(追)	志波姫ポンプ場に向かう
9:00	工事(追)	志波姫ポンプ場復旧の工事は栗原市が手配した業者(サンライズ)で実施する。
10:15	パトロール(東部)	石巻東部浄化センターに現地調査に向かう(職員2名、石環1名) ~13:10
10:50	パトロール(下流)	矢本ポンプ場に現地調査に向かう(職員1名、石環1名)
11:12	報告(追)	志波姫ポンプ場から状況が報告栗原市の手配した業者では管の切断は出来ない。カバージョイント(仙台に在庫有り、手配)で復旧する。
11:15	報告(下水道課へ)	下水道課に下流流域・追川流域の状況を報告
12:20	要望(東松島市)	東松島市下水道課菅原技術副参事、要望のため来所 流域幹線に東松島市内の簡易トイレの物を流せないか(市内にパキュム車10台ある)?
12:37	パトロール(下流)	矢本ポンプ場 被害なし(停電)
12:50	来所(女川町)	女川町建設課高橋課長来所。女川町の被害報告。
12:37	パトロール(下流)	鳴瀬ポンプ場被害有り。水管管が土砂と車で確認出来ない
13:45	職員会議	被害額を算出(16:00まで)
16:05	報告(下水道課へ)	被害額を報告 4,843百万円
16:45	要望(下水道課へ)	下流流域分の自家発電3台の手配を依頼 被害額を修正 4,967百万円
17:05	報告(栗原市へ)	志波姫ポンプ場の復旧方法について栗原市現地担当者へ伝える。その後、栗原市上下水道部へ説明に向かう。
17:35	説明(栗原市へ)	栗原市金成庁舎に到着し、上下水道部次長に復旧方法や今後の対応等を説明するが、理解されず。 栗原市の提案する復旧方法を提案され、事務所へ連絡。明日は栗原市提案の方法で復旧する旨を伝える(~19:20)。
19:15	班長会議	・明日、石巻浄化センターの機器故障の確認にメーカーがくる。津波被害のない幹線のパトロール。
20:00	報告(下水道課へ)	志波姫ポンプ場等、本日の状況を報告。
20:35	報告(下水道課から)	石巻東部浄化センターの処理方法等で明日新聞に掲載される旨の報告
22:00	工事(追)	事務所に戻る
3月18日		
7:55	工事(追)	志波姫ポンプ場に出発
8:20	報告(追)	石越浄化センター中央監視システム(2:20)復旧し、通常運転へ
8:54	物資	土木総務課より軽油ドラム缶10缶分を自衛隊が搬入。土木部内で必要に応じ使用可
9:10	物資	軽油は下水のみで使用
9:20	パトロール(3流域)	3班でパトロール開始(河南幹線、河北桃生幹線、女川管線)
9:20	打合せ(コンサル)	コンサル(日水コン)と打合せ。その後、石巻東部浄化センターの被災状況を確認に向かう。
9:35	工事(追)	志波姫ポンプ場から報告。管のズレから漏れ出す勢いは昨日と変わらず。 栗原市提案の復旧せずに埋戻してポンプを動かす方針をとる(下水道課にも報告)
11:13	報告(下水道課へ)	石巻東部浄化センターの被災状況写真を下水道課に届ける事を地方振興事務所へ依頼
13:40		軽油10缶を搬入
14:05		石巻東部浄化センターの被災状況確認より戻る。
14:22	工事(追)	志波姫ポンプ場より埋戻しが完了したと報告、ポンプ運転試行
14:50	工事(追)	志波姫ポンプ場を運転したが、溢れ出る。
15:00	パトロール	3班がパトロールより戻る。
15:30	職員会議	パトロール状況等の報告
16:15	説明(栗原市から)	栗原市より志波姫ポンプ場の復旧方法について説明を求められる。
16:22	確認(追)	志波姫ポンプ場の確認に土井班長が向かう
17:06	漏水(東部)	石巻市桃生総合支所より桃生第2ポンプ場マンホールから漏水していると通報がある
17:10	確認(東部)	桃生第2ポンプ場の漏水確認に向かう
18:00	打合せ	津波で被災した石巻東部浄化センターのがれき等の撤去について業者と打合せ(フジタ)
	報告(東部)	桃生第2ポンプ場より溢れている事を確認。周辺状況を確認したが、原因の特定には至らず。
18:06	報告(東部)	水道が復旧したか確認。
18:53	報告(追)	志波姫ポンプ場を運転すると、漏水で埋めた砂がなくなる。道路陥没の恐れ
19:45	要望(栗原市)	志波姫ポンプ場の復旧方法を検討し、明日の朝に対応策を示して欲しい。
20:20		東部土木に軽油ドラム缶3本600L貸与
20:35	要望(下水道課から)	志波姫ポンプ場を何とかして欲しいと栗原市から下水道課に要望があった
21:20		志波姫ポンプ場より事務所に戻る
22:35	報告(下水道課へ)	志波姫ポンプ場の復旧方法を当初の事務所の復旧方法(カバージョイントで塞ぐ)で行うと報告し、了解を得る。
22:45	報告(栗原市へ)	栗原市に志波姫ポンプ場の復旧方法を伝え、了解を得る。加えて発電機とポンプの相談をする。
3月19日		
7:30	打合せ(東松島市より)	北上川下流流域の被災状況等の問合せ。

月日	項目	内容
7:35	工事(追)	志波姫ポンプ場に向かう
8:30		発電機2台を調達
9:00	工事(追)	志波姫ポンプ場に到着し、業者と打合せ。発電機はあるが、軽油がない。軽油は当所で準備
9:20	パトロール(3班)	3班でパトロールを実施(石巻幹線、追川右岸幹線、追川左岸幹線)
10:20	報告(追)	志波姫ポンプ場で水位が低下していると報告
11:45		志波姫ポンプ場に軽油ドラム缶1本運搬を依頼・運搬開始(丸本組)
12:00	パトロール(報告)	河北桃生幹線で管路上の道路陥没で損傷が大きいと思われると報告
12:25		北上川下流流域東部流域の石巻第5ポンプ場のポンプの自動運転停止操作の為、事務所を出発
13:20	工事(追)	志波姫ポンプ場近くで破壊したマンホール(3/16 13:05)に排水ポンプを入れ、排水路に排出し、ポンプ場の水位を下げる
13:33	連絡(栗原市から)	栗原市下水道課佐々木課長より、志波姫ポンプ場の管工種業者として業者(サンライズ)を手配し、現地に向かうよう指示した
14:25	連絡(栗原市から)	掘削は県(上田建設)で行って下さい。掘削業者の手配が出来ない。カバージョイントの業者の手配は佐々木課長が責任をもつ。
14:40	工事(上田建設より)	工事するバックホウが無いので、今現場にあるバックホウ(サンライズ)の物を使用して良いか?了解を得た。
15:00	打合せ(ガレキ)	石巻東部浄化センターのガレキ等撤去について
15:45	連絡(中南部)	中南部下水道事務所と下水道公社は仙台土木に避難していると連絡
3月20日		
9:20	報告(下水道課へ)	ポンプ場の被災・稼働状況等を報告
10:30	要請(東松島市)	矢本ポンプ場の稼働時間延長の要請
16:30	工事(追)	志波姫ポンプ場圧送管漏水復旧工事完了
3月21日		
9:00		石巻広域水道企業団に河北・桃生エリアの水道復旧状況について聞き取り
11:00	協議(石巻市と)	河北桃生幹線の石巻第2ポンプ場場内に仮沈澱池を作成し、真野川に放流を協議・了承を得る
13:00	協議(保健事務所と)	真野川放流について東部保健事務所長と協議し、了承を得る
14:20	協議(土地改良区と)	土地改良区理事長・事務局長 真野川に未処理の汚水の放流は認められない(4/20へ)
15:30	協議(東部土木と)	真野川放流について東部土木事務所長と協議し、了承を得る
16:00	報告(下水道課へ)	河北桃生幹線の石巻第2ポンプ場場内に仮沈澱池を作成し、真野川放流について報告
3月22日		
9:00	協議(土地改良区と)	所長が土地改良区総会に出席し、真野川放流については認められない
17:30	報告(下水道課へ)	下水道課に災害調査費・復旧費について報告
3月23日		
9:00	工事	石巻第2ポンプ場場内敷地内に一次放流用の仮沈澱池作成工事着手(3月26日まで)
12:05	報告(東部)	石巻市福井地区の公共マンホールから汚水が溢れていると報告。パキュムで対応
13:30	来所	橋本部長が来所。東部浄化センターの被災状況視察
15:00	復電	女川第1ポンプ場・女川第2ポンプ場・女川第4ポンプ場
16:00		石巻浄化センター 最終沈澱池(機械設備)故障復旧工事完了
		石巻浄化センター 水処理 一部運転再開
3月24日		
8:00		発電機 5台届く
8:55	依頼(下水道課に)	石巻第2ポンプ場から旧北上川に汚水放流について 北上川下流河川事務所と放流の協議実施を下水道課に依頼
9:00	ガレキ撤去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場ガレキ撤去開始(石巻東部:8月末、石巻第6ポンプ場:6月末ガレキ撤去等完了)
9:13	依頼(下水道課に)	県河川課長から東北地方整備局河川環境課長に旧北上川の汚水の放流について協議実施の依頼
9:57	報告(下水道課から)	県と整備局で協議してもらうこととした。
10:15		桃生第1ポンプ場で溢れている。パキュム対応
10:25	協議(河川事務所と)	当事務所と北上川下流河川事務所と協議し、旧北上川への汚水放流について了承を得る
11:05	連絡(下水道課から)	現在工事中の工事中止命令は下水道課で手続きを行う
11:10	連絡(下水道課から)	武井下水道課課長から 石巻東部浄化センターの電力について 東北電力より当事務所に連絡する予定
13:40	報告(下水道課から)	整備局との協議について 旧北上川への汚水放流について了承を得る
14:00	打合せ(女川町)	女川町阿部係長来所し、被災状況など報告
15:15	打合せ(石巻市)	石巻市下水道課来所し、被災状況等について打合せ
16:50	苦情(下流)	石巻浄化センター周辺住民より悪臭がする苦情
16:50	報告(環境サービス)	桃生第1ポンプ場～石巻第2ポンプ場間はポンプ運転の結果異常はなし
17:40	報告(下水道課から)	石巻東部浄化センターの復電は時間がかかる。電源車要請
4月1日		
	パトロール	女川管線・河北桃生幹線・矢本鳴瀬幹線でパトロールを実施
	災害査定準備	
	ガレキ除去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業 東部浄化センターから放流中 石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
4月2日		
	ガレキ除去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業 東部浄化センターから放流中 石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
4月2日		
		東部浄化センターから放流中 石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
4月4日	パトロール	女川管線・河北桃生幹線・矢本鳴瀬幹線でパトロールを実施
	ガレキ除去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業 東部浄化センターから放流中 石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中 鳴瀬ポンプ場ガレキ撤去完了
4月5日	調査	石巻市内新築地区 不明水調査

11) 東部下水道事務所の対応状況(3/3)

月日	項目	内容
	ガレキ除去	鳴瀬ポンプ場 ガレキ除去進捗状況確認
		石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業
		東部浄化センターから放流中
		石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
4月6日	ハトロール	鳴瀬ポンプ場・石巻浄化センター及び中継ポンプ場の被災確認
	ガレキ除去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業
		東部浄化センターから放流中
		石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
4月7日	ハトロール	矢本鳴瀬幹線・女川管線及び女川ポンプ場の被災確認
	ガレキ除去	石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業
		東部浄化センターから放流中
		石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
23:32	地震発生	石巻・石巻浄化センター 停電により水処理停止。ポンプ場も停電。
4月8日	ハトロール	女川ポンプ場の被災確認
	ガレキ除去	矢本鳴瀬幹線及び女川管線の地震被害の調査
		石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業
		東部浄化センターから放流中
		石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
		石巻第2ポンプ場仮沈澱池より旧北上川へ放流継続中
		国交省下水道事業管理課 新宮課長補佐ら来所し、石巻東部浄化センター被災状況視察
9:00	下流	石巻浄化センター 復電し、水処理開始
20:00	追	石巻浄化センター 復電し、水処理開始
4月9日		石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場でガレキ除去作業
		東部浄化センターから放流中
		石巻第6ポンプ場 仮設ポンプ稼働中
		石巻第2ポンプ場仮沈澱池より旧北上川へ放流継続中
4月13日		県下水道課主催の下水道施設災害査定説明会開催
4月28日		石巻東部浄化センター復旧方針発表
6月13日	災害査定	災害査定2次査定
6月17日		追川流域 3件 申請額 107,040千円 決定額 83,671千円 決定率 78.17%
		2次査定 3件 申請額 107,040千円 決定額 83,671千円 決定率 78.17%
6月24日	ガレキ撤去	石巻第6ポンプ場 ガレキ撤去等完了
7月11日	復旧(東部)	石巻東部浄化センター 主ポンプ復旧完了
7月11日	災害査定	災害査定4次査定
7月15日		北上川下流流域 1件 申請額 1,566千円 決定額 1,566千円
		北上川下流東部流域 1件 申請額 14,166千円 決定額 14,166千円
		4次査定 2件 申請額 15,732千円 決定額 15,732千円 決定額 100%
7月13日		仮沈澱池(石巻第2ポンプ場)から旧北上川への一次処理放流終了(3月26日放流開始)
7月28日	東部	石巻第6ポンプ場 本設ポンプ稼働(北上川下流東部流域は石巻東部浄化センターへ全量送水となる)
8月7日	現場見学	東京大学 社会基盤学科 石巻東部浄化センター 38名
8月22日	災害査定	災害査定6次査定
8月26日		北上川下流流域 1件 申請額 50,874千円 決定額 50,874千円
		北上川下流東部流域 4件 申請額 602,692千円 決定額 652,160千円
		6次査定 5件 申請額 653,539千円 決定額 652,160千円 決定額 99.79%
8月30日	ガレキ撤去	石巻東部浄化センター ガレキ撤去等完了
9月5日	災害査定	災害査定7次査定
9月9日		北上川下流流域 3件 申請額 85,623千円 決定額 84,802千円
		北上川下流東部流域 5件 申請額 535,503千円 決定額 535,503千円
		7次査定 8件 申請額 621,126千円 決定額 620,305千円 決定額 99.87%
9月5日	災害査定	災害査定7次査定
9月9日		北上川下流流域 3件 申請額 85,623千円 決定額 84,802千円
		北上川下流東部流域 5件 申請額 535,503千円 決定額 535,503千円
		7次査定 8件 申請額 621,126千円 決定額 620,305千円 決定額 99.87%
9月20日		台風15号
11:35	大雨警報	西部栗原 登米・東部栗原 大雨警報 配備
17:35	大雨警報	石巻地区 大雨警報 配備
9月21日		
4:16	停電(追)	石巻浄化センター 停電発生・自家発電作動(4:27復電)
4:35	停電(追)	石巻浄化センター 停電発生・自家発電作動(4:47復電)
5:10	東部	石巻東部浄化センター流入渠水位5m(異常高水位警報HH=6m)。
6:20		石巻第2ポンプ停止。石巻第2ポンプ場内仮沈澱池より旧北上川に一次処理放流開始。
6:40	東部	石巻東部浄化センター流入渠水位6.78m(異常高水位警報HH=6m)を超える。
8:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位3.94m(高水位警報H=12m)
9:20	下流	石巻浄化センター 反応タンク3・4槽に高分子凝集剤を投入
15:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位4.5m(高水位警報H=12m)
15:40	下流	石巻浄化センター放流先の旧北上川河川水位が1.7mを超えた為、放流ポンプ運転開始
18:05	下流	矢本ポンプ場 流入渠水位2.46m(異常高水位警報HH=2.05m)
	東部	石巻第1ポンプ場 流入渠水位3.6m(HH=2.7m)
18:45	避難勧告	石巻市より旧北上川下流・稲井地区 2,373世帯に避難勧告発令
19:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位6.3m(高水位警報H=12m)
20:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位8.1m(高水位警報H=12m)
		石巻第1ポンプ場・石巻第2ポンプ場のポンプ2台同時運転を開始(発電機使用)

月日	項目	内容
21:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位14m(異常高水位警報HH=13.8m)
9月22日		
0:15	下流	石巻浄化センター流入渠水位14.5m(異常高水位警報HH=13.8m)
8:30	下流	石巻幹線のマンホール鍵穴より漏水を確認
	東部	石巻東部浄化センター 地下管廊で5cm程度の浸水確認。ポンプで排水。
9:00	下流	旧北上川河川水位2.07m(2.5m)
	東部	桃生第1ポンプ場 ポンプ場水位9.28m(異常高水位警報HH=4.25m)
9:40	東松島市	東松島市より矢本ポンプ場より定川に排水を依頼される。
9:53	石巻市	石巻市より汚水の受け入れの依頼をされる。
10:04	下流	矢本ポンプ場より仮設ポンプを設置し、マンホールより定川に排水を始める。
9月23日		
6:30	追	追川流域 警報配備解除
12:15	下流・東部	石巻地域 警報配備解除
16:00	東部	石巻東部浄化センター 流入渠水位5.01m
16:30	東部	石巻第2ポンプ場 一次処理放流終了
19:00	東部	石巻東部浄化センター 流入渠水位4.51m(HH=6m)
	下流	石巻浄化センター流入渠水位13.26m(HH=13.8m)
21:30	下流	石巻浄化センター流入渠水位13.20m(HH=13.8m)
9月24日		
0:00	下流	石巻浄化センター流入渠水位13.00m(HH=13.8m)
	東部	石巻東部浄化センター 流入渠水位2.95m(HH=6m)
3:10	下流	石巻浄化センター 旧北上川河川水位1.5mに低下 放流ポンプ停止
9月27日	不具合(東部)	女川第1ポンプ場 ポンプ揚水の不具合が確認される(11月14日復旧)
		女川管線管渠が海水等により満水状態を確認作業が困難
9月26日	災害査定	災害査定9次査定
9月30日		北上川下流東部流域 7件 申請額 2,598,999千円 決定額 2,598,999千円
		8次査定 7件 申請額 2,598,999千円 決定額 2,598,999千円 決定額 100%
10月11日	災害査定	災害査定9次査定
10月14日		北上川下流東部流域 1件 申請額256,413千円 決定額 256,413千円
		9次査定 1件 申請額 256,413千円 決定額 256,413千円 決定額 100%
10月11日	災害査定	災害査定9次査定
10月14日		北上川下流東部流域 1件 申請額256,413千円 決定額 256,413千円
		9次査定 1件 申請額 256,413千円 決定額 256,413千円 決定額 100%
10月24日	災害査定	災害査定10次査定
10月28日		北上川下流東部流域 4件 申請額 889,842千円 決定額 889,842千円
		10次査定 4件 申請額 889,842千円 決定額 889,842千円 決定額 100%
11月1日	現場見学会	古川工業高校 土木情報科 1~3学年 118名
		石巻東部浄化センター
11月17日	現場見学会	黒川高校 環境技術科・土木課 1~3学年 111名
		石巻東部浄化センター
12月5日	災害査定	災害査定12次査定
12月9日		追川流域 1件 申請額 194,442千円 決定額 194,442千円
		北上川下流東部流域 1件 申請額 411,505千円 決定額 410,981千円
		12次査定 2件 申請額 605,947千円 決定額 605,423千円 決定額 99.91%
12月5日	災害査定	災害査定12次査定
12月9日		追川流域 1件 申請額 194,442千円 決定額 194,442千円
		北上川下流東部流域 1件 申請額 411,505千円 決定額 410,981千円
		12次査定 2件 申請額 605,947千円 決定額 605,423千円 決定額 99.91%
12月19日	災害査定	災害査定13次査定
12月22日		追川流域 1件 申請額 275,498千円 決定額 275,498千円
		北上川下流東部流域 1件 申請額 56,175千円 決定額 56,175千円
		13次査定 2件 申請額 331,673千円 決定額 331,673千円 決定額 100%
平成24年		
1月10日	東部	石巻東部浄化センター 1系列最初沈澱池 復旧 使用開始

1 1) 東部下水道事務所の対応状況 (写真)

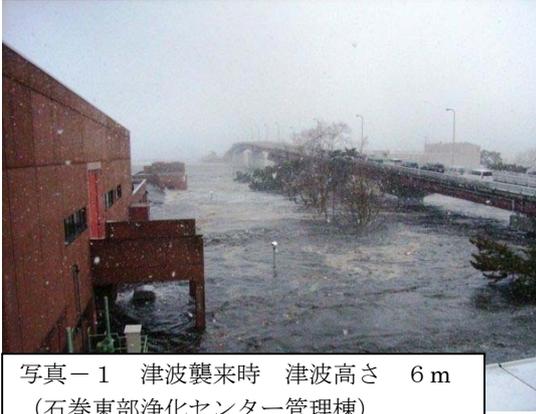


写真-1 津波襲来時 津波高さ 6m  
(石巻東部浄化センター管理棟)



写真-2 石巻東部浄化センター汚泥濃縮槽 津波襲来中



写真-3 石巻東部浄化センター  
最終沈澱池 ガレキ等除去



写真-4 東部浄化センター  
放流管 被災状況

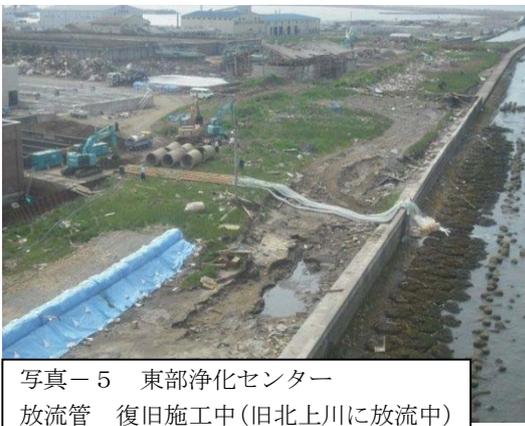


写真-5 東部浄化センター  
放流管 復旧施工中(旧北上川に放流中)



写真-6 鳴瀬ポンプ場(鳴瀬川右岸側)  
浸水状況



写真-7 石巻第2ポンプ場仮沈澱池作成  
旧北上川へ放流



写真-8 古川工業高校  
石巻東部浄化センター見学会様子

1 2) 仙台地方ダム総合事務所の対応状況

月日	項目	内容	月日	項目	内容
平成23年			3月15日～	ダム再点検	各ダムの施設点検及びデータ保存作業、自家発電機の燃料状況確認
3月11日			3月16日	商用電源復電	ダム総合事務所及び各ダム管理事務所が随時復電
14:46	地震発生	三陸沖(牡鹿半島の東南東 約130km付近)深さ10km(速報値)	3月22日～	警報局等点検	白沢水位観測所上部の河岸崩落と施設の被災を確認
14:50	BCP	土木部BCPIに基づき安否確認、庁舎確認を実施 出張中の1名(15:20帰庁)を除き無事を確認	3月22日	櫛水ダム水位低下	櫛水ダムの堤体変位のため2mの水位低下を4日間で実施
15:00	庁舎被害等	総合事務所の状況:2階会議室及び更衣室の天井の破損や一部落下と執務室の一部の窓、壁の破損を確認 庁舎への進入路等:駐車場の一部に沈下、亀裂が見られたが、使用可能 管理設備の状況:異常なし 停電:自家発電稼働中 防災無線:使用可 電話、FAX:不可	3月31日	警報所点検	櫛水ダム寺野警報局被災状況確認
15:10	各ダムに職員出発	大倉ダム1名、櫛水ダム3名、南川ダム3名、七北田ダム2名、惣の関ダムに3名が出発	4月7日		
16:00		宮床ダムに2名が出発	23:32	地震発生	宮城県沖地震(対象観測所の最大震度6弱)各ダム一次・二次地震点検を実施し異常なしを確認・報告
16:00～	各ダムの情報収集	各ダムから点検報告を受信し、必要な調査・対応を指示(継続して自家発電機等の燃油の確保にあたる)	4月13日	警報局仮復旧	櫛水ダム寺野警報局仮復旧着工
3月11日～12日における各ダムの状況			4月26日	鞍部ダム堤体観測	堤体観測終了
櫛水ダム	(名取市増田 震度6強)		5月24日	災害査定	国土交通省災害査定
18:05	管理事務所に着		5月31日		櫛水ダム寺野警報局仮復旧完了
18:05	事務所の被害等	管理事務所の状況:異常なし 停電:自家発電稼働中	8月22日	災害査定	厚生労働省災害査定
18:05	ダムの点検・報告	一次点検開始	8月30日	視察	宮崎県河川課災害現場等視察(各ダム)
18:20		一次点検報告:異常なし	8月31日	視察	独立行政法人土木研究所災害現場等視察(南川鞍部ダム、櫛水ダム)
20:25		一次点検報告:漏水量の増加を報告	9月14日	南川ダム災害復旧準備	かんがい期終了に伴い、南川災害復旧工事のための水位低下を開始
23:20		一次点検報告:漏水量が横ばいへ推移したことを報告	9月29日	視察	財団法人ダム協会災害現場視察(南川鞍部ダム)
3月12日			11月10日	ダム災害本復旧	七北田ダム災害本復旧着手
6:30	ダムの点検・報告	二次点検を開始	11月16日	ダム災害本復旧	南川鞍部ダム災害本復旧着手
7:30		二次点検報告:漏水量の毎時測定した結果報告	平成24年		
13:50		ダム本体の沈下量、変位量の委託業者による測定完了	1月26日	ダム災害本復旧	白沢水位観測所及び寺野警報局災害本復旧着手
14:00		二次点検報告:沈下量、変位量、ダム機能は異常なし及び寺野警報所が津波による浸水を報告	1月31日	ダム災害本復旧	七北田ダム災害本復旧完了
大倉ダム	(青葉区大倉 震度6弱)				
14:50	BCP	土木部BCPIに基づき安否確認、庁舎確認を実施			
15:00	庁舎被害等	管理事務所の状況:異常なし 停電:自家発電稼働中 上水及びガスは使用可能			
15:00	ダムの点検・報告	一次点検を開始			
16:10		一次点検報告:漏水の停止を報告			
17:05	管理事務所に着	ダム総合事務所から職員が到着し4名体制となる			
3月12日					
7:30	ダムの点検・報告	二次点検開始			
14:38		二次点検報告:白沢水位観測所法面崩落により使用不能 漏水量が過去最大となり経過観察する旨を報告			
七北田ダム	(大衡村 震度6強)				
16:30	管理事務所に着				
	事務所の被害等	管理事務所の状況の確認開始 停電:自家発電稼働中			
17:05	ダムの点検・報告	一次点検開始			
18:19		一次点検報告:ダム天端舗装のクラック 漏水量が地震後増加、その後減少したことを報告			
18:28	事務所の被害等	管理事務所の被害報告:外壁のひび割れ 周辺道路に崩壊ありを報告			
3月12日					
7:00	ダムの点検・報告	二次点検開始			
14:22		二次点検報告:漏水量の経過観察 天端クラックの状況及びダム変位量測定結果を報告			
南川ダム	(大衡村 震度6強)				
15:50	管理事務所に着				
15:50	事務所の被害等	管理事務所の状況:異常なし 停電:自家発電稼働中 防災無線:使用可 上水:使用可			
16:00	ダムの点検・報告	一次点検開始			
17:53		一次点検報告:鞍部ダム取水ゲート異常 鞍部ダム舗装のクラック 南川ダムの警報装置等の異常を報告			
		二次点検開始 委託業者が堤体観測を開始			
22:50		漏水量、にこりの状況を報告 以後正時計測し翌日6:30まで定時報告			
3月12日					
9:12	ダムの点検・報告	二次点検報告:鞍部ダム漏水量増加要監視 ダム周辺道路状況を報告			
13:10	ダムの点検・報告	二次点検報告:鞍部ダム変位量及びクラック状況を報告			
宮床ダム	(大衡村 震度6強)				
15:58	管理事務所に着				
16:00	事務所の被害等	管理事務所の状況:異常なし 停電:自家発電稼働中 防災無線:使用可 上水:使用可			
16:00	ダムの点検・報告	一次点検開始			
18:58		一次点検報告:ダム湖法面の小規模崩落を報告			
3月12日					
7:00	ダムの点検・報告	二次点検開始			
12:55	"	二次点検報告:漏水量が増加・安定し継続観測 下流公園道路のクラック及びダム機能に異常ない旨を報告			
惣の関ダム	(利府町 震度6弱)				
16:45	管理事務所に着				
16:45	ダムの点検・報告	一次点検開始			
17:28	事務所の被害等	管理事務所の状況報告:異常なし 停電:自家発電稼働中 防災無線:使用可 上水:使用可			
18:02	ダムの点検・報告	一次点検報告:ITVの異常を報告			
3月12日					
6:00	燃料の確保	自家発電用の軽油が搬送される			
7:00	ダムの点検・報告	二次点検開始			
13:51		二次点検報告:堤体パラベットの目地の亀裂 遠路及び周辺道路の亀裂 ダム機能に異常ない旨を報告			

1 2) 仙台地方ダム総合事務所の対応状況(写真)



写真-1 寺野警報局応急対応状況



写真-2 寺野警報局応急対応完了



写真-3 七北田ダム被災状況



写真-4 七北田ダム本復旧工事完了の状況



写真-5 白沢水位観測所被災状況



写真-6 南川鞍部ダム被災状況

13) 大崎地方ダム総合事務所の対応状況

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	宮城県中部、宮城県北部等に緊急地震速報を発表
14:48		震度速報発表(最大震度7)、岩手県、宮城県、福島県に津波警報(大津波)を発表
15:00	BCP	土木部業務継続計画(BCP)に基づき安否確認、庁舎確認を実施
	非常配備	総合事務所在勤職員8名、各担当ダムへ出動
15:05	臨時点検第1報	漆沢ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度62gal
	BCP	漆沢ダム管理事務所BCP:庁舎使用可、停電(発電機対応)、上水道使用可、NTT回線輻輳、防災無線使用可
15:47	臨時点検第1報	ニツ石ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度76gal
	BCP	ニツ石ダム管理事務所BCP:庁舎使用可、停電(発電機対応)、上水道使用可、NTT回線輻輳、防災無線無し
15:50	臨時点検第1報	化女沼ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度269gal
	BCP	化女沼ダム管理事務所BCP:庁舎使用可、停電(発電機対応)、上水道使用可、NTT回線輻輳、防災無線使用可
16:00	臨時点検第1報	上大沢ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度133gal
	BCP	上大沢ダム管理事務所BCP:庁舎使用可、停電(発電機対応)、上水道使用可、NTT回線輻輳、防災無線使用可
16:40	臨時点検第1報	岩堂沢ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度63gal
	BCP	岩堂沢ダム管理事務所BCP:庁舎使用可、停電(発電機対応)、上水道使用可、NTT回線輻輳、防災無線無し
16:51	BCP第1報	安否の確認ができない職員数:1名 総合事務所:庁舎使用可(一部書棚転倒、発電気室内吸音材落下)、停電(発電機対応)、上水道使用不可、 NTT回線輻輳、防災無線使用可
16:10	1次点検	漆沢ダム地震時臨時点検1次点検報告:異常なし
16:58	1次点検	岩堂沢ダム地震時臨時点検1次点検報告:異常なし
17:30	1次点検	化女沼ダム地震時臨時点検1次点検報告:ダム天端舗装クラック有り、漏水量増(継続監視)、管理事務所冷暖房設備故障
17:43	1次点検	上大沢ダム地震時臨時点検1次点検報告:管理用トンネル及びバルブ室浸水を確認
17:46	1次点検	ニツ石ダム地震時臨時点検1次点検報告:異常なし
17:50	BCP第2報	安否の確認ができない職員数:1名
18:40	応急対応	上大沢ダム、仮設ポンプにてバルブ室排水開始
18:57	BCP第3報	全職員19名の安否を確認(18:54 職員1名帰所)
20:10	BCP第4報	職員全員で配備継続(19:40 総合事務所上水道復旧) (当所職員:総合事務所7名、漆沢ダム6名、化女沼ダム2名、上大沢ダム2名、岩堂沢ダム1名、ニツ石ダム1名) (北部地振職員:岩堂沢ダム1名、ニツ石ダム1名、管理補助業者:上大沢ダム2名、岩堂沢ダム2名、ニツ石ダム2名)
3月12日		
0:10	応急対応	上大沢ダム、仮設ポンプ追加一写真
8:45	応急対応	上大沢ダム、利水放流主バルブ全開操作
10:00	支援協議	(社)宮城県建設業協会大崎支部と支援体制について協議
11:00	2次点検	岩堂沢ダム地震時臨時点検2次点検報告:異常なし
12:43	2次点検	上大沢ダム地震時臨時点検2次点検報告(堤体観測除く):バルブ室排水中
14:15	2次点検	ニツ石ダム地震時臨時点検2次点検報告:異常なし
15:10	2次点検	化女沼ダム地震時臨時点検2次点検報告:漏水量減少(継続観測)
16:39	2次点検	漆沢ダム地震時臨時点検2次点検報告:異常なし
3月13日		
7:50	応急対応	上大沢ダム、取水塔制水ゲート閉鎖作業開始
8:17	応急対応	上大沢ダム、取水塔制水ゲート閉鎖作業終了
8:24	余震	宮城県沖・マグニチュード6.2 登米市迫町 震度5弱、大崎市古川 震度4、色麻町 震度3
8:59	臨時点検第1報	化女沼ダム地震時臨時点検第1報:基礎最大加速度22gal
11:08	1次点検	化女沼ダム地震時臨時点検1次点検報告:異常なし
12:43	2次点検	上大沢ダム地震時臨時点検2次点検報告(堤体観測):バルブ室排水中
20:00	応急対応	上大沢ダム、バルブ室内排水完了確認、ポンプ運転終了
3月14日		
9:00	資材調達	総合事務所、自家発電機軽油250リットル給油
10:00	資材調達	化女沼ダム、自家発電機軽油220リットル給油
14:30	電力	岩堂沢ダム、商用電力復電
16:00	電力	上大沢ダム、商用電力復電
16:00	河川被災	長者川護岸クラック及び法崩を確認
3月15日		
9:00	資材調達	化女沼ダム、自家発電機軽油170リットル上大沢ダムから補給
18:00	電力	漆沢ダム、ニツ石ダム、商用電力復電

月日	項目	内容
3月16日		
1:00	電力	総合事務所、商用電力復電
13:00	資材調達	化女沼ダム、自家発電機軽油100リットル給油
14:00	資材調達	ニツ石ダム、自家発電機軽油100リットル給油
17:15	警戒配備	総合事務所・各ダム管理事務所配備から総合事務所配備に移行(休日・夜間職員2名総合事務所配備)
21:00	電力	化女沼ダム、商用電力復電
	ダム施設被災	化女沼ダム管理設備(データ表示装置、地震計)故障を確認
3月17日		
0:40	資材調達	総合事務所、自家発電機軽油300リットル給油
	他事務所支援	災害調査支援:東部土木事務所登米地域事務所へ2名派遣(〜3/18)
3月22日	他事務所支援	北部土木事務所災害現場調査(水門関係)に2名同行一写真
3月24日	ダム施設応急復旧	化女沼ダムデータ表示装置災害復旧工事着手、化女沼ダム地震計災害復旧工事着手
3月29日	災害調査	長者川災害測量調査業務着手
3月31日	災害調査	上大沢ダム管理用トンネル災害調査業務着手
4月1日	警戒配備解除	休日・夜間出勤解除
4月5日	災害調査	営繕課・設備室による建築物等被害状況現地調査(総合事務所発電機室、化女沼ダム管理事務所)
4月7日	余震(23:32)	宮城県沖・マグニチュード7.2 栗原市築館 震度6強、大崎市古川 震度6弱、色麻町 震度5強、大崎市鳴子 震度5弱
4月8日	臨時点検第1報	漆沢ダム:基礎最大57gal、化女沼ダム:197gal、上大沢ダム:82gal、岩堂沢ダム:48gal、ニツ石ダム:70gal
	1次点検	漆沢ダム、化女沼ダム、上大沢ダム、岩堂沢ダム、ニツ石ダム
	2次点検	漆沢ダム、化女沼ダム:天馬舗装クラック増大、上大沢ダム、岩堂沢ダム、ニツ石ダム
4月10日	現地調査	独立行政法人土木研究所による化女沼ダム現地調査
4月11日	他事務所支援	土木部災害対策支援:東部土木事務所登米地域事務所へ2名業務(〜6/30)
4月11日	余震(17:16)	福島県浜通り・マグニチュード7.0 岩沼市 震度6強、大崎市古川・大崎市鳴子・加美町小野田・色麻町 震度4
	臨時点検第1報	漆沢ダム:基礎最大11gal、化女沼ダム:-16gal、上大沢ダム:18gal、岩堂沢ダム:7gal、ニツ石ダム:10gal
	1次点検	漆沢ダム、化女沼ダム、上大沢ダム、岩堂沢ダム、ニツ石ダム
4月12日	2次点検	上大沢ダム
4月12日	他事務所支援	土木部災害対策支援:中南部下水道事務所へ2名業務(〜6/30)
4月25日	現地調査	一般社団法人ダム工学会による化女沼ダム現地調査
5月3日	被災市町支援	被災市町人的支援1名派遣(亶理町避難所:〜5/6)
5月11日	費用負担協議	上大沢ダム災害復旧について大崎市水道部と協議
5月17日	災害査定	公共土木施設第二次査定(長者川3件)
6月7日	ダム施設応急復旧	化女沼ダムデータ表示装置災害復旧工事完成、化女沼ダム地震計災害復旧工事完成一写真
6月10日	施設復旧	化女沼ダム管理事務所冷暖房設備改修工事着手(設備課)
6月13日	災害査定	公共土木施設第六次査定(上大沢ダム1件)
8月15日	被災市町支援	被災市町人的支援1名派遣(山元町:〜8/17)
8月18日	被災市町支援	被災市町人的支援1名派遣(山元町:〜8/19)
9月1日	災害復旧	長者川河川災害復旧工事着手
9月20日	施設復旧	化女沼ダム管理事務所冷暖房設備改修工事完成(設備課)一写真
9月27日	災害復旧	上大沢ダム災害復旧工事着手
12月20日	災害復旧	上大沢ダム試験通水実施、利水放流再開一写真
平成24年		
1月10日	災害復旧	上大沢ダム災害復旧工事完成
1月31日	施設復旧	大崎地方ダム総合事務所修繕工事着手
2月2日	災害復旧	長者川災害復旧工事完成(化女沼ダム導水路部)

1 3) 大崎地方ダム総合事務所の対応状況



写真-1 上大沢ダム応急対応の状況  
バルブ室浸水、仮設ポンプ投入・



写真-2 北部土木事務所支援  
災害現場調査（水門）の状況



写真-3 化女沼ダムデータ表示装置  
の復旧状況



写真-4 化女沼ダム管理事務所  
冷暖房設備の復旧状況



写真-5 上大沢ダム試験通水  
取水塔制水ゲート全開操作

14) 栗原地方ダム総合事務所の対応状況(1/2)

月日	項目	内容
平成23年		
3月11日		
14:46	地震発生	三陸沖(北緯38度06分、東経142度51分)、深さ24km、マグニチュード9.0 震度:栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強を観測したほか、北海道から九州にかけて震度6弱~1を観測した 三陸沿岸に津波警報(大津波)が発令
14:48	自家発電機稼働	停電により花山、荒砥、小田ダムの自家発電機が稼働した 花山ダムの燃料(軽油):13日夕方まで 小田ダムの燃料(軽油):13日夕方まで 荒砥沢ダムの燃料(軽油):12日夕方まで
15:30	安否確認(第1報)	安否の確認できない職員2名
15:35	小田ダム(第1報)	震度発表対象地点:大崎市鳴子 震度5強、栗原市花山 震度5強、栗原市一迫 震度6強 (最大加速度) 基礎:ダム軸(X)-84、上下流(Y)-105、鉛直(Z)+97 天端:ダム軸(X)-144、上下流(Y)+170、鉛直(Z)+157 (目視による状況) ダム進入路:異常なし、ダム周辺状況:異常なし ダムまでの市道:法面より一部落石あり
16:05	花山ダム(第1報)	震度発表対象地点:栗原市花山 震度5強、栗原市鶯沢 震度5強、栗原市一迫 震度6強 (最大加速度) 基礎:上下流(X)110、ダム軸(Y)102、鉛直(Z)80 天端:上下流(X)535、ダム軸(Y)270、鉛直(Z)142 (目視による状況) 堤体:異常なし、取水設備:異常なし 放流設備:分岐放流バルブ異常(利水放流量ゼロ)
16:19	荒砥沢ダム(第1報)	震度発表対象地点:栗原市栗駒 震度6弱、栗原市鶯沢 震度5強、栗原市花山 震度5強 (最大加速度) 基礎:ダム軸(X)84、上下流(Y)102、鉛直(Z)65 天端:ダム軸(X)332、上下流(Y)290、鉛直(Z)219 (目視による状況)ダム施設等に異常なし
16:40	安否確認(第2報)	登庁不可人数 3名、安否の確認できない人数 1名
17:42	地震時臨時点検報告	(記事) (一次)花山ダム ダム、周辺地山取付部、放流設備異常なし 漏水量地震後変化なし、自家発電により電源供給 分岐放流バルブ手動により開ける(60%、3.7m <sup>3</sup> /s) 堤体点検結果異常なし
18:16	地震時臨時点検報告	(記事) (一次)小田ダム ダム、周辺地山取付部、放流設備、通信設備異常なし 漏水量は地震発生前より約30L/m増加している 漏水量、濁度については監視を継続する 堤体変位測量作業中、取水塔管理橋照明ランプ破損 周辺道路(市道)小田大橋ジョイント部段差
18:40	地震時臨時点検報告	(記事) (一次)荒砥沢ダム ダム、周辺地山取付部異常なし ダムコン故障、監査廊照明故障、ITVカメラモニタ故障、濁度計故障 左岸地すべり、貯水池内、取水塔、堤体は目視による点検結果異常なし 漏水量上昇中、濁りあり 右岸林道落雪により通行止め(約50m)
23:50	安否確認	職員全員の安否を確認
3月12日	土砂災害警戒情報基準	土砂災害発生危険基準雨量を通常基準の6割で運用(栗原市他)
7:25	荒砥沢ダム一次点検	下流パトロール終了
8:10	庁舎被害報告(花山)	庁舎外観一部破損(クラック)、発電機対応中(約70時間対応可能)、NTT回線使用不能、職員ポータル使用不能
8:43	庁舎被害報告(小田)	発電機対応中(約24時間対応可能)、NTT回線使用不能、職員ポータル使用不能、MIRAI使用不能
9:50	庁舎被害報告(荒砥沢)	発電機対応中(約9時間対応可能)、NTT回線使用不能、職員ポータル使用不能、MIRAI使用不能、上水道使用不能
10:05	地震時臨時点検報告	(記事) (二次)荒砥沢ダム ダム、周辺地山取付部、放流設備異常なし 漏水量漏水濁度データ、堤体変位データ別添、右岸林道落雪により通行止め 左岸地すべり、貯水池内、取水塔、監査廊、流調室、堤体は目視による点検結果異常なし 下流警報局点検結果異常なし(停電のためバッテリーで運用) 機器(ダムコン、監査廊照明、ITVカメラモニタ、濁度計)故障復旧 漏水量の合計は280~290L/minで横ばい状態である 漏水濁度は減少傾向にある(無色透明) 堤体変位は前回よりFD-4は-9mm、FD-5は-12mm、FD-6は-9mm変化した。 (記事) (二次)花山ダム ダム、周辺地山取付部、放流設備異常なし

月日	項目	内容
		漏水量は一次点検後変化なし、自家発電による電源供給継続中、分岐放流バルブ(60%、3.7m <sup>3</sup> /s)で継続放流中
		下流警報所停電以外異常なし、上流水位観測所は停電のためバッテリーで観測中
		漏水量の変化なし(濁りなし)、ダム上流の山地の崩壊等なし、堤体変位は前回(3/8)と比べ上流川へ1mm移動
13:10	細倉金属工業(株)	川口第一、第二発電所が運転停止状態。第二発電所を復帰するため制水ゲートを全開しようとしたが (花山ダム) 10cm程度閉まらないため、分水管からの放流量を3.5m <sup>3</sup> /sを絞り水位を低下させ状況を確認することとした
22:25	応援可能要員	河川課から応援可能要員の確認の連絡(土木部長命)
22:48	応援可能要員	土木総務課へ2名可と回答
3月13日		
9:20	地震時臨時点検報告	(記事) (二次)小田ダム ダム、周辺地山取付部、放流設備異常なし NTT電話、FAX不通
		漏水量は地震発生前より約31L/min増加したが3/12 17:00現在84.7L/min(合計量)であり地震前の値に戻っている
		漏水濁度についても地震前の値に戻っている。堤体変位は別添のとおり。
		取水塔管理橋照明ランプ破損、周辺道路(市道)の小田大橋ジョイント部段差あり
9:30	分岐バルブ操作	花山ダム川口第2発電所復旧作業のため、分岐バルブの開作業を開始
10:00	発電所復旧作業	川口第2発電所復旧作業を細倉金属工業が開始した
11:25	自家発電	川口第2発電所復旧 7m <sup>3</sup> /s
17:15	配備体制	非常態勢から夜間5名体制に移行
17:30	自家発電	花山ダム自家発電燃料残:760L
20:45	災害調査応援要員	北部土木事務所に派遣要員の報告。15日から1名を派遣 調査箇所:気仙沼市南部と日本吉町のうち国道45号小泉大橋北側
3月14日		
8:30	自家発電	花山ダム自家発電燃料残:640L
10:00	必要給油量調査	河川課から必要給油量について調査依頼あり
10:05	自家発電	小田ダム燃料不足のため計画停電、予備バッテリーによりダムコン、地震計、貯水計、堤体観測を動作 電力消費量2.0KWから0.6KWに減少。
10:42	自家発電	小田ダムの現状を報告
13:18	自家発電	荒砥沢ダム燃料不足のため計画停電、予備バッテリーによりダムコン、地震計、貯水計、堤体観測を動作 電力消費量1.2KWから0.4KWに減少。
3月15日		
7:30	災害調査支援	職員1名が災害調査支援に出発(気仙沼土木管内)17日まで
8:30	自家発電	花山ダム燃料残:440L
12:10	職員ポータル復旧	職員ポータル復旧によりポータル使用可能となる
15:45	細倉金属工業(株)	川口第一発電所復旧、取水量を8.9m <sup>3</sup> /sに増量(300戸分の電氣量を) (花山ダム)
16:00	自家発電	荒砥沢ダム自家発電燃料残:220L
17:00	自家発電	小田ダム自家発電燃料残:370L
3月16日		
8:20	応援職員	企業局水道経営管理室長から大崎広域水道事務所の充水作業への職員派遣の依頼があり、当所から2名可と回答
8:35	応援職員	大崎広域水道事務所長へ大崎広水経験者2名派遣可能なため土木総務課管理班と調整するよう連絡
11:00	自家発電燃料	西松建設(株)から軽油の提供(400L) 小田ダム自家発電燃料残:350L
11:50	自家発電燃料	花山ダム自家発電燃料残:250L
12:30	自家発電燃料	荒砥沢ダム自家発電燃料残:250L
13:40	応援職員	大崎広域水道事務所への応援職員2名について企業局公営事業課総務班から併任についてFAXを受信 併任発令期間:3月17日~3月23日、3月28日~3月31日
3月17日		
9:00	自家発電燃料	西松建設(株)から軽油の提供(1000L)の追加があると河川課から連絡あり、18日の予定
10:00	自家発電燃料	花山ダム自家発電燃料残:80L(18時まで発電可能)、荒砥沢ダム自家発電燃料120L補充
14:47	自家発電	花山ダム自家発電自動停止(残量50Lで自動停止する)
15:30	自家発電	花山ダム自家発電復旧、(小田ダムより160L補充、エア一抜き後再稼働させる)
17:38	商用電源復旧	荒砥沢ダム商用電源復旧により切り替え作業を実施
18:35	商用電源復旧	花山ダム商用電源復旧により切り替え作業を実施
19:32	商用電源復旧	小田ダム商用電源復旧により切り替え作業を実施
3月18日		
9:00	自家発電燃料	西松建設(株)からの追加提供分は下水処理場へ回すと河川課から連絡あり 災害再調査 花山ダム、荒砥沢ダム、小田ダムの施設全般にわたり詳細調査を実施
16:00	電気設備臨時点検	電気保安協会による花山ダム臨時点検を実施
3月19日		

1 4) 栗原地方ダム総合事務所の対応状況 (2/2)

月日	項目	内容
7:40	発電取水調整	花山ダムの貯水位が114mを下回ったので取水量8.9m <sup>3</sup> /sから5.4m <sup>3</sup> /sに減量
10:00	電気設備臨時点検	電気保安協会による小田ダム臨時点検を実施
13:00	電気設備臨時点検	電気保安協会による荒砥沢ダム臨時点検を実施
17:15	配備委員	5人体制から3人体制に移行
3月24日		
17:24	地震発生	岩手県沖、深さ34km、マグニチュード6.2 花山震度3、一迫震度4、鶯沢震度4
3月25日		
	業務依頼	荒砥沢ダム天端防護柵の復旧を宮城県建設業協会栗原支部へ依頼
3月26日	配備体制	3人体制から2人体制に移行
3月28日		
7:23	地震発生	宮城県沖、深さ32km、マグニチュード6.5、津波注意報発令、花山震度3、一迫震度4、鶯沢震度3
3月29日	応急工事起工	花山ダム管理設備外応急修繕工事(若柳・留場水位観測所、小田ダム照明設備) 荒砥沢ダム堤体天端防護柵外災害復旧工事(荒砥沢防護柵、小田沓座補修)
	応急調査起工	荒砥沢ダム貯水池変状調査業務委託(右岸林道クラック)
3月30日		
10:15	応援要請	北部土木事務所より気仙沼土木管内の災害査定要員として1名の応援要請あり
3月31日		
16:19	地震発生	宮城県沖、深さ32km、マグニチュード6.1、栗駒震度4、鶯沢震度3、花山震度3
4月6日	市町支援	石巻市、七ヶ浜町へ業務支援のため各1名職員を派遣(9日まで)
4月7日		
23:46	地震発生	宮城県沖、深さ66km、マグニチュード7.1、栗駒震度6弱、津波警報発 地震直後に停電となり花山・荒砥沢・小田ダム自家発電電線稼
4月8日	非常配備	
0:33	花山分岐バルブ	川口第一、第二発電所が停止したため分岐バルブを操作(開度67% 3.96m <sup>3</sup> /sに調整)
0:59	第1報報告	荒砥沢ダム計測震度5弱
15:15	臨時点検	花山、荒砥沢、小田ダムの二次点検まで終了。異常なし
17:30	発電所	川口第二発電所発電開始。花山ダム放流量6m <sup>3</sup> /sに調整
4月9日	商用電源	4月8日夜半に3ダムとも商用電源が復帰した。
4月11日	非常配備	
17:16	地震発生	福島県浜通、震度約6km、マグニチュード7、鳴子震度3
	臨時点検(一次)	各ダム異常なし
4月12日		
13:55	臨時点検(二次)	小田ダム異常なし
17:15	配備体制	夜間配備体制解除
4月20日	河川の暫定運用	洪水予報等の暫定運用について(通知)21日から運用。通常の6割で運用
4月22日	災害支援	気仙沼土木事務所の災害支援のため、登米合同庁舎へ職員を派遣(6月30日まで)
6月1日	ダムの運用	東北地方太平洋沖地震に伴う花山ダム・荒砥沢ダムの出水期間中の運用について実施
6月10日	応急復旧	荒砥沢ダム堤体天端防護柵外復旧工事完成
7月4日	市町支援	山元町へ業務支援のため職員1名を派遣(11日まで)
9月15日	応急復旧	花山ダム管理設備外応急修繕工事完了(若柳水位計、小田ダム照明灯)

対応状況 (写真)



写真-1 荒砥沢ダム防護柵被災状況



写真-2 荒砥沢ダム防護柵復旧状況



写真-3 小田ダム取水塔管理橋被災状況



写真-4 小田ダム取水塔管理橋復旧状況

15) 仙台港背後地土地区画整理事務所の対応状況

月日	項目	内容	月日	項目	内容
平成23年	地震発生				
3月11日					
14:46	地震発生	東北地方太平洋沖地震(震源:三陸沖、規模:Mw9.0、震度:6強)	9月26~30日	災害査定	下水道災害第8次査定(下水道3件)
14:49	大津波警報	太平洋沿岸に大津波警報発令	10月3~7日	災害査定	都市災害第4次査定(街路2件)
14:50	BCP	土木部BCPに基づき安否確認、庁舎確認を実施	10月11~14日	災害査定	下水道災害第9次査定(下水道4件)
14:50	安否確認	全職員19名のうち、当初2名の職員の安否確認ができなかったが、夜10時に全員の無事を確認	11月7~11日	災害査定	下水道災害第11次査定(下水道3件)
	庁舎被害等	執務室(アクセル3階):壁に亀裂、事務機器・書類などが脱落散乱、停電、断水	12月5~9日	災害査定	下水道災害第12次査定(下水道2件)
15:00	避難	事務所建物(アクセル)の安全性に疑いがあったため、屋外駐車場へ一時避難	12月9日	情報発信	「背後地ニュース(第46号)」を発行
15:15	避難	津波の危険があったため、アクセルホール側屋上へ一時避難	1月20日	復旧工事	海の見える大通り線の照明施設の工事完了
15:30	避難	津波からの危険回避と事務所建物の安全確認により、アクセル3階の執務室に戻って非常配備	1月	情報発信	パンフレット「仙台港背後地地区における津波対策(暫定版)」を作成し、安全宣言
16:00	津波襲来	津波により公用車、自家用車(通動用)が全て流失(アクセル付近の津波高:約2m) アクセル1階に被災車両やがれき等が大量に流入 執務室も開放し、「夢メッセ」イベント主催者等と協力して一般避難者へ対応(防寒、飲料水等)			
3月12日					
午前	被災調査	職員による地区内の被災状況調査(徒歩) ※地震により、車道・歩道の亀裂・段差・陥没、マンホールの隆起等が多数発生 ※津波により、建物・道路構造物等の倒壊・破損、被災車両・がれき・土砂等が多数散乱・堆積			
午後	退避・移動	職員全員が、アクセルからJR陸前高砂駅へ徒歩で移動 JR陸前高砂駅から仙台土木事務所へ、公用車を借用して移動 仙台土木事務所の会議室を借りて、そのまま非常配備を継続 ※仙台土木事務所会議室での仮事務所は5月11日まで			
3月13日~	被災調査	職員及び地区内管理委託業者による被災状況調査			
3月14日	応急復旧	緊急物資輸送路を確保するため、幹線道路(センター地区)の被災車両・がれき等を撤去			
3月16日	情報発信	ホームページに「仮事務所の連絡先」と「東日本大震災への対応」を掲載			
3月17日	応急復旧	地区内の道路等応急復旧工事に着手			
3月23日	事務所窓口業務	仮換地証明等の各種証明・申請業務を再開			
3月24日	情報発信	道路等に放置された被災車両の移動について周知開始 ※ホームページへの掲載は3月25日			
3月28日	応急復旧	道路等に放置された被災車両の仮置き場への移動を開始			
3月31日	情報発信	ホームページに「被災直後の状況(写真等)」を掲載			
4月5日	情報発信	ホームページに「被災箇所の応急復旧の状況(写真等)」を掲載			
4月5日	災害調査・測量	道路及び下水道の災害調査・測量を開始			
4月13日	応急復旧	道路等に放置された被災車両の仮置き場への移動を概ね完了			
4月23日	応急復旧	公共用地内のがれき・土砂等の撤去を概ね完了、地区内道路が全面通行可			
5月12日	事務所移転	仙台土木事務所から宮城県多賀城分庁舎3階へ事務所を移転			
5月13日	情報発信	ホームページに「仮置きした被災車両(ナンバー等)」を掲載			
6月6~10日	災害査定	都市災害第1次査定(街路2件)			
6月20日	保留地分譲	震災で中止されていた保留地分譲(新規8区画)を再開(※再公募の受付期間:6月20日~7月1日)			
6月25~26日	復興イベント	仙台港エリア復興記念イベント「マルシェ・ジャポンin仙台港」を開催			
7月11~15日	災害査定	都市災害第3次査定(街路5件)			
7月25日	応急復旧	都市計画道路「海の見える大通り線」の応急本工事を完了			
8月11~14日	復興イベント	仙台港エリア復興イベント“with LIGHT UP NIPPON”を開催			

1 5) 仙台港背後地土地区画整理事務所の対応状況 (写真)



写真-1 工業地区の被災状況 H23.3.13



写真-2 被災車両仮置状況 H23.3.28



写真-3 センター地区の復興 H23.6.25



写真-4 復興イベント H23.6.25～26



写真-5 災害査定状況 H23.10.3



写真-6 復旧した都市計画道路 H24.1

<空 白>